

1943	1961	1981
1944	1962	1982
1945	1963	1983
1946	1964	1984
1947	1965	1985
1948	1966	1986
1949	1967	1987
1950	1968	1988
1951	1969	1989
1952	1970	1990
1953	1971	1991
1954	1972	1992
1955	1973	1993
1956	1974	1994
1957	1975	1995
1958	1976	1996
1959	1977	1997
1960	1978	1998
	1979	1999
	1980	2000
		2001
		2002
		2003

遠州鉄道 最近10年史

資 料 編

現役員



監査役  
岡野 伸保

監査役  
渡辺 庸一

監査役  
村松 良

取締役  
内山 芳実

取締役  
関 利彦

常勤監査役  
中野 東亜治

専務取締役  
山崎 勝康

取締役社長  
鈴木 敬彦



取締役  
野田 敏司

取締役  
伴 和正

取締役  
堀田 隆壽

専務取締役  
竹内 善一郎

常務取締役  
竹山 英夫

取締役  
杉山 治一

取締役  
山口 宏規

# 遠州鉄道株式会社 定款

(平成15年6月27日改正)

## 第1章 総 則

(商 号)

第1条 当社は、遠州鉄道株式会社と称する。

(目 的)

第2条 当社は、次の事業を営むことを目的とする。

1. 鉄道事業
2. 一般乗合旅客自動車運送事業
3. 一般貸切旅客自動車運送事業
4. 不動産業
5. 観光事業
6. 旅行業
7. 自動車整備および自動車関連サービス業
8. 広告宣伝業
9. 損害保険代理業および生命保険募集業
10. 石油製品販売業
11. 百貨店業ならびにこれに関連する卸売業、製造業、加工業、請負業、輸出入業および医薬品・医療用具販売業
12. 飲食店、興行場、遊技場の経営
13. 土木・建築工事の設計、監理、施工および請負業
14. ゴルフ場の経営
15. 自動車のリース業およびレンタル業
16. 情報の提供・処理サービス業ならびに電子機器および情報処理機器販売業
17. 建物および付帯設備の管理、清掃ならびに警備の請負
18. 労働者派遣業
19. 前各号に関連もしくは付帯する業務

(本店の所在地)

第3条 当社は、本店を浜松市に置く。

(公告の方法)

第4条 当社の公告は、静岡市において発行する静岡新聞に掲載してこれを行う。

## 第2章 株 式

(株式の総数、1単元の株式数および単元未満株券の不発行)

第5条 当社の発行する株式の総数は、1億4,240万株とする。  
当社の1単元の株式の数は、1,000株とする。  
当社は、1単元の株式の数に満たない株式（以下「単元未満株式」という。）に係る株券を発行しない。  
ただし、株式取扱規程に定めるところについてはこの限りでない。

(株式取扱規程)

第6条 当社の株券の種類ならびに株式の名義書換、単元未満株式の買取りその他株式に関する諸手續およびその手数料については、取締役会において定める株式取扱規程による。

(株主名簿の閉鎖)

第7条 株主名簿の記載または記録事項の変更は毎決算期の翌日からその定時株主総会終結の日までこれを停止する。前項のほか必要ある場合は、あらかじめ公告して臨時にこれを停止することができる。

## 第3章 株 主 総 会

(招 集)

第8条 当社の定時株主総会は、毎決算期の翌日から3カ月以内にこれを招集し、臨時株主総会は必要ある場合随時これを招集する。

(議 長)

第9条 株主総会の議長は、取締役社長これにあたる。取締役社長事故あるときは他の取締役がこれに代る。

(決議の方法)

第10条 株主総会の決議は、法令または定款に別段の定めある場合を除くほか、出席株主の議決権の過半数によって決する。  
前項に係わらず、商法第343条の規定によるべき株主総会の決議は、総株主の議決権の3分の1以上を有する株主が出席し、その議決権の3分の2以上によって決する。

(議決権の代理行使)

第11条 株主は、当社の議決権を有する他の株主を代理人として議決権を行使することができる。  
株主または代理人は、その代理委任状を当社に提出することを要する。

(議事録)

第12条 株主総会の議事の経過の要領およびその結果は、これを議事録に記載または記録して議長ならびに出席した取締役これに記名捺印または電子署名の上当会社に保管する。

## 第4章 取締役および取締役会

(取締役の員数)

第13条 当社に取締役12名以内を置く。ただし欠員を生じた場合も法定員数を欠かずかつ業務に支障のないときは、補欠選挙を行わない。

(取締役の選任)

第14条 取締役は、株主総会において選任する。

取締役の選任については、総株主の議決権の3分の1以上を有する株主の出席を要する。

取締役の選任決議については、累積投票によらない。

(取締役の任期)

第15条 取締役の任期は、就任後2年内の最終の決算期に関する定時株主総会終結の時までとする。

補欠として選任された取締役の任期は、退任した取締役の任期の満了すべき時までとする。

増員のため選任された取締役の任期は他の現任取締役の任期の満了すべき時までとする。

(招集)

第16条 取締役会は、法令に別段の定めある場合を除き、取締役会長これを招集しその議長となる。取締役会長事故あるとき、または置かない場合は取締役社長これを行う。招集通知は、各取締役および各監査役に対し、会日より5日前にこれを発するものとする。ただし緊急の必要ある場合はこの期間を短縮することができる。

取締役会は、取締役および監査役全員の同意があるときは、招集の手続を経ないで開くことができる。

(権限)

第17条 取締役会は会社の業務執行を決する。

(決議の方法)

第18条 取締役会の決議は、取締役の過半数が出席し、その過半数をもってこれを決する。

(代表取締役)

第19条 取締役会は、その決議をもって取締役中より取締役社長1名を定め代表取締役とする。

取締役社長は業務を統轄する。

(役付取締役)

第20条 取締役会の決議をもって取締役中より取締役会長1名、取締役副社長、専務取締役、常務取締役若干名を置くことができる。

取締役会はその決議をもって取締役会長を代表取締役とすることができる。取締役副社長、専務取締役および常務取締役は取締役社長を補佐し業務を執行する。

(相談役)

第21条 取締役会の決議をもって相談役若干名を置くことができる。

(取締役の報酬)

第22条 取締役に対する報酬は、株主総会で定める。

## 第5章 監査役および監査役会

(監査役の数)

第23条 当会社に監査役4名以内を置く。ただし欠員を生じた場合も法定員数を欠かずかつ業務に支障のないときは、補欠選挙を行わない。

(監査役の選任)

第24条 監査役は、株主総会において選任する。

監査役の選任については、総株主の議決権の3分の1以上を有する株主の出席を要する。

(監査役の任期)

第25条 監査役の任期は、就任後4年内の最終の決算期に関する定時株主総会終結の時までとする。

補欠として選任された監査役の任期は、退任した監査役の任期の満了すべき時までとする。

(招集)

第26条 監査役会の招集通知は、各監査役に対し、会日より5日前にこれを発するものとする。

ただし緊急の必要のある場合はこの期間を短縮することができる。

監査役会は、監査役全員の同意があるときは、招集の手続を経ないで開くことができる。

(決議の方法)

第27条 監査役会の決議は、法令に別段の定めある場合を除き、監査役の過半数をもってこれを決する。

(常勤監査役)

第28条 監査役の互選により、常勤監査役を定める。

(監査役の報酬)

第29条 監査役に対する報酬は、株主総会で定める。

## 第6章 計算

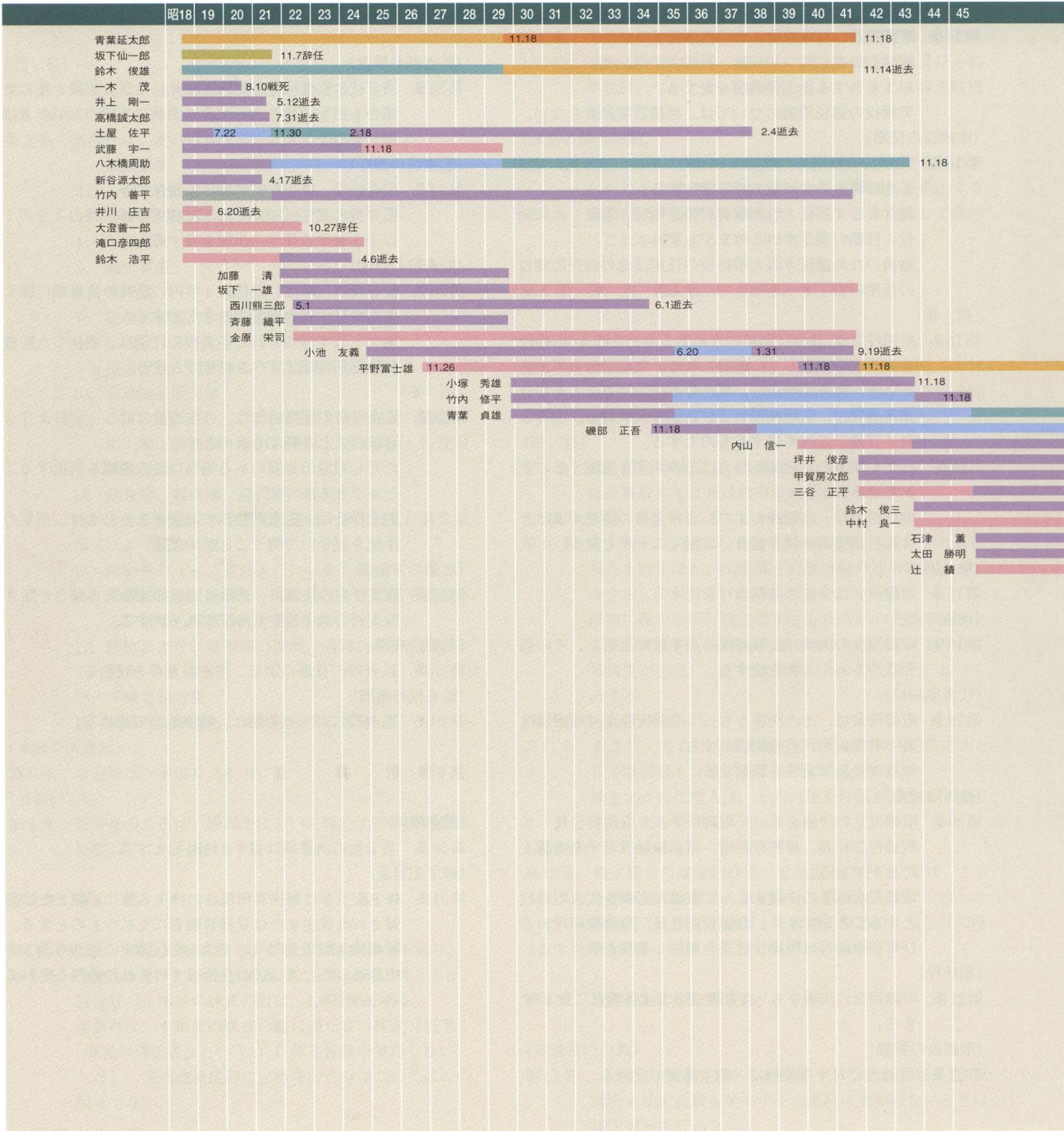
(決算期)

第30条 当会社の決算期は毎年3月31日とする。

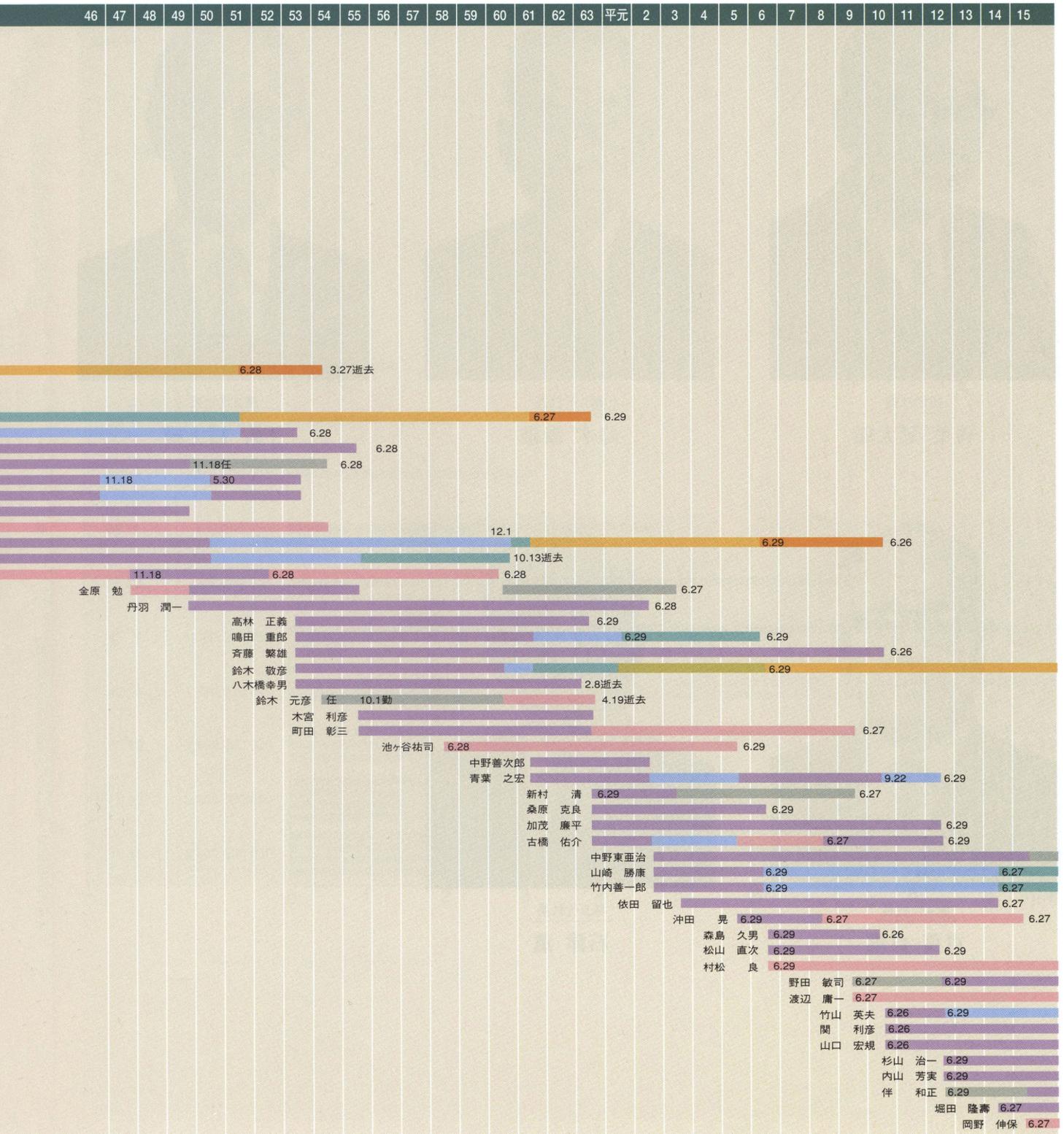
(株主配当金)

第31条 株主配当金は毎決算期現在の株主名簿に記載または記録された株主または登録質権者に支払うものとする。前項株主配当金については、支払確定の日から満3年を経過したときは、当会社はその支払の義務を免れるものとする。

# 役員任期一覽



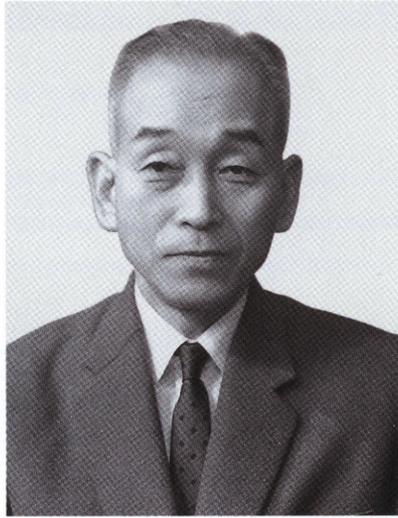
■ 会長 ■ 社長 ■ 副社長 ■ 専務 ■ 常務 ■ 取締役 ■ 常任・常勤監査役 ■ 監査役



# 歴代社長



初代社長  
青葉 延太郎



第2代社長  
鈴木 俊雄



第3代社長  
平野 富士雄

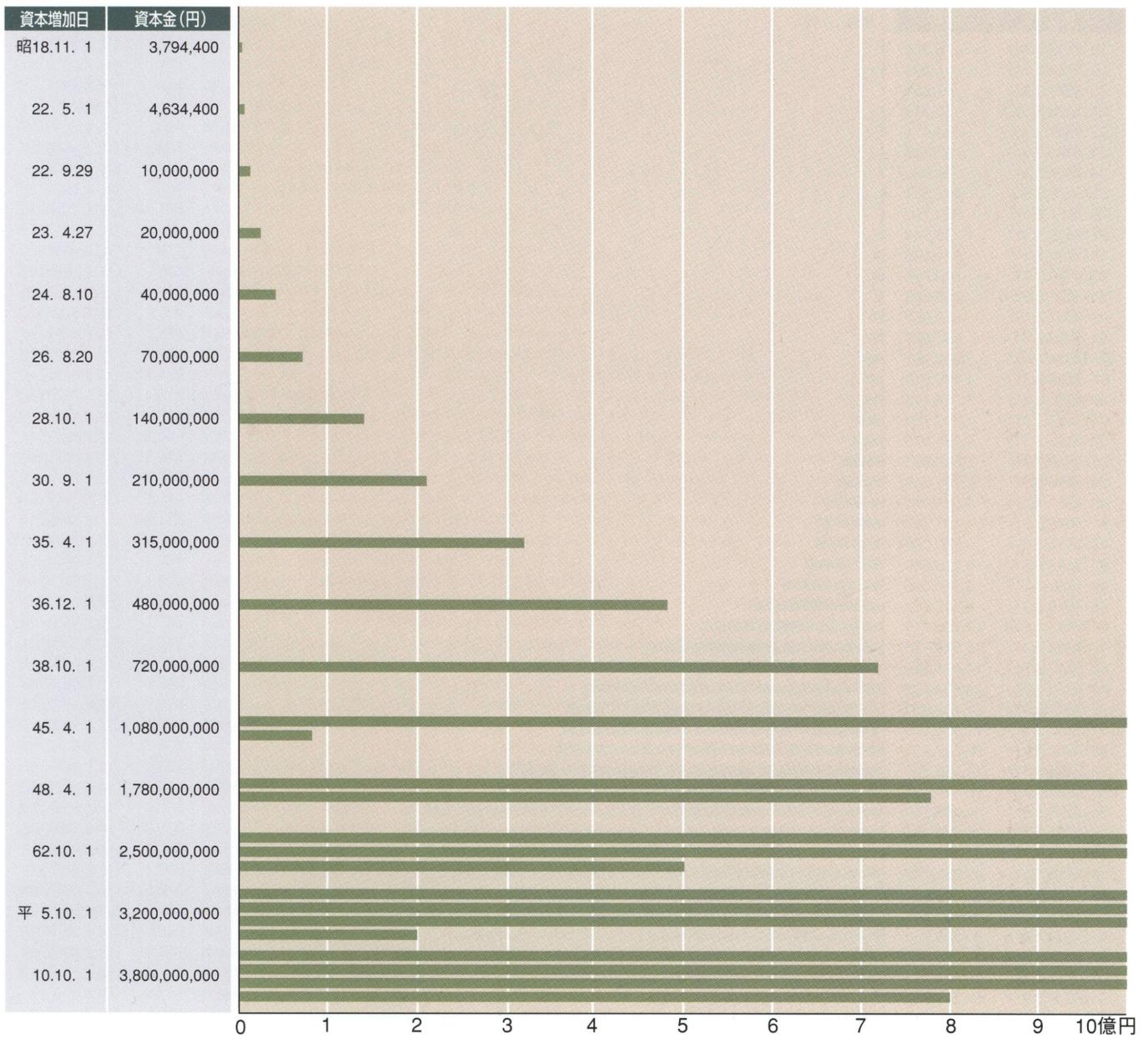


第4代社長  
青葉 貞雄

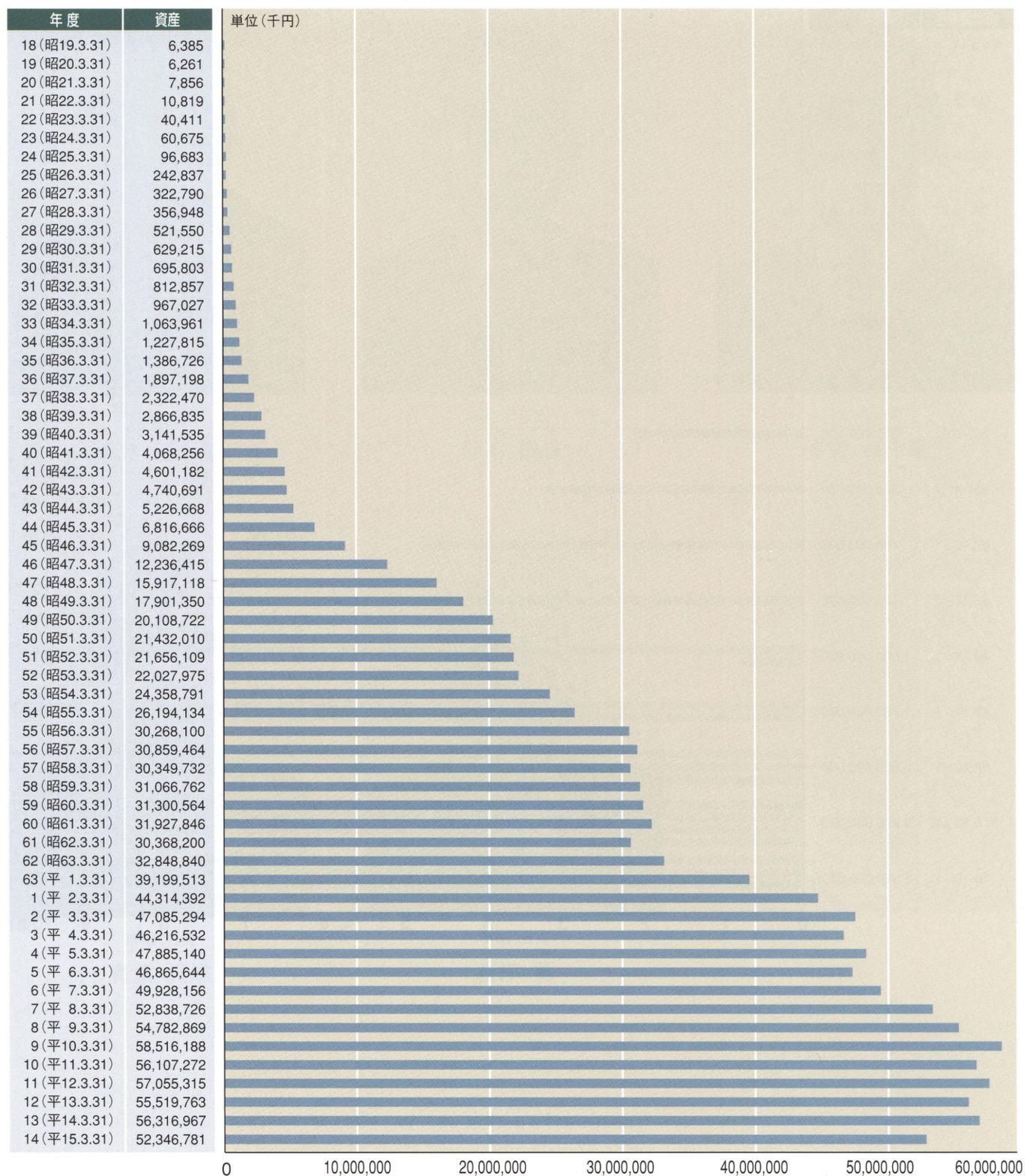


第5代社長  
石津 薫

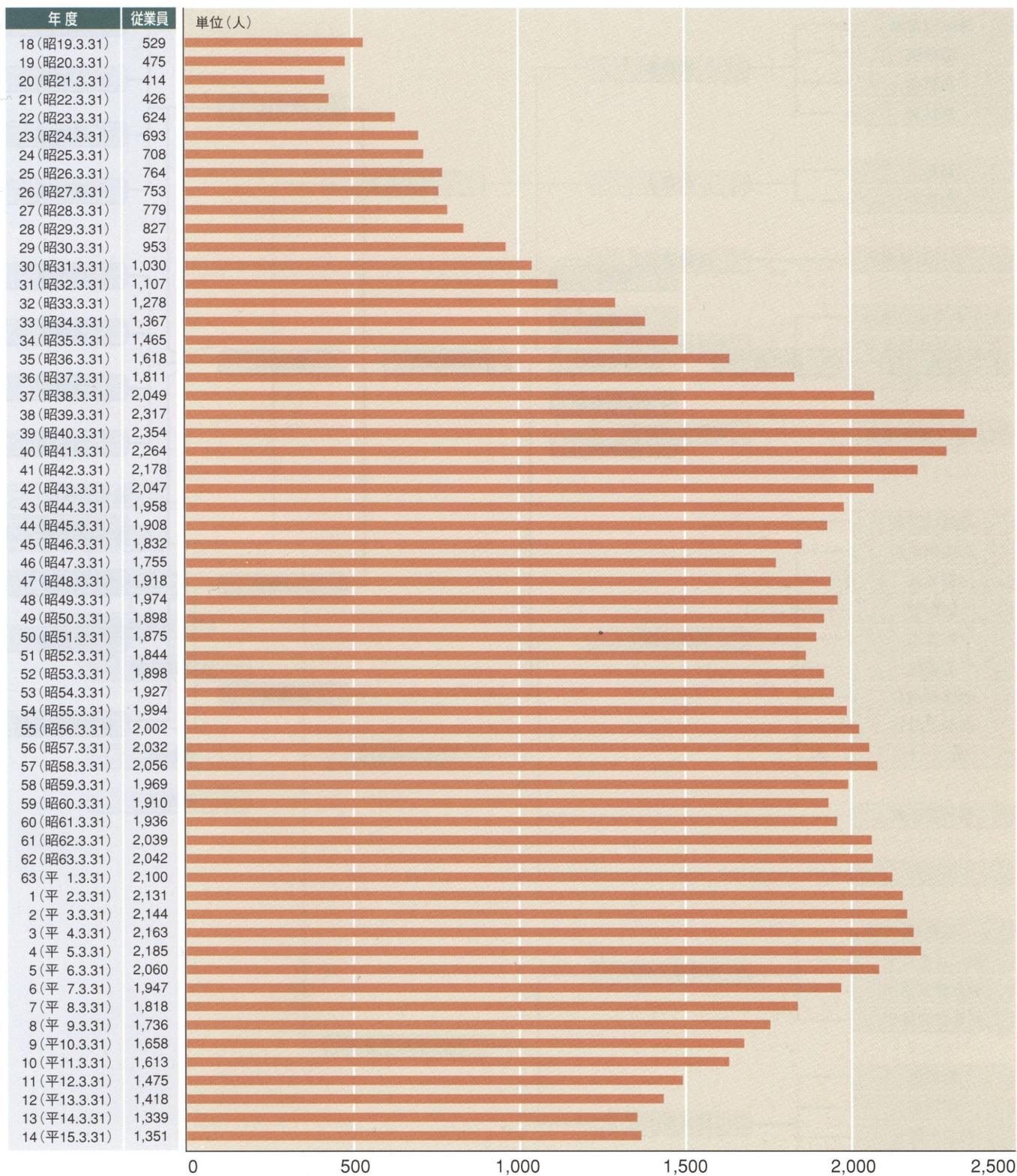
# 資本金の推移



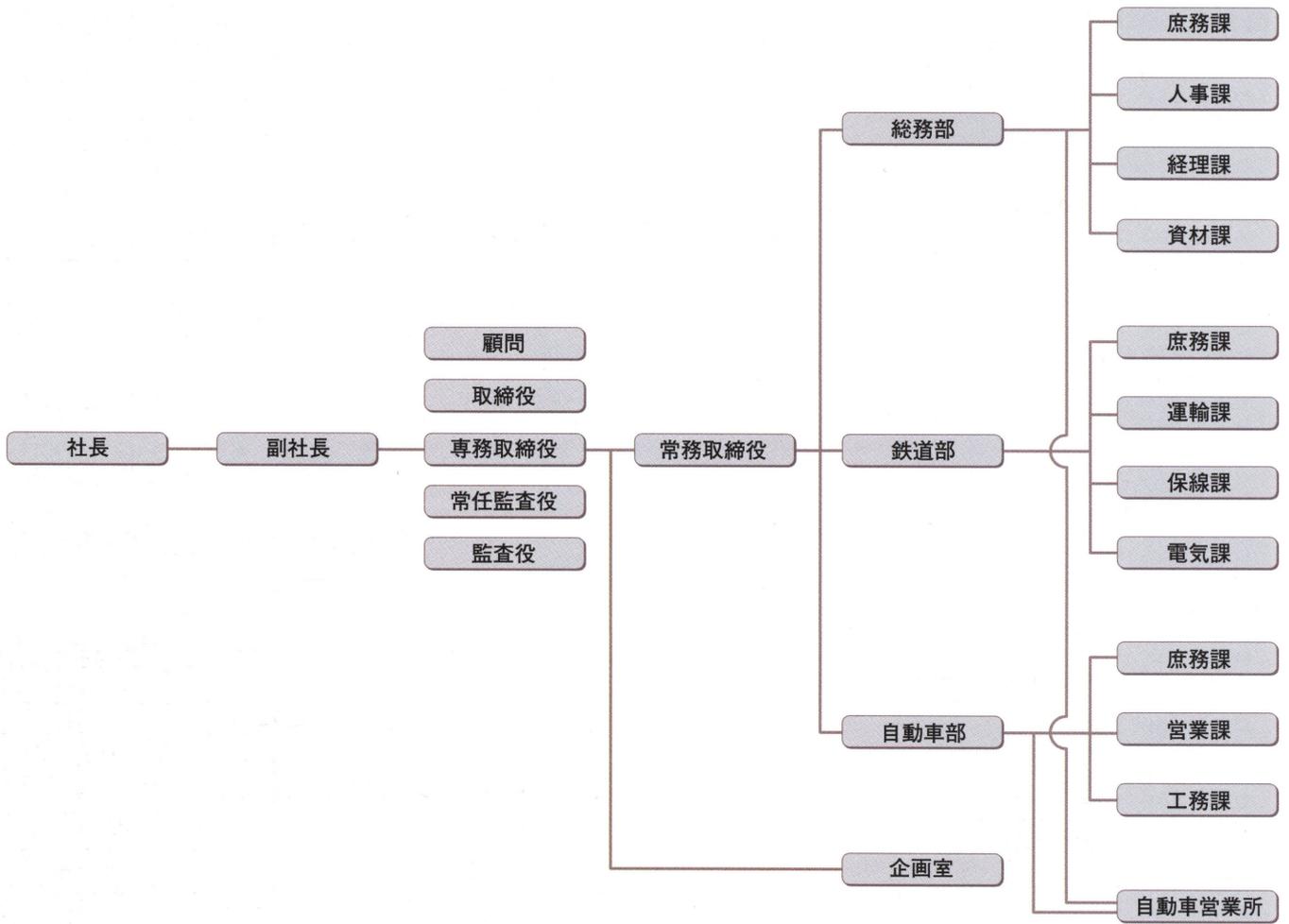
# 資産の推移



# 従業員数の推移

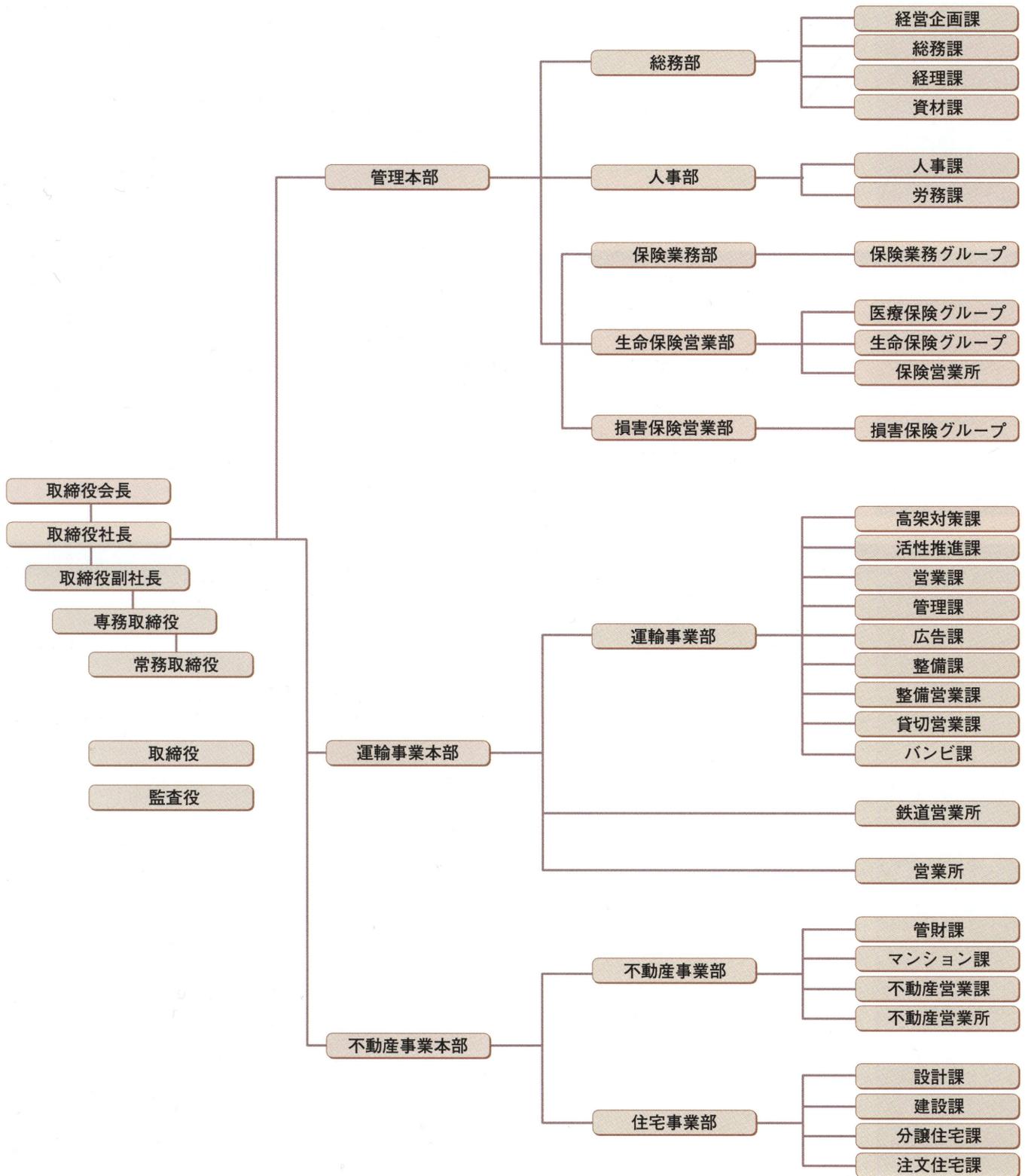


# 創立時の組織図



# 現行組織図

(平成15年10月1日現在)



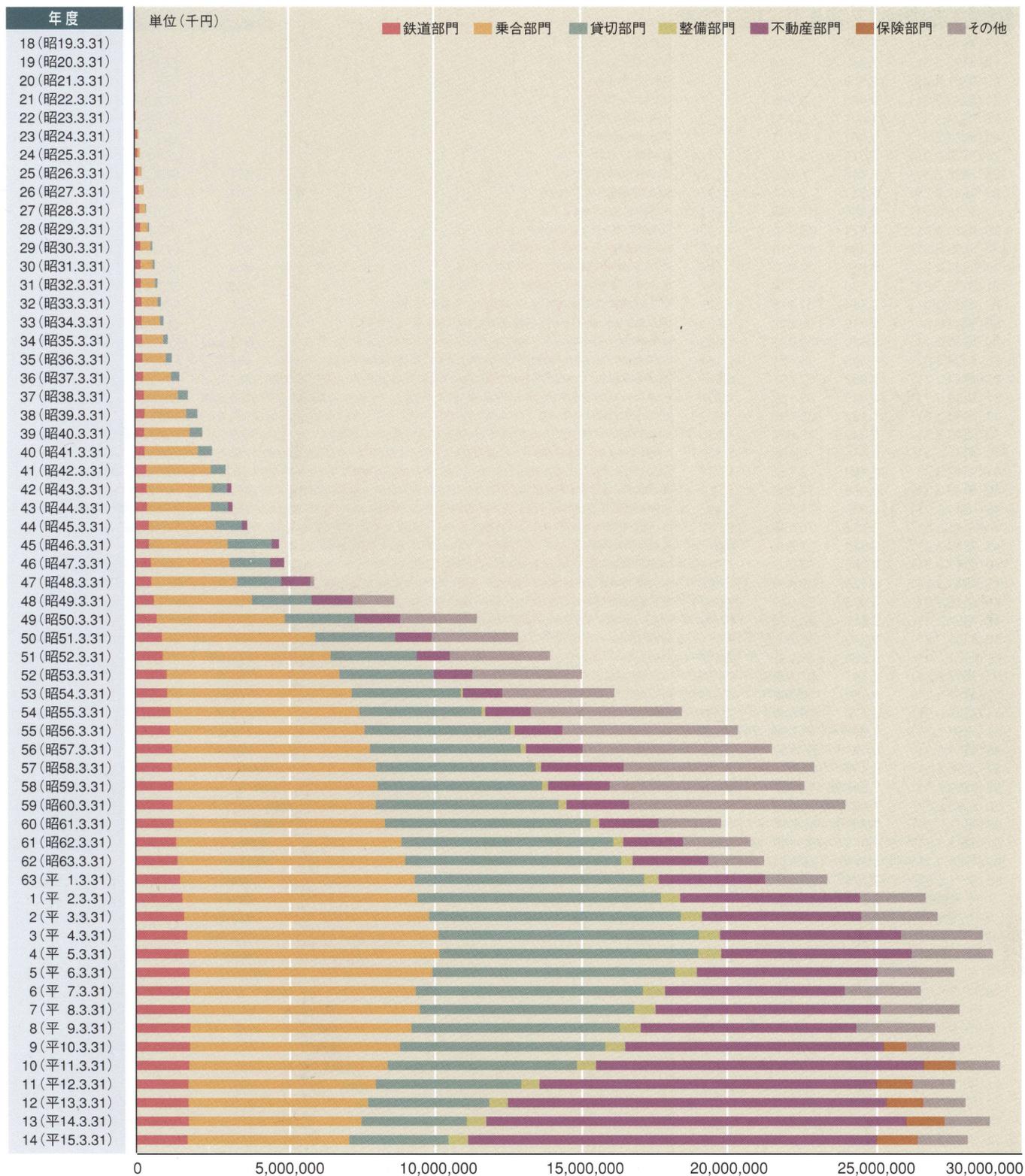




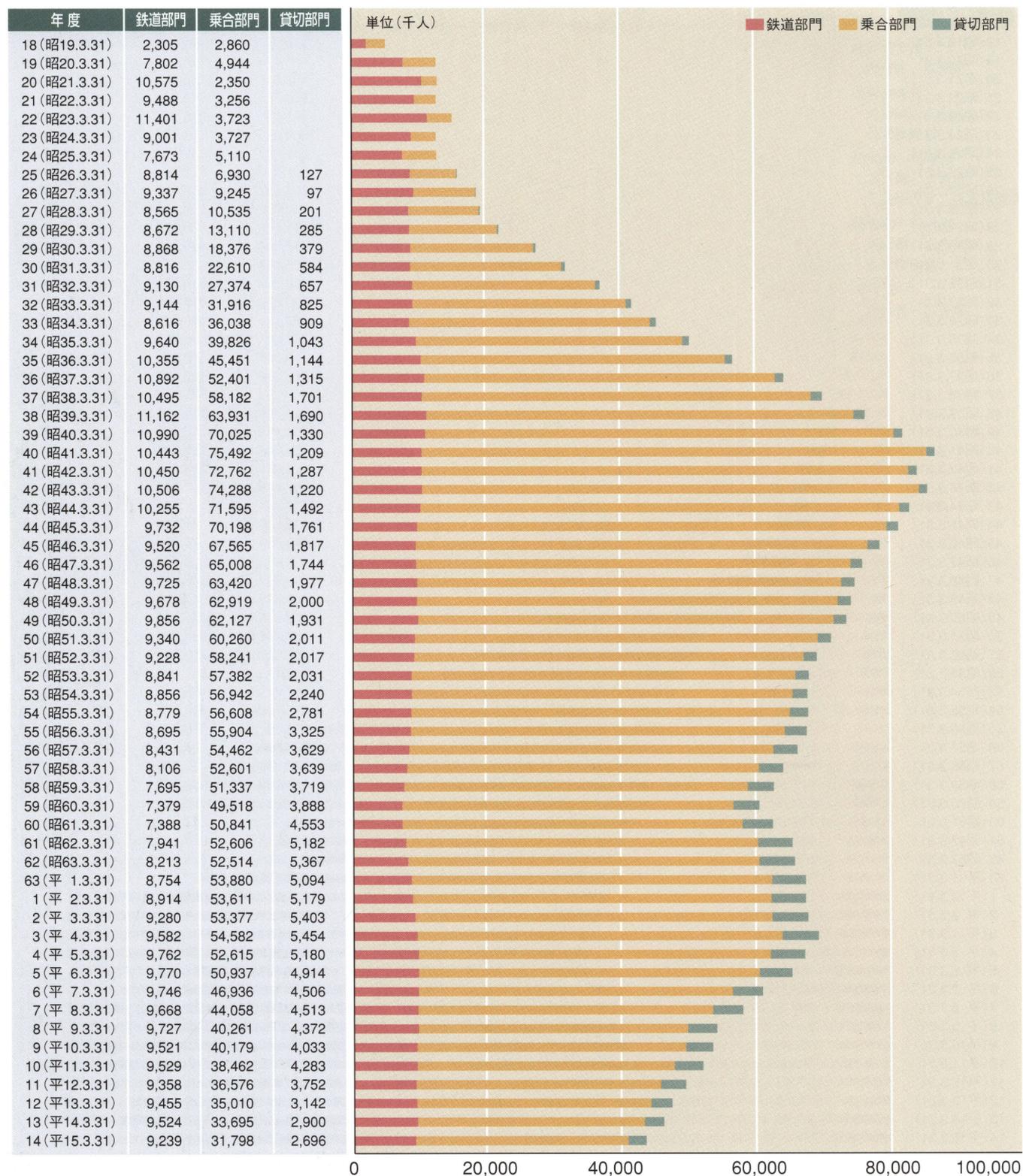
# 営業収入の推移

単位(千円)

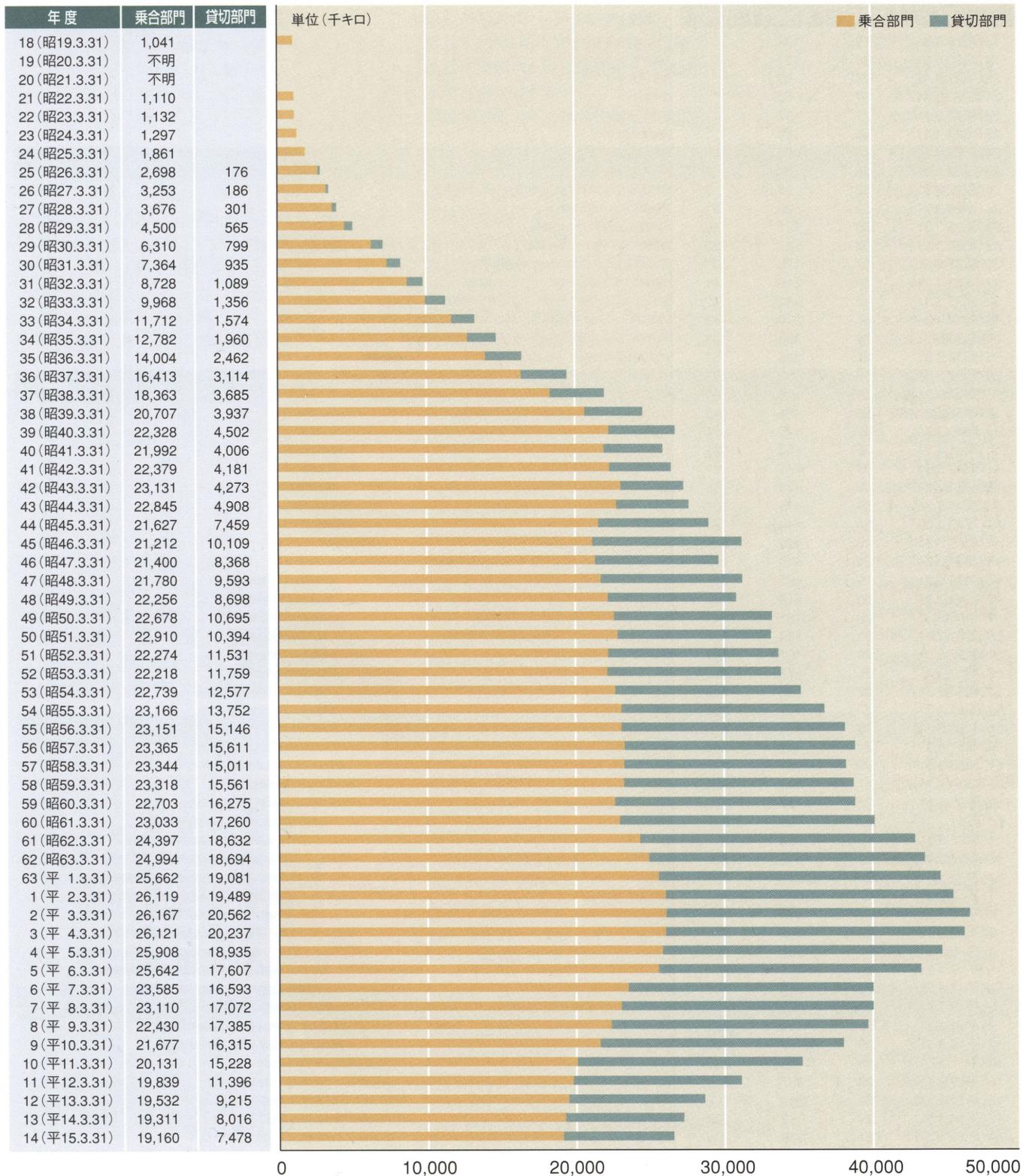
年度	鉄道部門	乗合部門	貸切部門	整備部門	不動産部門	保険部門	その他	※その他の事業の内訳
18(昭19.3.31)	397	662						昭和47年度
19(昭20.3.31)	1,367	1,844						旅行業、広告業
20(昭21.3.31)	2,521	2,398						昭和48年度
21(昭22.3.31)	6,033	7,555						旅行業、広告業、
22(昭23.3.31)	22,289	25,154						石油販売業
23(昭24.3.31)	63,977	55,530						昭和49～59年度
24(昭25.3.31)	74,788	86,464						旅行業、広告業、
25(昭26.3.31)	94,576	116,108	9,810					石油販売業、生命保険業
26(昭27.3.31)	117,322	162,942						昭和60～61年度
27(昭28.3.31)	141,252	205,982	22,832					旅行業、広告業、
28(昭29.3.31)	166,337	255,760	43,053					生命保険業
29(昭30.3.31)	169,640	345,940	60,423					昭和62～
30(昭31.3.31)	175,273	404,855	73,545					旅行業、広告業
31(昭32.3.31)	187,558	475,575	85,522					
32(昭33.3.31)	209,489	545,027	105,627					
33(昭34.3.31)	208,481	623,050	120,307					
34(昭35.3.31)	225,903	710,381	150,779					
35(昭36.3.31)	233,553	788,945	202,641					
36(昭37.3.31)	249,047	948,612	278,681					
37(昭38.3.31)	280,789	1,143,107	341,825					
38(昭39.3.31)	297,776	1,405,673	383,018					
39(昭40.3.31)	281,376	1,541,107	426,660					
40(昭41.3.31)	296,497	1,800,406	480,592					
41(昭42.3.31)	353,850	2,176,676	502,599					
42(昭43.3.31)	358,747	2,211,107	514,453		143,490			
43(昭44.3.31)	374,139	2,158,077	587,154		149,166			
44(昭45.3.31)	436,780	2,253,024	893,216		179,688			
45(昭46.3.31)	438,778	2,654,643	1,493,458		243,837			
46(昭47.3.31)	497,963	2,659,804	1,369,055		476,342			
47(昭48.3.31)	518,003	2,890,420	1,487,473		980,021		128,973	
48(昭49.3.31)	604,040	3,298,421	2,007,953		1,394,663		1,418,739	
49(昭50.3.31)	696,401	4,316,830	2,363,270		1,545,529		2,600,567	
50(昭51.3.31)	868,896	5,162,184	2,720,317		1,239,085		2,931,396	
51(昭52.3.31)	900,669	5,650,320	2,929,887		1,125,901		3,393,842	
52(昭53.3.31)	1,031,153	5,811,968	3,222,024		1,301,149		3,710,911	
53(昭54.3.31)	1,049,804	6,213,144	3,707,014	75,202	1,332,265		3,803,032	
54(昭55.3.31)	1,158,606	6,364,377	4,155,847	119,689	1,545,817		5,118,641	
55(昭56.3.31)	1,142,217	6,556,772	4,954,051	143,976	1,616,066		5,942,522	
56(昭57.3.31)	1,215,438	6,664,291	5,123,680	173,814	1,911,965		6,422,638	
57(昭58.3.31)	1,205,021	6,883,502	5,420,814	182,407	2,793,529		6,459,891	
58(昭59.3.31)	1,250,130	6,895,494	5,578,806	200,918	2,089,190		6,593,346	
59(昭60.3.31)	1,229,676	6,849,474	6,201,087	270,618	2,117,475		7,333,160	
60(昭61.3.31)	1,256,653	7,130,909	6,973,735	296,751	2,002,737		2,125,377	
61(昭62.3.31)	1,334,599	7,617,113	7,179,347	338,702	2,021,291		2,291,516	
62(昭63.3.31)	1,385,196	7,691,391	7,319,939	392,071	2,559,268		1,895,794	
63(平 1.3.31)	1,471,988	7,927,757	7,772,152	493,489	3,609,312		2,106,235	
1(平 2.3.31)	1,547,961	7,946,303	8,243,897	652,929	6,096,528		2,228,163	
2(平 3.3.31)	1,606,836	8,275,996	8,535,617	712,638	5,395,991		2,589,364	
3(平 4.3.31)	1,714,343	8,482,762	8,825,775	718,144	6,135,181		2,770,933	
4(平 5.3.31)	1,761,913	8,474,930	8,771,573	769,731	6,456,170		2,751,335	
5(平 6.3.31)	1,783,921	8,206,293	8,228,060	735,613	6,109,424		2,616,474	
6(平 7.3.31)	1,794,000	7,640,597	7,689,211	749,741	6,088,946		2,581,388	
7(平 8.3.31)	1,806,468	7,757,847	7,267,868	721,496	7,621,174		2,685,298	
8(平 9.3.31)	1,813,059	7,470,671	7,057,289	709,140	7,303,738		2,674,349	
9(平10.3.31)	1,796,975	7,099,757	6,951,867	671,863	8,770,358	762,997	1,804,056	
10(平11.3.31)	1,770,132	6,705,497	6,410,067	647,604	11,113,666	1,081,069	1,501,090	
11(平12.3.31)	1,743,102	6,332,348	4,926,382	616,599	11,428,988	1,224,325	1,432,000	
12(平13.3.31)	1,740,039	6,072,447	4,095,852	638,006	12,838,922	1,243,281	1,429,597	
13(平14.3.31)	1,755,449	5,833,287	3,561,879	658,373	14,243,522	1,298,637	1,532,108	
14(平15.3.31)	1,709,028	5,462,904	3,355,472	666,385	13,852,487	1,390,830	1,694,762	



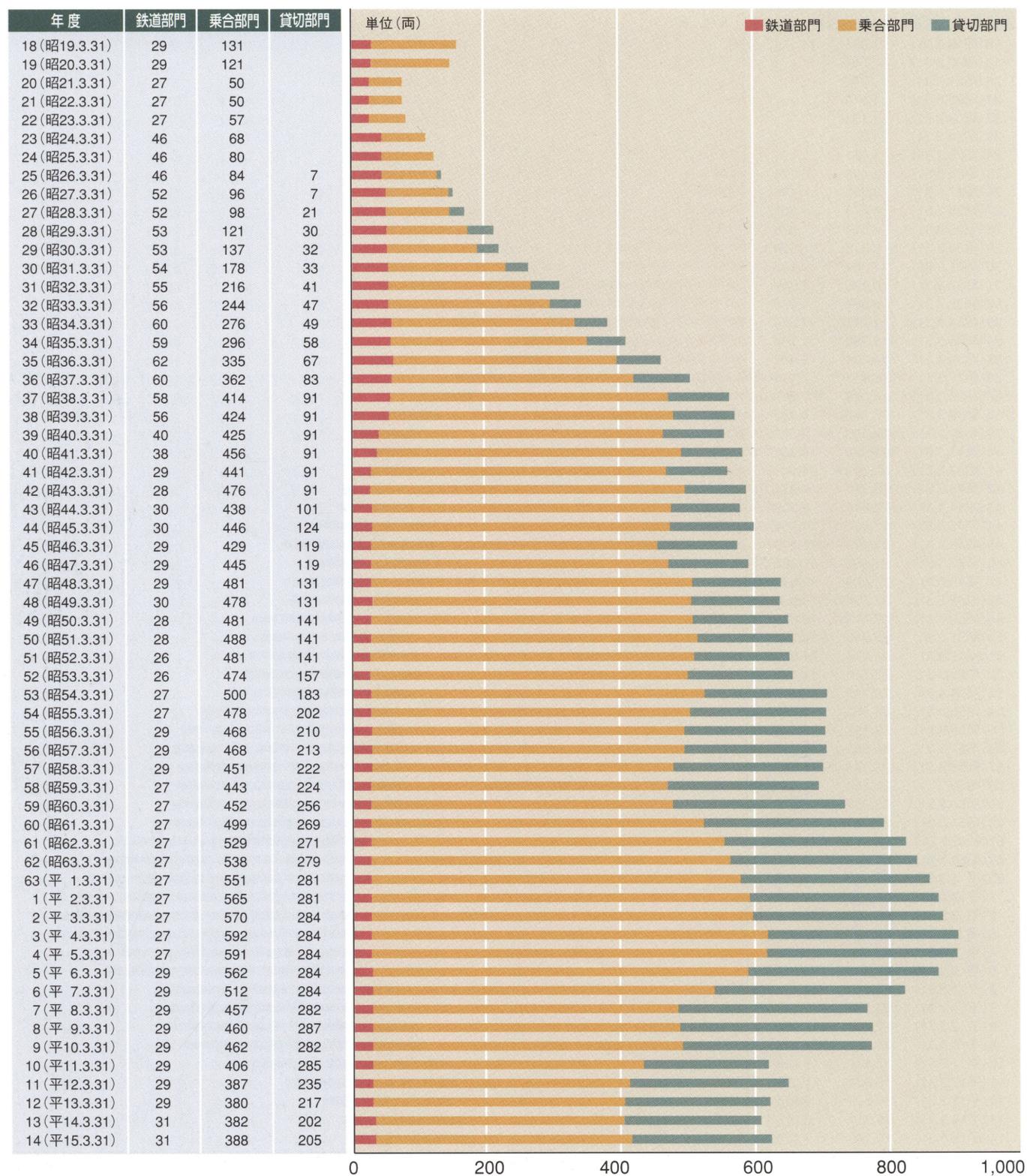
# 輸送人員の推移



# 走行キロの推移



# 車両数の推移



# 現行事業所一覧

本社 [ 総務部・人事部 ]	浜松市旭町 12-1 フォルテ12階	(053) 454-2211
[ 運輸事業部 ]	浜松市旭町 12-1 フォルテ10～11階	(053) 454-2215
[ 不動産事業部 ]	浜松市田町330-5 遠鉄田町ビル10階	(053) 454-2218
[ 住宅事業部 ]	浜松市田町230-7	(053) 454-2267
[ 保険グループ ]	浜松市田町330-5 遠鉄田町ビル10階	(053) 457-5511

## 鉄道

鉄道営業所	浜松市西ヶ崎町686-1	(053) 435-0221
新浜松駅	浜松市鍛冶町 4	(053) 452-4806
第一通り駅	浜松市田町 230-28	(053) 454-1119
遠州病院前駅	浜松市早馬町 2-21	(053) 453-0337
浜北駅	浜北市沼 54-1	(053) 586-2469
西鹿島駅	天竜市二俣町南鹿島 67-1	(0539) 25-2274
西鹿島電車工場	天竜市二俣町鹿島 243-3	(0539) 25-8391

## 自動車

浜松南営業所	浜松市松島町 1997	(053) 426-2271
三方原営業所	浜松市初生町 1107-1	(053) 436-1201
磐田営業所	磐田市岩井 2190-1	(0538) 32-4161
天竜営業所	天竜市次郎八新田 6-2	(0539) 25-2125
細江営業所	引佐郡細江町気賀 414-8	(053) 523-1121
福田営業所	磐田郡福田町福田 2204-1	(0538) 55-2171
湖西営業所	湖西市吉美下田 3270-5	(053) 576-2211
館山寺営業所	浜松市館山寺町 3296-5	(053) 487-0056
雄踏営業所	浜名郡雄踏町山崎 3472-2	(053) 592-2633
浜松東営業所	浜松市豊町 2253	(053) 432-1230
袋井観光営業所	袋井市高尾町 6-19	(0538) 42-7221
自動車整備センター	浜松市初生町 1106-4	(053) 439-3211

## 不動産

不動産情報プラザ	浜松市旭町 12-1 フォルテ 1 階	(053) 454-2217
浜松不動産営業所	浜松市八幡町 15-5	(053) 471-0111
鴨江不動産営業所	浜松市鴨江 2-44-23	(053) 456-1700
高台不動産営業所	浜松市初生町 1198-1	(053) 437-1141
浜松東不動産営業所	浜松市和田町 112-1	(053) 463-3355
磐田不動産営業所	磐田市二之宮東 17-1	(0538) 32-1212
袋井不動産営業所	袋井市高尾町 6-19	(0538) 43-8700
掛川不動産営業所	掛川市中央 1-10-6	(0537) 23-5100
湖西不動産営業所	湖西市鷺津 760-2	(053) 574-2880

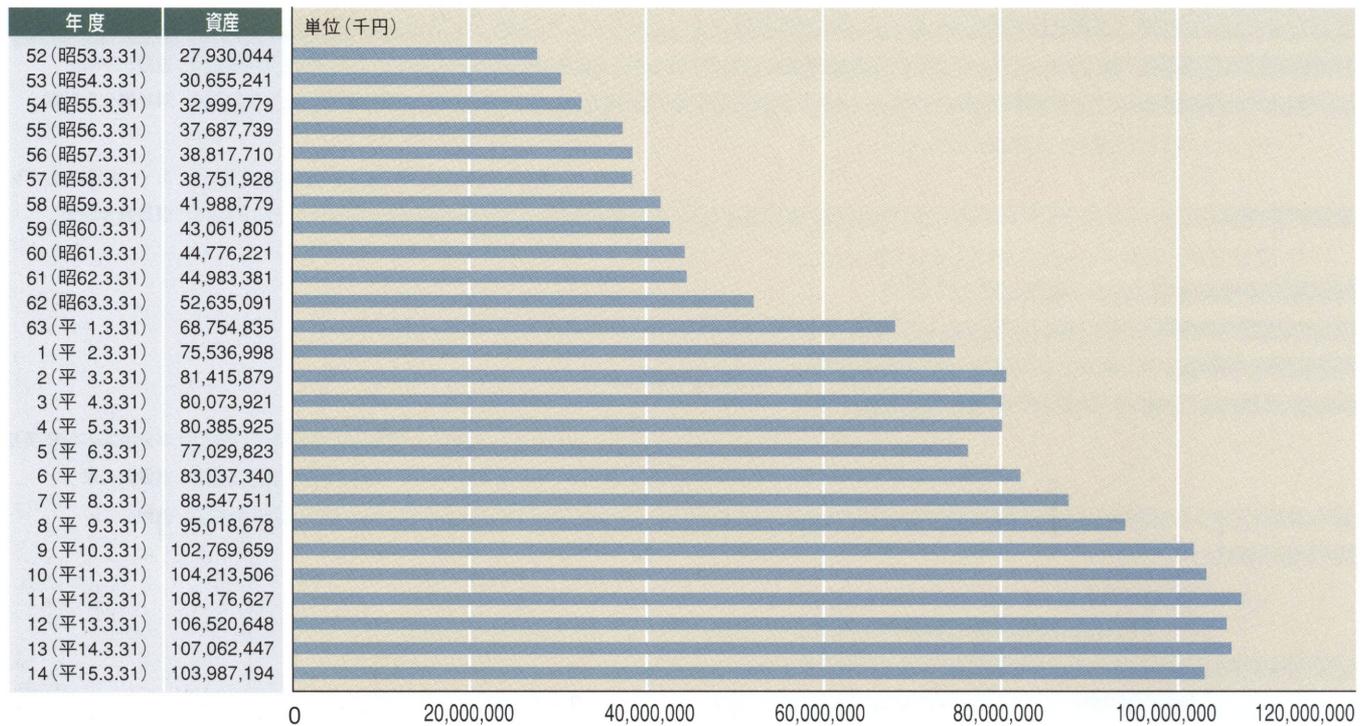
## 保険

富塚店	浜松市富塚町209-120 遠鉄ストア富塚店内	(053) 450-6611
浜北店	浜北市貴布祢34-2	(053) 586-3731
磐田店	磐田市二之宮東17-1	(0538) 36-3731
静岡営業所	静岡市馬淵 2-1-20	(054) 280-0715
名古屋営業所	名古屋市中村区名駅 2-36-10 松岡第2ビル4階	(052) 589-1236
首都圏営業所	川崎市川崎区東田町2-11 住友生命川崎大通りビル9階	(044) 221-2117

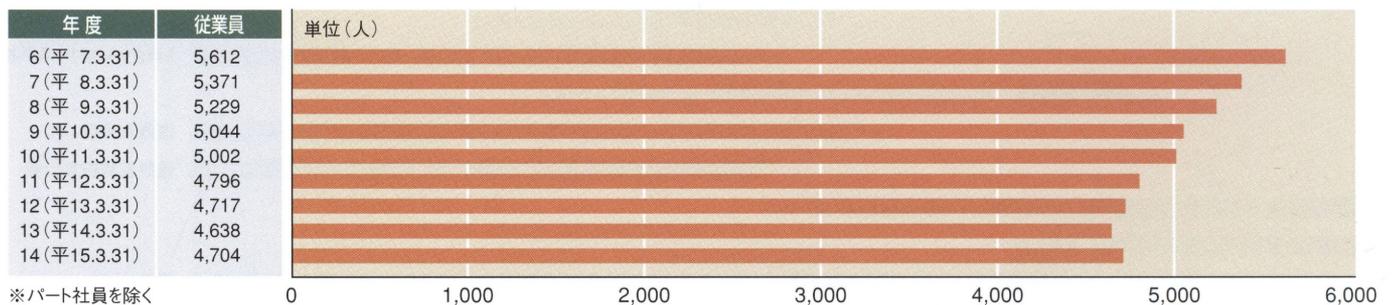




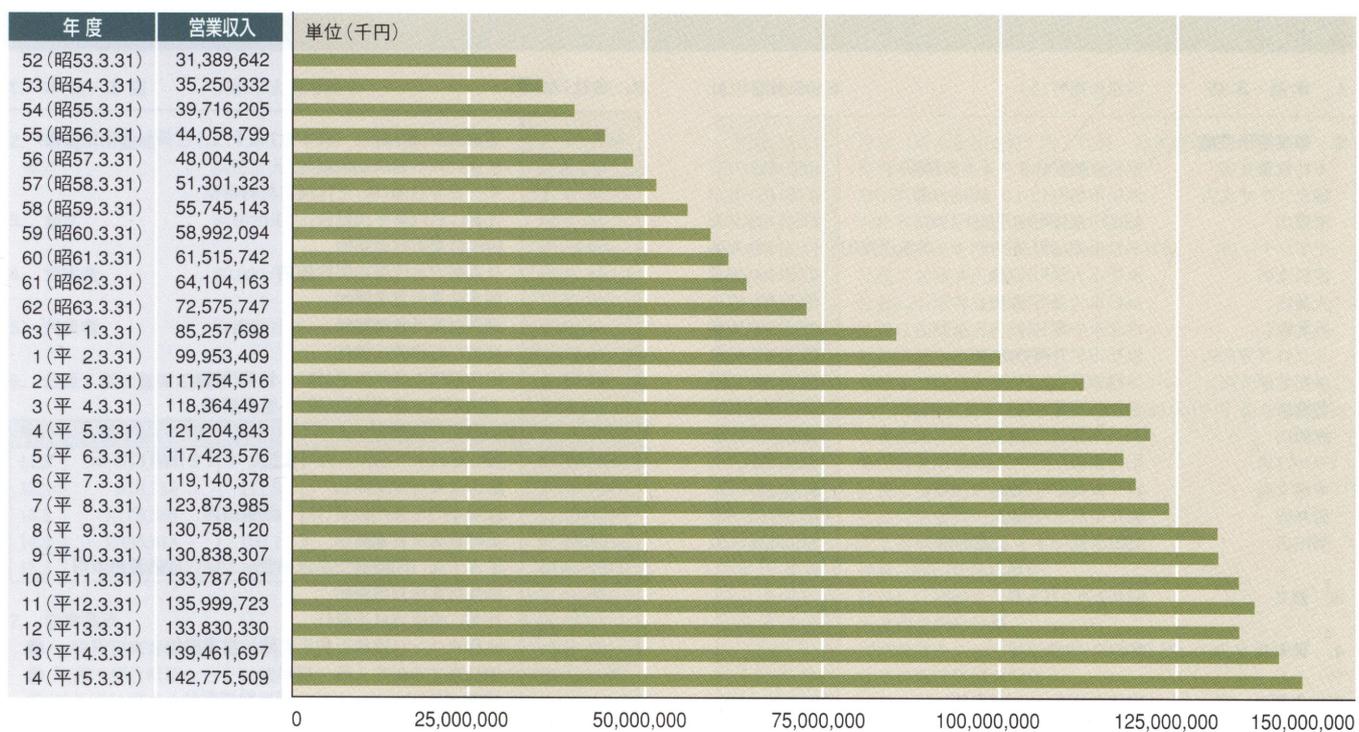
## 連結資産の推移



## 遠鉄グループ従業員数の推移



# 連結営業収入の推移



# 関係会社一覧

## 株式会社遠鉄トラベル

1. 本社・本店 浜松市旭町12-1 (053)452-0131

### 2. 事業所所在地

本社営業支店	浜松市旭町12-1フォルテ10階	(053)452-0137
観光プラザ支店	浜松市旭町12-1フォルテ1階	(053)452-0133
富塚店	浜松市富塚町向平209-120	(053)458-3838
ザザシティ店	浜松市鍛冶町15(ザザシティ浜松西館B1)	(053)450-9200
浜松支店	浜松市大蒲町83-12	(053)460-6677
大蒲店	浜松市大蒲町83-12	(053)460-0711
浜北店	浜北市中瀬16-1	(053)588-5959
リブロス笠井店	浜松市笠井町1197-22	(053)435-6561
浜松北部支店	浜松市葵東2-24-1	(053)437-1305
葵町店	浜松市葵東2-24-1	(053)437-3141
湖西店	湖西市鷺津778-1	(053)576-1280
ベル21店	引佐郡細江町中川1900-1	(053)527-0161
中遠支店	袋井市高尾町6-19	(0538)43-5490
袋井店	袋井市高尾町6-19	(0538)43-5451
磐田店	磐田市見付字今之浦5888-2	(0538)34-9521

3. 創立 昭和26年5月1日

4. 資本金 50,000 千円

5. 代表者 取締役社長 神田 滋

### 6. 最近5期の営業成績等

年月	営業収益(千円)	前年比	従業員数
11.3	1,066,332	95.4	122
12.3	1,039,217	97.5	118
13.3	1,086,287	104.5	114
14.3	998,383	91.9	111
15.3	954,954	95.7	107

### 7. 営業品目

- ① 旅行業
- ② 損害保険代理業
- ③ 自動車損害賠償保障法に基づく保険代理業
- ④ 生命保険代理業
- ⑤ 不動産業
- ⑥ 広告業
- ⑦ 物品販売業
- ⑧ 飲食業
- ⑨ 酒類小売業
- ⑩ 音楽、演劇、映画、スポーツ等、各種催し物の入場券、チケット等の受託販売
- ⑪ 電気通信機器の販売、賃貸、修理及び電話加入手続きの代行業務
- ⑫ 前各号に附帯する業務

### 8. 会社の沿革

昭26. 5. 1	遠鉄商事(株)設立(資本金100千円、社長・鈴木俊雄氏)
30. 2. 5	社長に八木橋周助氏就任
38. 6. 1	モービル石油(株)と代理店契約締結
38. 7.30	社長に竹内修平氏就任
38.12.19	掛川営業所営業開始
44. 4.10	日本航空と代理店契約締結
46. 2.12	浜北営業所営業開始
46. 9.20	湖西営業所営業開始
46.12. 1	社長に石津薫氏就任
47.12. 1	広告部門を遠州鉄道(株)へ営業譲渡
48. 8. 1	石油部門を遠州鉄道(株)へ営業譲渡
48.10.18	一般旅行業認可
49. 7. 1	(株)遠鉄トラベルに商号変更、本社を田町に移転
50. 6. 1	磐田営業所営業開始
50.10. 1	保険部門を遠州興業(株)へ営業譲渡
50.10. 1	葵町営業所営業開始
52. 9.16	IATA(国際航空運送協会)公認代理店資格取得
56. 7. 1	袋井営業所営業開始
59.12. 5	社長に桑原克良氏就任
63. 9.14	旅行サロン(遠鉄百貨店7階)営業開始
平 2.11.10	本社をフォルテ7階へ移転
	観光プラザ(フォルテ1階)営業開始
4. 6.26	社長に源馬芳徳氏就任
4.12. 3	浜松東営業所営業開始
8. 4. 1	チケットセブン販売業務開始
8. 6. 1	「みどりの窓口」業務開始
8. 6. 3	浜松西営業所営業開始
8.11. 1	リブロス笠井店営業開始(遠鉄ショッピングタウンリブロス笠井内)
9. 3. 1	アステルショップ営業開始
9. 4.25	ベル21店営業開始(ショッピングセンターベル21内)
10. 3.26	富塚店営業開始(遠鉄ストア富塚店隣)
12. 6.19	社長に竹山英夫氏就任
13. 6.11	社長に神田滋氏就任
14.12. 1	営業所を統合し、浜松支店、浜松北部支店、中遠支店を新設
15. 4. 1	ザザシティ店営業開始(ザザシティ浜松内)

## 浜松観光自動車株式会社

1. 本社・本店 浜松市大蒲町83-6 (053)465-3311
2. 事業所所在地  
本社 浜松市大蒲町83-6 (053)465-3311
3. 創立 昭和29年12月13日
4. 資本金 60,000 千円
5. 代表者 取締役社長 松島 理
6. 最近5期の営業成績等

年月	営業収益(千円)	前年比	従業員数	車両数	輸送人員
11.3	814,805	88.7	56	40	395,402
12.3	910,714	111.8	71	51	449,806
13.3	1,178,365	129.4	87	58	594,190
14.3	1,285,918	109.1	90	58	569,233
15.3	1,336,319	103.9	97	58	589,955

### 7. 営業品目

- ① 一般貸切旅客自動車運送事業
- ② 旅客の誘致斡旋ならびに観光宣伝および旅行文化に関する事業
- ③ 前各号に関連もしくは付帯する一切の事業

### 8. 会社の沿革

昭29.12.13	設立(資本金10,000千円、社長・鈴木俊雄氏)
30. 2.18	保有車両5両をもって営業開始
35. 4. 1	磐田営業所開設
37.10. 1	浜松営業所を浜松市旭町65へ移転
37.11. 1	浜松営業所を浜松市大蒲町103-1へ移転
38. 5.16	社長に加藤清氏就任
40.11.11	社長に小塚秀雄氏就任
42.11.20	社長に佐藤幸吉氏就任
44.11.27	社長に堀内福平氏就任
46. 6. 7	本社を浜松市大蒲町103-1へ移転
46. 9. 1	浜名湖観光自動車(株)と合併 資本金60,000千円 保有車両33両
48. 5.25	社長に熊谷博之氏就任
52. 5.14	磐田営業所を廃止
55. 6. 6	社長に金原勉氏就任
60. 6.10	社長に伊藤哲夫氏就任
61. 4. 1	浜北西営業所開設
平 1. 6. 9	社長に鳴田重郎氏就任
5. 6.14	社長に江間伸之氏就任
8. 4. 1	浜北西営業所分離 同営業所をニュー浜松観光バス(株)として設立
12. 6.19	社長に堀田隆壽氏就任
13. 6.22	社長に松島理氏就任

## ニュー浜松観光バス株式会社

1. 本社・本店 浜北市内野2418-3 (053)586-5531
2. 事業所所在地  
本社 浜北市内野2418-3 (053)586-5531  
竜洋営業所 磐田郡竜洋町白羽106-4 (0538)66-2021  
湖西営業所 湖西市吉美3270-5 (053)574-2810
3. 創立 平成8年4月1日
4. 資本金 30,000 千円
5. 代表者 取締役社長 大久保房夫
6. 最近5期の営業成績等

年月	営業収益(千円)	前年比	従業員数	車両数	輸送人員(千人)
11.3	243,347	162.6	28	20	90
12.3	468,422	192.5	44	33	191
13.3	781,551	166.8	64	49	330
14.3	1,160,973	148.5	85	58	423
15.3	1,343,023	115.7	87	62	489

### 7. 営業品目

- ① 一般貸切旅客自動車運送事業
- ② 旅行業
- ③ 前各号に関連もしくは付帯する業務

### 8. 会社の沿革

平 8. 4. 1	浜北市内野2418-3に一般貸切旅客自動車運送事業の専業会社を設立 社長に大久保房夫氏就任 資本金30,000千円
8. 4.11	保有車両10両をもって営業開始
12.12.12	竜洋営業所を新設
13. 6. 1	湖西営業所を新設

1. 本社・本店 浜松市旭町12-1 (053)450-1511
2. 事業所所在地  
本社 浜松市旭町12-1 (053)450-1511
3. 創立 平成11年7月21日
4. 資本金 10,000 千円
5. 代表者 取締役社長 斉藤 薫
6. 最近5期の営業成績等

年月	営業収益(千円)	前年比	従業員数
11.3			
12.3	57	—	4
13.3	123,315	216,342.1	36
14.3	224,016	181.7	41
15.3	1,233,825	550.8	178

7. 営業品目

- ① 自動車の運転並びに保守管理
- ② 自動車による旅客及び貨物運送事業
- ③ 建物・構築物及び付帯設備の管理・清掃並びに警備の請負
- ④ 損害保険代理店業
- ⑤ 労働者派遣事業
- ⑥ 職業紹介事業
- ⑦ マンションの管理運営業務
- ⑧ ホテル客室整備の請負
- ⑨ 建物等の環境衛生管理の請負
- ⑩ 建物、清掃関連用品、絵画の販売及び賃貸業
- ⑪ 駐車場業並びに駐車場管理請負
- ⑫ 前各号に関連もしくは付帯する業務

8. 会社の沿革

平11. 7.21	設立（資本金10,000千円、社長・関利彦氏）
12. 8. 1	特定労働者派遣事業を届出
12. 9.16	本社を田町より旭町（現住所）へ移転
13. 2. 1	一般労働者派遣事業許可を受ける
13. 6.27	社長に村松修氏就任
13. 8. 1	有料職業紹介事業許可を受ける
14. 6.27	社長に斉藤薫氏就任
14. 7. 1	遠鉄グループ事業再編により(株)遠鉄総合ビルサービス（現・遠鉄建設）から建物管理部門と清掃部門を営業譲受

1. 本社・本店 浜松市館山寺町1891 (053)487-0771
2. 事業所所在地  
 総合本部事務所 浜松市館山寺町1891 (053)487-0771  
 [事業所]  
 浜名湖バルバル 浜松市館山寺町1898-1 (053)487-2121  
 遠鉄ホテルエンパイア 浜松市館山寺町1942-1 (053)487-0311  
 ホテル九重 浜松市館山寺町2178 (053)487-0090  
 浜北リネン工場 浜北市新原3592-2 (053)587-2215  
 [営業所]  
 東京営業所 東京都中央区日本橋茅場町3-3-10 茅場町光ビル4階 (03)3668-2271  
 大阪営業所 大阪市北区芝田2-9-17 マエダビル702号 (06)4802-0351  
 名古屋営業所 名古屋市東区泉1-1-31 吉泉ビル7階 (052)953-5751
3. 創立 昭和31年5月14日
4. 資本金 300,000 千円
5. 代表者 取締役社長 竹山英夫
6. 最近5期の営業成績等

年月	営業収益(千円)	前年比	従業員数	ホテル・旅館 宿泊者数	バルバル 入園者数
11.3	9,254,097	79.0	564	249,171	641,723
12.3	8,746,712	94.5	516	265,273	615,036
13.3	8,402,991	96.1	471	251,477	533,651
14.3	8,260,989	98.3	443	248,635	559,833
15.3	8,438,426	102.1	443	255,912	558,894

7. 営業種目

- ① 遊園地ならびに娯楽施設の経営
- ② 架空索道による旅客運輸事業
- ③ ホテル、旅館営業
- ④ 食堂、喫茶店、売店の経営
- ⑤ 菓子製造販売業
- ⑥ 惣菜製造販売業
- ⑦ 酒類小売業
- ⑧ 不動産の売買・賃貸借ならびにその仲介および管理業
- ⑨ 駐車場業
- ⑩ クリーニング業
- ⑪ 美容院業
- ⑫ 前各号に関連もしくは付帯する一切の業務

8. 会社の沿革

昭31. 5.14	館山寺観光開発(株)設立 (資本金1,000千円、社長・八木橋周助氏)
34. 7. 1	遊園地開業
35.10. 1	遠鉄観光開発(株)に商号変更
35.12.15	ロープウェイ営業開始
40. 5.26	旅館遠鉄ホテル開業
43. 5. 1	遠鉄ホテル別館開業 (S.54. 2.28廃業)
44. 3.11	旅館「万葉」営業開始 (S.46. 6廃業)
45. 2.25	社長に坪井俊彦氏就任
45.11.12	館山寺〜寸座間にフェリー就航 (S.52. 9.30閉航)
45.11.18	会長に平野富士雄氏就任
46. 7.18	遊園地バルバル営業開始
46. 7.23	ホテル寸座ビラージ(S.56. 1.17廃業) 寸座リフト(S.54.2.28廃業) 遠鉄マリーナ営業開始 (S.56. 1.17廃業)
46.10.18	東京営業所開設
46.11.18	社長に三谷正平氏就任
47. 3. 2	大阪営業所開設
47. 7.16	遠鉄ホテルエンパイア営業開始
48. 1. 1	遠鉄観光汽船(株)(S.52. 9.30廃業)と合併
48. 1.25	名古屋営業所開設
51.12. 8	「かんざんじ遠鉄ホール」開業
53. 4. 1	旅館遠鉄ホテル新装オープン 名称を遠鉄ホテル館山寺に変更 (S.62. 7.26廃業)
54. 4. 1	遠鉄ホテルエンパイア増築完成 最大収容人員1,100人となる
56. 4.21	館山寺遠鉄マリーナ開業
56. 4.28	ホテルコンコルド浜松営業開始
57. 3.29	社長に丹羽潤一氏就任
59. 6.24	バルバルジャンボポール営業開始
60. 6.28	社長に高林正義氏就任
61.10. 1	奥引佐観光開発(株)を吸収合併
62. 4.15	(株)えんてつ会館を吸収合併
62. 9. 6	ホテル九重営業開始
63. 3.22	社長に石津薫氏就任
63. 4. 1	浜松カントリークラブのレストラン営業開始
63. 7. 1	遠鉄不動産(株)を吸収合併
63. 9.14	遠鉄百貨店のレストラン営業開始
平 1. 6.16	ホテル九重大宴会場「菊園」増築完成
1. 9. 8	ホテルコンコルド浜松改装オープン
2. 6.18	社長に加茂廉平氏就任
2.10. 8	奥山山の家改築新装オープン
4.10. 1	ホテルエンパイアリニューアルグランドオープン
7. 6.19	社長に青葉之宏氏就任
7.11. 1	ホテルコンコルド浜松チャペルオープン
8. 7.26	奥山山の家無煙ロースター導入
9. 7.19	浜名湖バルバル第1期リニューアルオープン
9. 7.19	ホテル九重露天風呂オープン
10. 4. 1	ホテルエンパイア「ゆめ座敷・花やかた」リニューアルオープン
10. 7. 1	ホテル事業部門を(株)ホテルコンコルド浜松へ営業譲渡
10. 7. 4	浜名湖バルバル第2期リニューアルオープン
10. 9.28	社長に竹内善一郎氏就任
11. 3.20	浜名湖バルバル第3期リニューアル キッズランドオープン
11. 3.20	ホテルエンパイア空中露天風呂オープン
11. 4.24	かんざんじロープウェイリニューアルオープン
11. 7.24	浜名湖オルゴールミュージアムオープン
14. 7. 8	ホテルエンパイアレ스토랑「ルピナス」、 大浴場「ダイダラボッチの湯」オープン
	浜名湖バルバル内におしゃれ工房「ルーベラ」オープン
14.11.29	社長に竹山英夫氏就任
15. 5.31	ホテル九重割烹「曳馬野」リニューアルオープン

株式会社ホテルコンコルド浜松

1. 本社・本店 浜松市元城町109-18 (053)457-1111
2. 事業所所在地  
[事業所]  
浜松カントリークラブ レストラン 天竜市渡ヶ島20-6 (0539)25-3516
3. 創立 平成10年5月1日
4. 資本金 100,000 千円
5. 代表者 取締役会長 鈴木敬彦  
取締役社長 服部宗爾

6. 最近5期の営業成績等

年月	営業収益(千円)	前年比	従業員数	ホテル宿泊者数
11.3	2,308,328	—	173	54,078
12.3	3,316,077	143.7	148	72,841
13.3	3,388,547	102.2	147	68,825
14.3	3,615,817	106.7	150	74,088
15.3	3,580,408	99.0	152	73,378

7. 営業品目

- ① ホテル業
- ② レストラン、喫茶店及び売店の経営
- ③ 食パン、菓子類、惣菜等食品の製造及び販売
- ④ 食料品、米穀、清涼飲料水、酒類、書籍、医薬品、みやげ品、煙草類及び日用雑貨品の販売
- ⑤ 郵便切手、収入印紙及び宝くじの売りさばき業
- ⑥ プール、アスレチックジム等のスポーツ施設及び文化教室の経営
- ⑦ 写真撮影業、美容業、貸衣裳業、両替業、遊技場、興行場及び有料駐車場
- ⑧ 土地建物の売買、賃貸及び管理業務
- ⑨ 前各号に関連もしくは付帯する一切の事業

8. 会社の沿革

平10. 5. 1	設立(資本金100,000千円、社長・服部宗爾氏)
10. 7. 1	遠鉄観光開発(株)よりホテル事業部門の営業を譲受し、営業を開始
11. 3.21	チャペルリニューアル

株式会社遠鉄山の家

1. 本社・本店 引佐郡引佐町奥山1594-77 (053)543-0002
2. 事業所所在地  
本社 引佐郡引佐町奥山1594-77 (053)543-0002
3. 創立 平成13年2月21日
4. 資本金 20,000 千円
5. 代表者 代表取締役総支配人 石原 賢司

6. 最近5期の営業成績等

年月	営業収益(千円)	前年比	従業員数
14.3	172,067	—	7
15.3	168,679	98.0	9

8. 会社の沿革

平13. 2.21	設立(資本金20,000千円、社長・内山芳実氏)
14. 6. 7	代表取締役役に石原賢司氏就任

7. 営業品目

- ① レストラン及び売店の経営

1. 本社・本店 浜松市上島1-11-15 (053)472-5181

2. 事業所所在地

本社営業所 浜松市上島1-11-15 (053)472-3379  
 東部営業所 浜松市丸塚町541-19 (053)461-8810  
 佐鳴台営業所 浜松市佐鳴台4-9-17 (053)458-4810  
 館山寺温泉営業所 浜松市館山寺町1991-1 (053)487-0259  
 細江営業所 引佐郡細江町気賀1384-3 (053)523-1746  
 柳通営業所 浜松市新津町638(レンタカー) (053)462-5919

3. 創立 昭和26年5月9日(昭和36年1月11日)

4. 資本金 100,000 千円

5. 代表者 取締役社長 山口宏規

6. 最近5期の営業成績等

年月	営業収益(千円)	前年比	従業員数	車両数	輸送人員
11.3	2,508,232	96.8	435	238	2,054,605
12.3	2,497,666	99.6	431	239	2,052,209
13.3	2,514,141	100.7	424	240	2,074,425
14.3	2,518,127	100.2	434	243	2,076,736
15.3	2,734,093	108.6	482	268	2,263,484

7. 営業品目

- ① 一般乗用旅客自動車運送事業
- ② 貸駐車場業
- ③ 貸自動車業
- ④ 損害保険代理業
- ⑤ 自動車損害賠償保障法に基づく保険代理業
- ⑥ 自動車整備及び自動車関連サービス業
- ⑦ 自動車販売、同部品並びに同材料品販売業
- ⑧ 食堂、喫茶店、売店の経営
- ⑨ 不動産の売買、賃貸及びその管理業
- ⑩ 警備業
- ⑪ 防災・防犯など安全に関する設備・機器・システムの販売及びリース
- ⑫ 自動車の運転並びに保守管理
- ⑬ 労働者派遣事業
- ⑭ 身体障害者及び高齢者等の入浴、食事その他日常生活における介護サービスに関する事業
- ⑮ 前記各号に附帯する一切の事業

8. 会社の沿革

昭26. 5	遠州タクシー(株)設立(資本金2,500千円、社長・磯部与三郎氏)
36. 1	遠鉄企業集団の系列下に入る(社長に鈴木俊雄氏)
38. 7	社長に古橋万平氏就任
39.12	社長に三谷正平氏就任
40. 3	遠鉄タクシー(株)に商号変更
44. 7	(有)館山寺タクシーを系列下に入れる (S.53.2.1 遠鉄タクシー(株)と合併)
44. 9	気質合同タクシー(資)を系列下に入れる
45. 8	宇布見タクシー(株)を系列下に入れる
46. 3	浜松市下池川町のモータープール開業
46. 3	興重火災海上保険(株)の保険代理店として、損害保険営業開始
46. 5	浜松市下池川町にニッポンレンタカー中部(株)浜松営業所開設
46. 9	丸三タクシー(株)を系列下に入れる
46.11	社長に甲賀房次郎氏就任
47. 6	中遠タクシー(株)を系列下に入れる
48.12	本社、配車センターを浜松市上島町へ移転する
49.11	社長に丹羽潤一氏就任
50. 6	南遠タクシー(株)を系列下に入れる
52. 6	整備工場、指定自動車整備事業場の認可を受ける
53. 2	(有)館山寺タクシーを合併
54. 2	天竜タクシー(株)を系列下に入れる
55. 3	中泉タクシー(株)を系列下に入れる
55. 9	(株)エンセイを設立
56. 6	社長に八木橋幸男氏就任
63. 2	(株)エンセイを吸収合併
63. 2	丸三タクシー(株)と中泉タクシー(株)が合併し、 遠鉄タクシー磐田(株)に社名変更
63. 2	社長に斉藤繁雄氏就任
63.11	遠鉄宇布見タクシー(株)を吸収合併 (宇布見営業所とする。車両227両)
平 1. 3	自動車整備事業を遠州鉄道(株)整備課に業務移管をして廃止
3. 4	ニッポンレンタカー中部(株)浜松営業所を浜松市新津町へ移転
5. 4	「タクシー呼出しホットライン」を導入
5.12	新配車システムGPS(衛星による全世界位置測位システム)を導入
8. 2	中遠タクシー(株)と南遠タクシー(株)が合併
8. 7	福祉タクシー(ひまわり号)導入
8.11	宇布見営業所を移転新築、エミール雄踏校との共同ビルとする
10. 2	中遠タクシー(株)と遠鉄タクシー磐田(株)が合併し、 遠鉄中遠タクシー(株)に社名変更
10. 6	社長に中野東亜治氏就任
12. 7	緊急通報サービス「あんしんネットワーク」事業開始
14. 7	遠鉄観光タクシー(資)を合併
14. 7	介護サービス事業開始
15. 6	社長に山口宏規氏就任

遠鉄天竜タクシー株式会社

1. 本社・本店 天竜市二俣町鹿島542-29 (0539)25-6252
2. 事業所所在地  
本社営業所 天竜市二俣町鹿島542-29 (0539)25-6252
3. 創立 昭和45年5月6日（昭和54年2月19日）
4. 資本金 10,000 千円
5. 代表者 取締役社長 山口宏規

6. 最近5期の営業成績等

年月	営業収益(千円)	前年比	従業員数	車両数	輸送人員
11.3	102,267	97.2	20	10	88,362
12.3	98,026	95.9	20	10	83,525
13.3	103,833	105.9	19	10	88,417
14.3	100,622	96.9	20	10	85,924
15.3	95,274	94.7	21	10	82,097

遠鉄中遠タクシー株式会社

1. 本社・本店 磐田市鳥之瀬227 (0538)32-6943
2. 事業所所在地  
本社営業所 磐田市鳥之瀬227 (0538)32-6943
3. 創立 昭和12年4月19日（昭和47年6月29日）
4. 資本金 17,250 千円
5. 代表者 取締役社長 小高泰明

6. 最近5期の営業成績等

年月	営業収益(千円)	前年比	従業員数	車両数	輸送人員
11.3	795,877	96.1	134	86	779,879
12.3	784,645	98.6	133	87	780,239
13.3	782,008	99.7	142	83	772,158
14.3	774,716	99.1	139	83	755,906
15.3	818,614	105.7	142	83	825,741

1. 本社・本店 浜松市森田町16 (053)453-4111

2. 事業所所在地

本社	浜松市森田町16	(053)453-4111
浜松店	浜松市森田町16	(053)453-5711
高台店	浜松市葵東2-18-5	(053)436-2511
宮竹店	浜松市宮竹町623	(053)464-0931
南店	浜松市寺脇町728	(053)442-3531
有玉店	浜松市有玉北町1748-1	(053)435-3831
湖西店	浜名郡新居町中之郷2274	(053)594-1355
浜北店	浜北市新原1252	(053)584-6262
磐田店	磐田市鳥之瀬89	(0538)32-2255
袋井店	袋井市川井994-1	(0538)43-5311
掛川店	掛川市成滝405	(0537)22-7177
小笠店	小笠郡小笠町高橋3296	(0537)73-6191
吉田店	榛原郡吉田町住吉690	(0548)32-1291
藤枝店	藤枝市上青島484	(054)641-3026
藤枝東店	藤枝市仮宿1655-1	(054)644-3988
焼津店	焼津市小川3128	(054)624-0111
静岡店	静岡市手越原168	(054)259-1271
天王マイカーセンター	浜松市原島町370	(053)464-3251
上島マイカーセンター	浜松市上島5-16-16	(053)475-1911
森田マイカーセンター	浜松市森田町16	(053)453-4160
掛川マイカーセンター	掛川市大池385	(0537)24-5221
藤枝マイカーセンター	藤枝市上青島484	(054)641-3027
焼津マイカーセンター	焼津市石津1180-1	(054)625-1155
新橋テクノセンター	浜松市新橋町28	(053)441-0636

3. 創立 昭和42年10月12日

4. 資本金 200,000千円

5. 代表者 取締役社長 杉山治一

6. 最近5期の営業成績等

年月	営業収益(千円)	前年比	新車販売台数	中古車販売台数	従業員数
11.3	15,528,436	97.5	6,633	3,866	372
12.3	17,157,806	110.5	8,223	4,660	383
13.3	17,168,687	100.1	7,947	4,311	381
14.3	16,372,922	95.4	6,852	4,388	391
15.3	17,190,573	105.0	7,086	5,164	401

7. 営業品目

- ① 自動車の販売および賃貸
- ② 自動車の点検、整備および修理
- ③ 自動車部分品・用品および鉱油の販売
- ④ 電気機械器具の販売および修理
- ⑤ 冷凍装置の販売および据付修理
- ⑥ レジャー用品、スポーツ用品の販売および修理
- ⑦ 医療用具、医薬部外品および医療用消耗品の販売
- ⑧ 電気通信機械器具の販売・賃貸・修理および電話加入手続きの代行業務
- ⑨ 損害保険代理業および自動車損害賠償保障法に基づく保険代理業
- ⑩ 生命保険の募集に関する業務
- ⑪ 前各号に関連する一切の業務

8. 会社の沿革

昭42.10.12	トヨタオート浜松(株)設立 (資本金50,000千円、社長・平野富士雄氏)
43. 3.26	森田町に本社屋新築
43. 4. 6	掛川営業所開設
43. 4.12	藤枝営業所開設
44. 2.21	吉田営業所開設
44. 5.29	磐田営業所開設
44. 8.12	静岡営業所開設
45. 3.17	湖西営業所開設
45. 5. 6	浜北出張所を廃止し、浜北営業所開設
45. 8. 6	新橋サービス工場開設
45. 9.28	高台営業所開設
45.11.20	社長に中野善次郎氏就任
46. 1. 5	藤枝中古車センター開設
46. 6. 1	掛川中古車センター開設
48. 3.16	浜岡営業所開設
48.11. 2	宮竹営業所開設
50. 5.30	焼津営業所開設
50.11. 1	浜松中古車センター、高台中古車センターを廃止、 原島町にマイカーガーデン開設
51. 1.23	住宅部門発足
55. 2.16	南営業所開設
55. 2.20	トヨタビスタ静岡(株)設立
60. 2	C80コンピューター稼働
62. 5.19	有玉営業所開設
63. 6.23	富塚店開設
63.12.17	トヨタホーム浜松(株)設立(住宅、グリーンセンターを 営業譲渡)
平 1. 4.26	袋井営業所開設
1.12. 7	上島中古車センター開設
2. 1. 8	(株)トヨタレンタリース浜松設立(同 4.1. 営業開始)
3. 7.17	本社および浜松営業所リフレッシュオープン
4. 1.25	藤枝東営業所開設
5. 6.18	社長に青葉之宏氏就任
5. 7. 1	トヨタビスタ静岡(株)の経営権を譲渡
5. 8.25	IDOプラザ浜松オープン
5.12.28	富塚店を閉鎖
6. 2.17	IDOプラザ宮竹オープン
6. 3.31	浜岡営業所を閉鎖
6. 9.27	IDOプラザ掛川オープン
6.10. 3	トヨタホーム浜松(株)の経営権を譲渡
6.10.13	IDOプラザ高台オープン
7. 6.19	社長に加茂廉平氏就任
7. 9.22	IDOプラザ藤枝上青島オープン
7. 9.28	IDOプラザ焼津オープン
8. 1. 9	IDOプラザ磐田オープン
9.10. 1	資本金を100,000千円に増資
9.11. 7	小笠営業所開設
10. 8.18	ネットヨタ浜松(株)に社名変更
10.11.12	焼津マイカーセンター開設(藤枝マイカーセンター焼津展示場)
11. 1. 1	IDOプラザ、PiPitへ名称変更
12. 6.21	社長に杉山治一氏就任
13.10. 1	資本金を200,000千円に増資
13.12.13	浜北店、新原に新築移転 PiPit浜北店オープン
14. 1. 1	森田マイカーセンター開設
14.10.29	新橋テクノセンター リフレッシュオープン
15. 4.19	PiPit有玉店オープン

1. 本社・本店 浜松市西浅田2丁目6-43 (053)444-3911
2. 事業所所在地  
 本社 浜松市西浅田2丁目6-43 (053)444-3911  
 元城店 浜松市下池川町60-3 (053)471-0100  
 浜松駅前店 浜松市板屋町109-26 (053)458-0100  
 掛川店 掛川市上張278-3 (0537)24-8010
3. 創立 平成2年1月8日
4. 資本金 70,000千円
5. 代表者 取締役社長 池谷 敏
6. 最近5期の営業成績等

年月	営業収益(千円)	前年比	従業員数
11.3	1,644,698	110.1	43
12.3	1,761,139	107.1	42
13.3	1,850,784	105.1	49
14.3	1,987,681	107.4	48
15.3	2,086,285	105.0	42

7. 営業品目

- ① 自家用並びに営業用自動車及び産業用車両の賃貸
- ② 中古自動車の販売
- ③ ガソリン及び油脂の販売
- ④ 自動車の部品及び用品の販売及び賃貸
- ⑤ 医療用具の販売
- ⑥ 自動車の整備業
- ⑦ 損害保険代理業 自動車損害賠償保障法に基づく損害保険代理業
- ⑧ 駐車場の経営
- ⑨ 電気通信機械器具の販売・賃貸・修理及び電話加入手続きの代行業務
- ⑩ 前各号に付帯する一切の業務

8. 会社の沿革

平 2. 1. 8	設立（資本金50,000千円、社長・中野善次郎氏）
2. 4. 1	元城店、掛川中央店で営業開始
3. 1.10	浜松駅前店開設
4. 4.	磐田今之浦営業所開設
5. 6.15	社長に青葉之宏氏就任
7. 6.19	社長に鈴木正三氏就任
8. 4. 1	本社を助信町へ移転
11.11. 1	掛川中央店を上張（現住所）へ移転、名称を掛川店とする
13. 4.25	浜松駅前店を板屋町（現住所）へ移転
14. 6.11	社長に杉山治一氏就任
14.12.25	本社を西浅田2丁目（現住所）へ移転
15. 6.20	社長に池谷敏氏就任
15.11. 1	資本金を70,000千円に増資

1. 本社・本店 浜松市砂山町320-2 (053)457-0001
2. 事業所所在地  
 遠鉄百貨店 浜松市砂山町320-2 (053)457-0001  
 百貨店流通センター 浜松市西浅田2-9-5 (053)441-7100  
 遠鉄田町ビル 浜松市田町330-5
3. 創立 昭和62年4月1日
4. 資本金 480,000千円
5. 代表者 取締役会長 鈴木敬彦  
 取締役社長 青柳徹郎

## 6. 最近5期の営業成績等

年月	営業収益(千円)	前年比	従業員数	パート
11.2	32,904,325	105.0	414	116
12.2	33,374,360	101.4	405	118
13.2	33,377,834	100.0	393	117
14.2	35,483,659	106.3	396	114
15.2	38,505,251	108.5	405	114

※ 従業員には臨時社員を含み、パートタイマーは含まない。

## 7. 営業品目

- ① 百貨店業ならびにこれに関連する卸売業・輸出入業
- ② 医薬品・医療用具・医薬部外品・清涼飲料水・人工氷・化粧品・毒物・劇物・肥料の製造・販売業
- ③ 酒類・塩・たばこ・米穀類・計量器の販売業ならびに古物売買業
- ④ 郵便切手・収入印紙・宝くじの売りさばき業
- ⑤ 食堂・レストランおよび喫茶店の経営
- ⑥ 旅行業代理店業・写真業・理容業・美容業・遊戯場・興業場・催会場・文化教室・スポーツ施設および駐車場の経営
- ⑦ 各種会員券売買取換業・生命保険の募集に関する業務・損害保険代理業・金銭貸付業・および両替業
- ⑧ 自動車・スポーツ娯楽用品・事務用機械器具・衣料品・身の回り品・日用雑貨・玩具・家具・家電製品等の賃貸業
- ⑨ 不動産の売買・賃貸およびその仲介業
- ⑩ 土木建築業等建設工事に関する設計・管理・施工請負業
- ⑪ 前各号に関連もしくは付帯する一切の業務

## 8. 会社の沿革

昭62. 4. 1	設立（資本金480,000千円、社長・石津薫氏）
63. 9. 1	株式会社遠鉄名店ビルを吸収合併
63. 9.14	遠鉄百貨店開店
平 1. 7.24	(株)遠鉄百貨店友の会設立
2. 5.25	社長に鈴木敬彦氏就任
2.10. 4	遠鉄百貨店増床オープン
3. 9.26	地下食料品売場一部リニューアル
4. 3. 5	2階・3階婦人服売場一部リニューアル
4. 9	1階化粧品売場全面改装
	2階婦人服売場、5階子供服売場一部リニューアル
5. 9	地下生鮮売場リニューアル
6. 3. 3	3階婦人服売場リニューアル、 1階化粧品売場一部リニューアル
6. 5.23	会長に鈴木敬彦氏、社長に岡田幸三氏就任
7. 3. 2	2階婦人服売場、5階子供服売場一部リニューアル
7. 8.31	1階特選、フェラガモブティック導入
8. 3.16	5階デイズニーストア導入
8. 8.22	4階紳士服、5階文房具リニューアル
9. 3.20	地階食料品全面改装
9. 7. 1	保険業務を遠州鉄道(株)に業務移管
9. 8.28	2階婦人服リニューアル
10. 2.26	3階婦人服プレタポルテ売場リニューアル
10.10. 8	全館リニューアル 第1次グランドオープン
11. 3.24	全館リニューアル 第2次グランドオープン
12. 5.25	社長に青柳徹郎氏就任
14. 3.27	全館リニューアル 第3次グランドオープン

1. 本社・本店 浜松市砂山町320-2 (053)457-5201
2. 事業所所在地 浜松市砂山町320-2 遠鉄百貨店 (053)457-5201
3. 創立 平成元年 7月24日
4. 資本金 20,000千円
5. 代表者 取締役社長 青柳徹郎

8. 会社の沿革

平 1. 7.24	設立（資本金 1,000千円、社長・岡田幸三氏）
2. 3	会員入会受付開始
12. 5.25	社長に青柳徹郎氏就任

6. 最近5期の営業成績等

年月	営業収益(千円)	前年比
11.2	351,447	112.3
12.2	389,689	110.9
13.2	423,093	108.6
14.2	472,995	111.8
15.2	487,539	103.1

7. 営業品目

- ① 割賦販売法に基づく前払式特定取引の方法による商品の売買取次
- ② 文化教養教室、スポーツ教室、ダンス教室の運営
- ③ 各種催物の企画及び運営
- ④ 映画、演劇、音楽会、展覧会、スポーツの入場券の販売の斡旋
- ⑤ ホテル、遊技場、スポーツ施設の利用の斡旋並びに旅行の斡旋
- ⑥ 前各号に関連もしくは付帯する一切の業務

1. 本社・本店 浜松市西浅田2-9-5 (053)441-7811

## 2. 事業所所在地

本部	浜松市西浅田2-9-5	(053)441-7811
富塚店	浜松市富塚町209-120	(053)455-0505
向宿店	浜松市向宿1-9-33	(053)463-1091
湖西店	湖西市鷺津760-2	(053)576-2331
磐田店	磐田市見付字今之浦5879-1	(0538)35-1941
西ヶ崎店	浜松市西ヶ崎町542-1	(053)433-7811
笠井店	浜松市笠井町1197-22	(053)435-6611
鴨江店	浜松市鴨江2-43-1	(053)456-0753
佐鳴台店	浜松市佐鳴台4-16-10	(053)448-9251
三島店	浜松市三島町780	(053)442-3321
立野店	浜松市立野町537-1	(053)426-1185
浜北店	浜北市中瀬16-1	(053)580-0311
竜洋店	磐田郡竜洋町豊岡字金洗6926-3	(0538)66-3541
池田店	磐田郡豊田町池田162-16	(0538)35-1120
祝田店	引佐郡細江町中川1900-1	(053)523-2811
浅羽店	磐田郡浅羽町浅岡350	(0538)23-8951
初生店	浜松市初生町1212	(053)439-5011
大人見店	浜松市大人見町3367-1	(053)485-7311
天王店	浜松市天王町1982-1	(053)466-0311
篠原店	浜松市篠原町14000	(053)440-4111
新橋店	浜松市新橋町398	(053)449-4111
大平台店	浜松市大平台3-20-1	(053)484-0611
掛川中央店	掛川市中央2-7-1	(0537)61-1111
高丘店	浜松市高丘北1-1-1	(053)414-0701
小池店	浜松市小池町2441-9	(053)468-5911
天竜店	天竜市次郎八新田6-2	(0539)22-2311
姫街道店	浜松市葵西3-6-1	(053)430-1101
リプロス笠井	浜松市笠井町1197-22	(053)435-6600

3. 創立 昭和48年10月1日

4. 資本金 300,000 千円

5. 代表者 取締役社長 関 利彦

## 6. 最近5期の営業成績等

年月	営業収益(千円)	前年比	従業員数	店舗数
11.3	33,394,206	100.4	470	22
12.3	33,124,394	99.2	463	24
13.3	33,282,990	100.5	431	25
14.3	32,727,463	98.3	413	25
15.3	32,460,902	99.2	379	26

## 7. 営業品目

- ① 生鮮食品および加工品の販売
- ② 食料品、清涼飲料、乳製品の販売
- ③ 米、酒類、塩、煙草の販売
- ④ 医療用具、日用品、衣料品、雑貨類の販売
- ⑤ 食堂、喫茶店の経営
- ⑥ 貸店舗の経営
- ⑦ 前各号に付帯する一切の業務

## 8. 会社の沿革

昭48.10.1	設立(資本金10,000千円、社長・松本一夫氏)
48.11.8	向平店営業開始
49.7.17	向宿店営業開始
50.4.26	湖西店営業開始
50.8.7	東田町店営業開始
50.11.28	磐田店営業開始
51.5.14	西ヶ崎店営業開始
51.11.26	笠井店営業開始
51.12.8	曳馬店営業開始
52.4.28	鴨江店営業開始
53.4.13	佐鳴台店営業開始
54.10.26	三島店営業開始
55.11.1	立野店営業開始
57.7.9	浜北店営業開始
57.11.6	F C店にしうらストア営業開始(H5.3.22 萩丘店に改称)
58.4.15	名店ビル店営業開始
60.10.24	竜洋店営業開始
61.2.21	池田店営業開始
62.6.15	社長に新村清氏就任
63.7.15	名店ビル店閉店
63.8.25	本郷店営業開始
平 2.7.11	祝田店営業開始
3.1.31	東田町店閉店
3.5.1	浅羽店営業開始
3.6.19	社長に依田留也氏就任
3.11.15	初生店営業開始
5.2.4	大人見店営業開始
5.3.24	コーポレートマークを制定
5.9.2	天王店営業開始
5.9.9	遠鉄百貨店地下青果コーナー営業開始
6.12.1	篠原店営業開始
7.9.14	新橋店営業開始
8.7.4	遠鉄ショッピングタウン リプロス笠井営業開始
9.9.22	曳馬店閉店
9.10.19	萩丘店閉店
10.3.26	向平店、富塚店と名称変更し増床新築オープン
11.2.22	百貨店青果閉店
11.3.4	大平台店営業開始
11.6.10	中郡店営業開始
11.10.13	掛川中央店営業開始
12.6.15	高丘店営業開始
12.6.20	社長に松島理氏就任
12.7.24	本郷店閉店
12.9.21	小池店営業開始
12.11.11	天竜店営業開始
13.3.26	中郡店閉店
13.6.22	社長に関利彦氏就任
15.3.14	姫街道店営業開始

株式会社遠鉄自動車学校

1. 本社・本店 浜松市小池町1552 (053)462-1223
2. 事業所所在地  
 本社 浜松市小池町1552 (053)462-1223  
 [自動車学校]  
 遠鉄自動車学校 浜松市小池町1552 (053)462-1221  
 遠鉄磐田自動車学校 磐田市見付5015 (0538)32-7200  
 [スポーツクラブ]  
 遠鉄スポーツクラブ・エスポ 浜松市助信町51-5 (053)462-4411  
 遠鉄スポーツクラブ・エスポ袋井 袋井市堀越371-1 (0538)42-6350
3. 創立 昭和39年9月5日
4. 資本金 200,000 千円
5. 代表者 取締役社長 伴 和正

6. 最近5期の営業成績等

年月	営業収益(千円)	前年比	従業員数	車両数	入校者数	エスポ個人会員数
11.3	2,613,727	96.8	243	193	6,870	2,568
12.3	2,576,387	98.6	241	181	6,827	3,028
13.3	2,490,027	96.6	235	180	6,726	2,652
14.3	2,338,699	93.9	231	177	6,240	2,784
15.3	2,358,054	100.8	211	178	5,652	5,112

7. 営業品目

- ① 自動車運転教習所の経営
- ② 物品、食料品、清涼飲料、乳製品、煙草、郵便切手の販売業
- ③ 食堂、喫茶店、売店の経営
- ④ 不動産の売買、賃貸借ならびにその仲介および管理業
- ⑤ スポーツ健康施設の経営
- ⑥ 特定労働者派遣事業
- ⑦ 前各号に関連もしくは付帯する業務

8. 会社の沿革

昭39. 9. 5	設立（資本金20,000千円、社長・磯部正吾氏）
40. 5. 1	遠鉄自動車学校営業開始
40.11. 4	静岡県公安委員会の指定を受ける
43. 5.14	社長に石岡長市氏就任
45. 4.23	遠鉄西鹿島自動車学校営業開始
45.10.23	遠鉄西鹿島自動車学校、県公安委員会の指定を受ける
47. 5.24	社長に佐藤利喜雄氏就任
50.10.24	(株)磐田自動車教習所を系列下に収める
50.12. 9	社長に宮津昭三氏就任
53. 4. 1	遠鉄西鹿島自動車学校、大型車教習開始
54. 6.29	社長に坪井俊彦氏就任
55.12.25	遠鉄西鹿島自動車学校、県公安委員会より普通二種教習所の指定を受ける
56. 4. 4	遠鉄西鹿島自動車学校、大型特殊車教習開始
56.12. 1	業務組織の改正により、総務部を(株)遠鉄磐田自動車学校と一本化
57. 4.29	遠鉄西鹿島自動車学校、大型二種の教習開始
59. 6.28	社長に石津薫氏就任
60. 6.10	社長に宮津昭三氏就任
63. 3.20	遠鉄自動車学校、新校舎完成（鉄骨造3階建）
63. 7. 1	(株)遠鉄磐田自動車学校を吸収合併
63.10.20	遠鉄磐田自動車学校、教習コース全面改修工事完了
63.11. 1	遠鉄西鹿島自動車学校を「遠鉄浜北自動車学校」と改称
63.12. 1	社長に森島久男氏就任
平 3. 1.21	遠鉄浜北自動車学校の二種教習コースが、職業訓練校として静岡県知事より認定される
3. 3.30	遠鉄スポーツクラブ「エスポ」完成（鉄骨造2階建同4.12オープン）
4. 2.29	「エスポ」が厚生省「健康増進施設」として認定される
5.12.10	遠鉄浜北自動車学校、けん引車教習を開始
6. 6.14	遠鉄スポーツクラブ「エスポⅡ」完成（鉄骨造3階建同6.15オープン）
8. 9. 1	遠鉄磐田自動車学校、けん引車教習を開始
12. 6.21	社長に池谷敏氏就任
13. 7. 1	(株)スポーツプラザ袋井を系列下に収める
14.10. 1	(株)スポーツプラザ袋井を合併
15. 4.30	遠鉄浜北自動車学校閉校
15. 6.27	社長に伴和正氏就任

1. 本社・本店	浜松市流通元町12-2	(053)422-2231
2. 事業所所在地		
本社	浜松市流通元町12-2	(053)422-2231
東名牧之原SS	榛原郡榛原町静谷 牧之原SA内	(0548)27-2613
天王SS	浜松市天王町 1523-1	(053)463-7237
四ツ池SS	浜松市曳馬 6-23-19	(053)474-5665
駅南SS	浜松市砂山町 343-1	(053)453-7088
白羽SS	浜松市白羽町 18-1	(053)442-0600
飯田SS	浜松市下飯田町字八幡 555	(053)461-8815
森田SS	浜松市西浅田 1-2-10	(053)458-5123
浜北SS	浜北市中瀬 2-1	(053)586-6322
三方原SS	浜松市三方原町 2157-2	(053)439-5519
磐田SS	磐田市見付 1843-19	(0538)39-0505
富塚SS	浜松市富塚町209-208	(053)450-1122
竜洋SS	磐田郡竜洋町白羽370-1	(0538)66-2550
テクノSS	浜松市大原町320-3	(053)439-7400
LPG販売所	浜松市流通元町12-2	(053)421-9251

3. 創立	昭和60年2月26日
4. 資本金	100,000 千円
5. 代表者	取締役社長 野田敏司

6. 最近5期の営業成績等

年月	営業収益(千円)	前年比	従業員数
11.3	5,098,372	97.6	81
12.3	5,261,269	103.2	74
13.3	6,053,167	115.2	73
14.3	6,082,326	100.5	75
15.3	6,044,747	99.4	75

7. 営業品目

- ① 石油製品販売業
- ② 液化石油ガスの製造および販売業
- ③ 自動車整備および自動車のリース・レンタル業
- ④ 自動車用品および冷暖房器具の販売業
- ⑤ スポーツ施設の経営およびスポーツ用品販売業
- ⑥ 不動産の売買、賃貸、管理、仲介等の取引に関する業務
- ⑦ 食料品および日用品、雑貨類販売業
- ⑧ 損害保険代理業
- ⑨ 産業廃棄物処理業
- ⑩ 前各号に関連もしくは付帯する一切の業務

8. 会社の沿革

昭60. 2.26	設立(資本金 30,000千円、社長・青葉之宏氏)
60. 4. 1	遠州鉄道(株)より石油製品販売部門を営業譲受
60.11. 1	駅南給油所営業開始
60.12. 9	宮竹給油所、資源エネルギー庁長官賞受賞
61. 7. 1	液化石油ガスの販売開始
61. 9. 5	白羽給油所営業開始
63. 3.22	本社を流通元町に新築移転
63. 6.16	社長に松山直次氏就任
63. 8. 1	給油所をサービス・ステーション(略称SS)に名称変更
平 2. 6.14	飯田SS営業開始
4. 5.11	三菱との販売契約一号店、豊橋立岩SS営業開始
4. 9.12	森田SS営業開始
4.12.25	浜北SS営業開始
6.10. 1	資本金を50,000千円に増資
7. 7.28	三方原SS営業開始
8.10. 1	磐田SS営業開始
9. 9. 1	遠鉄藤枝SS営業開始(伊藤忠燃より賃借)
10. 3.31	豊橋立岩SS営業閉鎖
10. 9.22	富塚SS営業開始
10.12.31	宮竹SS営業閉鎖
11. 8.31	遠鉄藤枝SS営業閉鎖
11.12. 1	竜洋SS営業開始
12. 6.21	社長に山口宏規氏就任
12. 8.10	鴨江SS営業閉鎖
13. 3. 1	テクノSS営業開始
13.11.16	森田SSをセルフ化
14.10. 1	資本金を100,000千円に増資
14. 6.27	社長に野田敏司氏就任

1. 本社・本店 浜松市東田町 36-8 (053)452-0708
2. 事業所所在地  
 本社 浜松市東田町 36-8 (053)452-0708  
 フォルテ事務所 浜松市旭町 12-1 フォルテ11階 (053)452-6844  
 CEセンター 浜松市西伊場町 54-11 (053)452-6341
3. 創立 昭和59年9月11日
4. 資本金 40,000 千円
5. 代表者 取締役社長 小杉浩一
6. 最近5期の営業成績等

年月	営業収益(千円)	前年比	従業員数
11.3	2,322,170	134.2	102
12.3	2,697,531	116.2	97
13.3	2,635,753	97.7	97
14.3	2,948,735	111.9	96
15.3	2,638,388	89.5	96

7. 営業品目

- ① 電子機器、情報機器、通信機器、事務機器及びこれらの関連機器物品並びにソフトウェアの販売、設置工事、修理、リース及びレンタル業
- ② 電子計算機に関するシステム設計、プログラミング、オペレーティング、コンサルティングの請負及び派遣業
- ③ 電子計算機による計算の請負業
- ④ 電子計算機による情報の収集分析の請負及び情報提供サービス業
- ⑤ 電気通信事業法に定める電気通信事業
- ⑥ 損害保険代理業
- ⑦ 前各号に附帯関連する一切の業務

8. 会社の沿革

昭59. 9.11	設立（資本金10,000千円、社長・木宮利彦氏）
59.10. 1	浜松市田町で営業開始
60. 7. 1	汎用コンピュータFACOMM320Eを導入
60.10. 1	リース事業開始
63. 6.16	社長に河合弘之氏就任
平 1. 4.23	汎用コンピュータFACOMM730/6Aを導入
6. 6. 1	浜松市西伊場町にCEセンター開設
8. 6.12	社長に竹内善一郎氏就任
8.10. 1	浜松市旭町12番地の1フォルテ11階に汎用コンピュータ富士通GS8200/10Rを導入しフォルテ事務所開設
9. 2. 1	インターネットプロバイダー事業開始
9. 3.15	本社を浜松市東田町へ仮移転
10.10.21	社長に小杉浩一氏就任
11. 4. 1	資本金を20,000千円に増資
12. 6.26	本社を浜松市東田町へ本移転
13.10. 1	資本金を40,000千円に増資
14.12.13	ISO9001、14001を同時取得

1. 本社・本店 浜松市海老塚町2-5 (053)413-3131
2. 事業所所在地  
本社 浜松市海老塚町2-5 (053)413-3131
3. 創立 昭和54年4月2日
4. 資本金 100,000 千円
5. 代表者 取締役社長 寺田 清
6. 最近5期の営業成績等

年月	営業収益(千円)	前年比	従業員数
11.3	1,511,182	104.2	82
12.3	1,857,302	122.9	84
13.3	1,716,911	92.4	89
14.3	1,816,059	105.8	82
15.3	2,183,745	120.2	15

7. 営業品目

- ① 土木、建築、電気、管、とび・土工、舗装、造園、機械器具設置等の工事の設計及び施工
- ② 土木、建築の測量、設計及び監理
- ③ 土木建築資材の販売
- ④ 空調機、照明器具等業務用及び住宅用設備機器の販売修理
- ⑤ 鉄道施設の工事の設計及び施工
- ⑥ 建物及び付属設備の保守管理
- ⑦ 電気機器の販売修理
- ⑧ 不動産業
- ⑨ 前各号に付帯する一切の業務

8. 会社の沿革

昭54. 4. 2	遠州ビルサービス(株)設立 (資本金10,000千円、社長・大城健一氏)
59. 3.16	浜北クリーニング工場営業開始
62. 6. 1	(S.62.6遠鉄観光開発(株)に移管) (株)遠鉄総合ビルサービスに商号変更 建物管理業務営業開始
63. 6.16	社長に西尾和雄氏就任
平 8. 6.24	社長に丹羽厚氏就任
12.10.17	社長に寺田清氏就任、会長に丹羽厚氏就任
14. 7. 1	遠鉄建設(株)に商号変更 本社を田町より海老塚町(現住所)へ移転 遠鉄アシスト(株)に建物管理部門、建物清掃部門を譲渡

## 年表

当社関連事項	一般および業界事項
<b>明治40年（1907）</b>	
4. 2 浜松鉄道敷設認可	10. 9 歩兵第67連隊、浜松に設置
5. 8 浜松鉄道（株）、設立発起人総会開催（東京市京橋区築地3丁目11番地、両宮軽便鉄道部にて）	
<b>明治41年（1908）</b>	
8. 一 浜松鉄道（株）、大日本軌道（株）に合併、浜松支社となる（取締役社長両宮敬次郎、支社長石岡孝平）	5.18 静岡鉄道（株）、江尻新道～清水波止場間開通
<b>明治42年（1909）</b>	
3. 3 中ノ町線馬込～萱場間開通	12.16 東京山手線電車運転開始
12. 6 鹿島線、板屋町～鹿島間開通、中ノ町線馬込～南新町間開通	
<b>明治43年（1910）</b>	
3.18 中ノ町線南新町～板屋町間開通	8. 3 軽便鉄道法施行
5.11 中ノ町線・鹿島線貨物輸送、静岡県知事から許可	
<b>明治44年（1911）</b>	
6.14 浜松軽便鉄道（株）、設立発起人総会開催	5. 1 中央本線全通
	7. 1 浜松市制施行（人口4万1,180人）
<b>明治45年・大正元年（1912）</b>	
3. 5 浜松軽便鉄道敷設認可	3. 9 中遠鉄道（株）設立
10. 1 浜松軽便鉄道（株）創立総会開催（取締役社長伊東要蔵）	8. 一 東京にタクシー出現
<b>大正2年（1913）</b>	
	8. 1 東海道本線、全線複線化完成
<b>大正3年（1914）</b>	
4. 7 大日本軌道（株）浜松支社、笠井線開通	7.28 第1次世界大戦勃発
11.30 浜松軽便鉄道、元城～金指間開通	12.20 東京駅開業（東海道本線の起点となる）
<b>大正4年（1915）</b>	
4.24 浜松軽便鉄道（株）、浜松鉄道（株）に社名変更	1.10 新居町駅開設
9.20 浜松鉄道、元城～板屋町間開通	
12.28 浜松鉄道、金指～気賀間開通	
<b>大正5年（1916）</b>	
12.25 浜松鉄道（株）本社所在地、浜松市元城町227-1から同市下池川259-2に移転	9. 1 弁天島仮停車場常設駅となる
<b>大正6年（1917）</b>	
7.31 浜松鉄道（株）、伊平線問題で紛糾	
12.17 浜松鉄道（株）、伊平線廃案とする。奥山線は気賀～井伊谷～奥山に決定	

**当社関連事項****大正7年(1918)**

- 2.19 浜松鉄道(株)、奥山線のコースは竜潭寺裏の丘陵線に決定
- 8.一 浜松自動車(株)、浜松～二俣間定期乗合自動車の運行開始

**大正8年(1919)**

- 4.15 大日本軌道(株)と遠州鉄道(株)〈仮称〉との間で特許権譲渡の仮契約
- 5.22 遠州鉄道(株)〈仮称〉発起人会開催
- 6.13 大日本軌道(株)浜松支社線の譲渡承認可決
- 7.一 湖西自動車(株)設立
- 8.12 静岡県内務部から、遠州鉄道(株)〈仮称〉出願の軌道条例による起業は軌道名称をもってすることに訂正の通達
- 8.18 遠州軌道(株)創立総会開催(浜松商業会議所)
- 9.17 遠州軌道(株)取締役社長に竹内竜雄就任

**大正9年(1920)**

- 1.12 遠州軌道(株)取締役社長竹内竜雄病気のため辞任、新社長に平野又十郎就任  
鹿島線の蒸気力を電力に変更することを決定
- 11.13 遠州軌道(株)取締役社長平野又十郎辞任、新社長に竹内竜雄就任
- 12. 1 遠州軌道(株)の株主優待乗車証交付の廃止(収入保護のため)
- 一.一 万歳自動車商会、浜松市伝馬町でタクシーを開業  
本多一明、浜松～掛塚間乗合自動車運行開始

**大正10年(1921)**

- 6.14 鹿島線動力電化許可
- 8.17 遠州軌道(株)、遠州電気鉄道(株)に社名変更

**大正11年(1922)**

- 1.一 八木橋周助、浜松タクシー自動車商会設立
- 5.一 秋葉自動車(株)設立、森～袋井間、森～犬居間に乗合自動車運行開始
- 9.17 遠州電気鉄道(株)、資本金250万円に増額
- 一.一 天竜川運輸会社(天竜川飛行艇(株)の前身)設立

**大正12年(1923)**

- 4. 1 遠州電気鉄道、鹿島線電化開業(遠州浜松～遠州二俣間)
- 4.15 浜松鉄道、奥山～気賀間開通(板屋町～奥山間全通)
- 4.17 武藤宇一、遠州自動車商会設立、中泉～二俣間乗合自動車運行開始
- 4.一 八木橋周助、笠井自動車商会設立、笠井～浜松間定期乗合自動車運行開始
- 6.一 清水義直、浜松市街自動車商会設立
- 7.一 天竜川運輸会社、飛行艇が西川～鹿島間運航開始

**一般および業界事項**

- 8. 3 富山に米騒動発生
- 9.29 原敬内閣誕生
- 9.一 森～袋井間に乗合自動車運行
- 11.11 第1次世界大戦休戦協定調印

- 1.11 内務省自動車取締令公布(自動車運転免許制開始)
- 3. 1 東京市街自動車(株)、乗合自動車運行開始(通称青バス)
- 5. 1 駿遠電気(株)創立(大日本軌道(株)静岡支社の事業継承)
- 8.15 地方鉄道法施行

- 1.10 国際連盟発足
- 5.15 鉄道院廃止、鉄道省開設
- 8. 2 駿遠電気(株)、静岡線電化開通
- 10. 1 第1回国勢調査実施(内地人口5,596万3,053人)

- 4. 9 航空法公布(昭2.1.1施行)
- 11. 4 原首相、東京駅で暗殺

- 4.17 株式暴落、不況が慢性化
- 4.22 健康保険法公布(大15.7.1施行)
- 10.21 浜松高等工業学校創立

- 2.28 駿遠電気(株)、静岡電気鉄道(株)に社名変更
- 9. 1 関東大震災勃発

## 当社関連事項

- 12.一 新谷源太郎、秋葉自動車商会設立

### 大正13年(1924)

- 3.一 掛塚自動車(株)設立  
7.1 西遠軌道(株)、貴布祢～宮口間開通  
遠州自動車(株)設立  
一.一 鈴木純、キング自動車設立  
阿多古自動車設立

### 大正14年(1925)

- 4.7 浜松軌道(株)設立、取締役社長金原明徳就任(遠州電気鉄道(株)の中ノ町線、笠井線の事業継承)  
12.16 坂下仙一郎、浜松～鹿島間乗合自動車営業免許

### 大正15年・昭和元年(1926)

- 2.9 日清紡績浜松工場専用線開通  
3.20 遠州電気鉄道(株)、岩水寺遊園地に東屋、腰掛、運動具等設置  
10.9 浜松軌道(株)、浜松市内電車敷設特許出願を決議  
12.3 気賀自動車(株)設立

### 昭和2年(1927)

- 1.10 浜松軌道(株)取締役社長金原明徳辞任、新社長に竹内竜雄就任  
1.17 浜松軌道(株)、浜松電気鉄道(株)に社名変更  
6.29 遠州電気鉄道(株)、浜松～鹿島間乗合自動車営業免許を坂下仙一郎から譲受  
7.1 遠州電気鉄道(株)、浜松～鹿島間乗合自動車営業開始  
9.1 鹿島線、遠州浜松～旭町間開通

### 昭和3年(1928)

- 9.一 浜松電気鉄道(株)、笠井線に軌道自動車(ガソリンカー)運転  
西遠鉄道(株)、遠州電気鉄道(株)に経営委託

### 昭和4年(1929)

- 1.28 浜松自動車(株)設立  
6.一 浜松電気鉄道(株)、中ノ町線に軌道自動車(ガソリンカー)運転  
10.13 遠州電気鉄道(株)本社屋完成、本社所在地・浜松市東田町25番地から同市旭町70番地に移転

### 昭和5年(1930)

- 2.21 遠州電気鉄道(株)、本社2・3階を(資)遠電ビル偕楽亭と賃貸契約締結  
6.15 遠州電気鉄道(株)、取締役社長竹内竜雄急逝  
8.1 遠州電気鉄道(株)、岩水寺駅～岩水寺遊園地間乗合自動車路線買収、営業継承  
10.27 遠州電気鉄道(株)、取締役社長に鈴木信一就任

## 一般および業界事項

- 1.18 東京市、巢鴨～東京駅間、中渋谷～東京駅間をT型フォード11人乗り44両で乗合自動車事業を開業(通称円太郎バス)  
8.一 中遠地方乗合自動車事業者が集まり、中遠自動車組合発足

- 3.10 大井川鉄道、金谷町～上川根村間開通  
5.5 衆議院議員選挙法改正・公布(男子普通選挙実現)  
11.一 山手線、神田～上野間高架線開通(環状運転化)

- 1.一 大阪に円タク出現  
4.26 日本楽器製造(株)争議(8.8解決)  
8.6 日本放送協会設立  
9.3 浜松市議会議員選挙(わが国初の普通選挙)

- 2.26 大阪市、バス事業開業  
4.1 静岡電気鉄道(株)、狐ヶ崎遊園地本開園  
4.18 日本乗合自動車協会創立  
8.26 内務・通信・鉄道の3省による陸運監督権をめぐる所管争い(昭3.11.5解決)  
9.一 遠三鉄道(株)創立総会(昭5.10解散)  
12.30 わが国初の地下鉄、上野～浅草間開通

- 2.20 普通選挙法による最初の衆議院議員選挙実施  
7.22 浜松循環自動車(株)設立  
11.5 自動車運送の監督権、通信省から鉄道省に移管

- 5.一 洋画トーキー輸入  
7.1 東海道本線高塚駅開設  
8.19 ドイツ飛行船ツェペリン伯号来日  
10.24 ニューヨーク株式市場大暴落、世界恐慌発生

- 8.一 佐鳴湖遊園バス(株)設立  
10.1 東京～神戸間、特急列車「つばめ」号運転開始(所要時間8時間55分)  
11.一 中田島自動車(株)設立  
12.20 鉄道省、バス事業開業(岡崎～多治見間、瀬戸記念橋～高蔵寺間)

## 当社関連事項

### 一.一 昭和自動車設立、浜松～中ノ町間乗合自動車運行

#### 昭和6年(1931)

- 4.27 遠州電気鉄道(株)第24回定期株主総会、株主無配当を決議(第29回総会まで継続)
- 6.10 浜松鉄道(株)、取締役社長伊東要蔵辞任、新社長に深井鷹一郎就任
- 8.1 鹿島線に納涼電車毎日1往復運転(8.19まで、以後毎年恒例化)
- 8.25 遠州秋葉自動車(株)設立(9.1営業開始)
- 12.一 遠三自動車(株)設立

#### 昭和7年(1932)

- 7.21 遠州電気鉄道(株)、弁天島行省社連絡割引切符を発売(以後恒例化)
- 9.16 気賀自動車(株)、渋川～大平(愛知県境)間乗合自動車営業免許

#### 昭和8年(1933)

- 1.31 掛塚自動車(株)、中泉～福田～横須賀間、中泉～福田間乗合自動車営業権と自動車3台を寺田弥一から譲受
- 6.14 遠州電気鉄道(株)、宮口～笠井間、中ノ町～天竜川駅間乗合自動車営業権を中谷弥作から譲受
- 10.27 掛塚自動車(株)、中泉～豊浜～幸浦～横須賀～野賀間乗合自動車営業権と自動車2台を鈴木純から譲受の契約締結

#### 昭和9年(1934)

- 8.22 掛塚自動車(株)、河原町停留所～野賀間乗合自動車営業権を中遠鉄道(株)から譲受の契約締結

#### 昭和10年(1935)

- 6.10 遠州電気鉄道(株)、自動車弘業(株)(通称ハヤイタクシー)の経営を行うことを決定
- 11.17 気賀自動車(株)取締役社長に青葉延太郎就任

#### 昭和11年(1936)

- 10.23 遠州乗合自動車(株)設立(11.1営業開始)
- 11.1 浜松タクシー(株)設立、取締役社長に青葉延太郎就任

#### 昭和12年(1937)

- 2.18 浜松電気鉄道(株)、中ノ町線廃止
- 5.18 掛塚自動車(株)、見付～福田間、見付～大藤間乗合自動車営業権を静岡電気鉄道(株)から譲受契約締結
- 8.28 遠州秋葉自動車(株)、取締役副社長に青葉延太郎、監査役に鈴木俊雄就任
- 10.6 西遠軌道(株)、営業廃止

## 一般および業界事項

- 3.15 浜松で全国産業博覧会開催(5.8まで)
- 4.1 自動車交通事業法公布、重要産業統制法公布
- 8.1 わが国初のトーキー映画「マダムと女房」公開
- 9.1 清水トンネルが完成し上越線新前橋～宮内間全通
- 9.18 満州事変勃発

- 1.28 上海事変勃発
- 5.15 5・15事件(犬養首相暗殺)
- 8.22 東海道浜名橋開通
- 9.15 日満議定書調印(満州国承認)
- 11.8 ルーズベルト、アメリカ大統領に当選(昭8.3.4就任)

- 1.30 ヒトラー、ドイツ首相に就任
- 3.4 金融恐慌、全米に拡大
- 9.1 豊田自動織機製作所、自動車部を設置
- 10.1 自動車交通事業法施行

- 2.一 浜松循環自動車(株)、佐鳴湖遊園バス(株)を合併
- 3.1 満州国帝政実施

- 4.17 二俣線、掛川～森間開通
- 10.18 鉄道省、大型貸切自動車の免許方針を明示
- 一.一 浜松循環自動車(株)、中田島自動車(株)の経営を受託

- 2.9 三菱重工業(株)、木炭自動車の製造開始
- 2.26 2・26事件(高橋蔵相ら殺害)
- 8.1 浜松市、乗合自動車営業開始

- 4.1 省営バス、二川より白須賀、新居町駅まで延長
- 4.10 駿遠自動車(株)、静岡乗合自動車(株)と社名変更
- 4.20 静岡乗合自動車(株)、静岡自動車を買収
- 7.7 日中戦争勃発
- 11.11 政府、石油消費節約方針決定(さしあたり自発的1割節約実施)

## 当社関連事項

- 12.16 遠州秋葉自動車(株)、水窪線・佐久間線の乗合自動車営業権  
等高木保治から譲受

### 昭和13年(1938)

3. 1 二俣線西鹿島駅竣工に伴い、遠州二俣駅を同所に移転  
5.21 静岡県西部遊覧自動車組合(10事業者)、静岡・山梨・神奈川3  
県から大型自動車旅客運送事業経営免許  
3. 7 揮発油および重油販売取締規制公布  
4. 1 国家総動員法・陸上交通事業調整法公布  
5. 1 購買券による本格的ガソリン消費規制実施  
8. 4 乗用車製造ほぼ禁止の商工省通達  
10. 1 石炭配給制実施

### 昭和14年(1939)

- 3.10 浜松トラック運送(株)設立、取締役社長に青葉延太郎就任  
12. 8 遠州運送(株)設立、代表取締役(専務)に土屋佐平就任  
4. 5 自動車タイヤチューブ配給統制規則公布(4.20施行)  
9. 1 第2次世界大戦勃発  
10. 1 石油配給制実施

### 昭和15年(1940)

6. 1 二俣線全通により西鹿島駅は省社共同で使用  
8.26 遠州秋葉自動車(株)、取締役社長に一木久米吉就任  
2. 1 陸運統制令公布  
6. 1 二俣線全通

### 昭和16年(1941)

4. 1 遠州電気鉄道(株)、鉄道省の基準により家族手当を支給  
10.20 助信変電所完成  
3. 2 静岡県乗合自動車運送事業組合設立  
6. 9 日本乗合自動車協会解散、全国乗合自動車運送事業組合連合  
会創立  
8. 1 アメリカ、対日石油禁輸を発表  
8.一 自動車、ガソリンカーの燃料、木炭・薪の代燃化  
10.18 東条英機内閣発足  
12. 8 太平洋戦争勃発

### 昭和17年(1942)

- 10.14 遠州電気鉄道(株)、取締役社長鈴木信一辞任、新社長に青葉  
延太郎就任  
4.18 アメリカ機、日本本土初空襲(東京・名古屋・神戸)  
8.21 旅客自動車事業統合の通達

### 昭和18年(1943)

- 3.20 合併6社、合併契約書調印  
4.12 合併6社、臨時株主総会で合併契約書承認  
5.20 合併認可申請書を鉄道省に提出  
7. 1 4事業社(遠三自動車、阿多古自動車、湖西自動車、鈴木友太  
郎)譲渡許可申請  
7.24 合併認可追申書を鉄道省に提出  
9.30 合併認可  
10.26 創立総会開催(遠州交通(株)を遠州鉄道(株)に変更)  
11. 1 遠州鉄道(株)創立、青葉延太郎初代社長に就任  
11.13 4事業社譲渡許可  
1.13 ジャズなど米・英曲目の演奏禁止  
1.20 静岡市で登呂遺跡発見  
2.15 全国旅客列車運転大幅削減  
5.15 静岡電気鉄道(株)ほか4社合併し、静岡鉄道(株)と改称  
7. 1 東京都制施行  
8. 1 飯田線、鉄道省に移管  
11. 1 鉄道省廃止、運輸通信省官制公布  
12. 1 カイロ宣言発表  
12.24 徴兵年齢19歳に引き下げ

### 昭和19年(1944)

- 1.20 浜松電気鉄道(株)取締役社長に土屋佐平就任  
3. 6 久野自動車商会、付属工場買収  
4. 1 決戦非常措置要綱に基づき、1等車・寝台車・食堂車全廃  
5.10 名古屋鉄道局に初の女性車掌登場

## 一般および業界事項

## 当社関連事項

- 10. 1 相生ボデー(株)買収
- 12.10 浜松電気鉄道(株)、笠井線廃止

## 昭和20年(1945)

- 3.10 本社事務分散執務  
浜松電気鉄道(株)、遠州興業(株)に社名変更
- 4. 5 浜松鉄道(株)取締役社長に石岡孝平就任
- 6.18 浜松大空襲により、本社屋・旭町・遠州浜松駅など焼失、旭町～蘭市場前間不通  
浜松鉄道(株)、本社屋・東田町・田町口・元城・普濟寺口駅(停留場)と在籍車両中約半数焼失
- 6.19 二俣電車線、遠州助信～西鹿島間で折り返し運転開始
- 6.- 重役室・総務部事務所を小松駅前、自動車部事務所を旧二俣新町売札所に移転
- 8.- 本社事務、西鹿島仮事務所に移転
- 12. 1 浜松鉄道(株)、取締役社長に西川熊三郎就任

## 昭和21年(1946)

- 2. 8 浜松鉄道(株)取締役に鈴木俊雄、土屋佐平ら就任
- 3.11 遠州鉄道労働組合結成
- 6. 1 本社事務、旭町本社事務所に復帰
- 10.10 水窪線のバス営業権、国鉄に譲渡
- 10.25 労働協約締結
- 11. 7 浜松鉄道(株)と合併契約書調印
- 11.11 浜松鉄道労働組合結成
- 12. 5 浜松鉄道(株)との合併認可申請提出

## 昭和22年(1947)

- 3.24 浜松鉄道(株)との合併認可
- 5. 1 浜松鉄道(株)と合併、資本金を463万4,400円に増額
- 5. 8 浜松営業所建物を再建
- 6. 1 戦災による修復工事完成、遠州浜松～旭町間運転再開
- 9.29 資本金1,000万円に増額

## 昭和23年(1948)

- 4.27 資本金2,000万円に増額
- 7.18 鉄道線運賃改正(基本賃率、二俣電車線1.10円、奥山線2円)
- 10.25 助信自動車工場竣工
- 11. 2 渋川バス車庫竣工
- 11. 4 創立5周年記念従業員および家族慰安会開催

## 昭和24年(1949)

- 2. 1 就業規則制定
- 4. 1 賃金規則制定
- 7. 1 予算規程制定

## 一般および業界事項

- 8.23 女子挺身勤労令公布
- 12.13 浜松初空襲

- 1.20 大本営、本土決戦作戦を指令
- 3. 9 東京大空襲
- 4. 7 鈴木貫太郎内閣発足
- 5.19 運輸通信省廃止、運輸省設置
- 7.26 連合国、ポツダム宣言発表
- 8. 6 広島に原爆投下、続いて8.9長崎に投下
- 8.15 終戦、運輸省に復興運輸本部を設置
- 9. 9 マッカーサー、日本管理方式につき声明発表
- 10. 9 幣原喜重郎内閣発足
- 10.11 戦後初の映画「そよ風」封切、主題歌「リンゴの唄」が流行
- 10.24 国際連合発足
- 12.22 労働組合法公布(昭21.3.1施行)

- 1. 1 天皇人間宣言
- 3. 3 旧円流通禁止、物価統制令公布
- 4.10 戦後最初の総選挙実施
- 5. 1 戦後第1回のメーデー
- 5.22 第1次吉田茂内閣発足
- 6.17 天皇陛下、浜松の復興状況視察
- 11. 1 第1回国民体育大会開催(大阪・京都)
- 11. 3 新憲法公布(昭22.5.3施行)

- 1.10 日本私鉄労働組合総連合会結成
- 4. 7 労働基準法公布(9.1施行)
- 6. 1 片山哲内閣発足
- 8. 9 古橋広之進、400メートル自由形で世界新記録
- 11.28 私鉄経営者連盟発足
- 12.16 自動車交通事業法廃止、道路運送法公布

- 3.10 芦田均内閣発足
- 4. 1 磐田市制施行
- 5. 2 サマータイム実施(昭27廃止)
- 7.21 新円一本化、預金封鎖解除
- 9.28 (社)日本乗合自動車協会発足
- 10.19 第2次吉田内閣発足

- 2.16 第3次吉田内閣発足
- 5. 1 東海道本線、沼津～浜松間電化完成
- 6. 1 日本国有鉄道、公共企業体として発足

## 当社関連事項

- 8.10 資本金4,000万円に増額

## 昭和25年(1950)

- 4.26 奥山線小豆餅変電所竣工  
奥山線電化開通(東田町～曳馬野間)  
5.25 バス6両貸切専用指定認可  
9.30 館山寺バス車庫竣工  
12.1 社宅貸与規程制定  
12.23 福田営業所開設、掛塚営業所廃止  
12.26 横山貸切営業所開設

## 昭和26年(1951)

- 2- 第1回オール遠鉄観光ガイドコンクール開催  
5.1 遠鉄商事(株)設立  
5.9 遠鉄タクシー(株)設立  
8.1 奥山線曳馬野～奥山間ディーゼル動車化(蒸気機関車廃止)  
8.20 資本金7,000万円に増額  
10.11 乗合自動車運賃改正(基準賃率3円)  
11.1 鉄道線最低運賃改正(大人10円、小人5円)  
遠州鉄道共済会設立  
11.23 鉄道線運賃改正(基本賃率2.30円)

## 昭和27年(1952)

- 1.11 新年初詣講団体募集実施(可睡斎、法多山、見付天神社)  
3- 代燃車消去  
4.1 遠州鉄道健康保険組合設立認可  
7.2 一般貸切旅客自動車運送約款認可  
12.2 熊バス車庫竣工  
12.20 二俣電車線カテナリー化工事完成  
(ポール式からパンタグラフ式に)

## 昭和28年(1953)

- 1.8 二俣電車線、急行列車運転開始  
1- 新年初詣講団体募集(豊川稲荷)  
2.1 鉄道線運賃改正(基本賃率2.70円)  
8.1 旭町駅を新浜松駅に改称  
10.1 資本金1億4,000万円に増額  
10.27 袋井貸切営業所開設

## 昭和29年(1954)

- 6.30 第1号自動踏切警報機設置(八幡4号)  
11.18 鈴木俊雄第2代社長に就任  
12.13 浜松観光自動車(株)設立(昭30.2.18開業)

## 一般および業界事項

- 11.1 県陸運事務所設置  
対面通行実施(人は右、車は左)

- 1.7 聖徳太子の1,000円札発行  
3.31 シャープ勧告に基づく税制改革実施  
4.1 たばこ自由販売化  
4.15 公職選挙法公布  
6.25 朝鮮戦争勃発  
9.1 レッドパージ方針閣議決定  
11.1 浜松市立動物園開園

- 2.15 湘南型電車による東京～浜松間直通運転実施  
2- 糸へん景気  
4.11 マッカーサー元帥解任(後任リッジウェイ中将)  
6.1 道路運送法施行  
6.8 改正商法公布(7.1施行)  
9.1 わが国初のワンマンバス登場(大阪市営バス)  
9.8 対日平和条約・日米安全保障条約調印(昭27.4.28発効)  
9.9 わが国、アメリカ軍駐留という条件付で独立  
10.25 日本航空(株)、東京～大阪～福岡間定期航路再開

- 4.28 GHQ廃止  
6.10 改正道路法公布(12.5施行)  
7.1 ガソリンなど燃料統制撤廃  
8.1 運賃認可権、経済安定本部から運輸省に移管  
10.30 第4次吉田内閣発足  
11.1 県下初の民間放送「静岡放送」ラジオ放送開始  
11.30 浜松市役所新庁舎落成(利町から元城町へ)  
12.20 わが国初のボウリング場誕生(東京青山)

- 2.1 NHK、テレビ放送開始  
5.21 第5次吉田内閣発足  
7.27 朝鮮休戦協定調印  
8.7 浜名湖競艇発足  
12.25 奄美群島、わが国に復帰

- 3.1 ビキニ水爆実験  
3.22 伊場遺跡、県の史跡に指定  
4.25 私鉄58組合、24時間のストライキ  
7.1 防衛庁、自衛隊発足、県警察発足(自治体警察廃止)  
12.10 第1次鳩山一郎内閣発足

## 当社関連事項

### 昭和30年（1955）

- 3.15 業務改善委員会規程制定
- 3.31 掛塚売札所竣工
- 4. 1 気賀営業所を細江営業所に改称
- 8.22 二俣電車線、票券閉塞方式を連動閉塞方式に変更
- 8.30 西ヶ崎変電所竣工
- 9. 1 資本金2億1,000万円に増額

### 昭和31年（1956）

- 1.一 二俣電車線電車、小豆色からクリーム色とグリーンのツートンカラーに変更
- 5.14 館山寺観光開発（株）設立
- 5.15 佐久間貸切営業所開設
- 6. 1 新居営業所開設
- 7.一 二俣電車線、納涼電車19年ぶりに復活
- 9.一 遠州上島駅に日本石油貨物側線完成
- 12. 1 電車運転士国家試験制度移行に伴い、2人受験

### 昭和32年（1957）

- 3.28 企画室、技術部新設
- 4. 1 三ヶ日貸切営業所開設
- 5.31 磐田営業所竣工
- 8. 1 鉄道線運賃改正（基本賃率3.15円）
- 9.15 奥山線元城駅駅舎竣工
- 9.22 第1号自動踏切遮断機設置（遠鉄浜松4・5号）
- 10. 1 自動車運転教習所設置

### 昭和33年（1958）

- 1.21 大須貸切営業所開設
- 3.18 弘報『遠鉄』創刊
- 6. 1 遠鉄浜松駅竣工、遠州浜松駅貨物専用駅化、奥山線東田町駅廃止
- 9.25 館山寺に温泉誕生、開湯式挙行
- 11. 1 二俣電車線、国鉄二俣線遠江二俣駅までディーゼル車乗り入れ開始
- 11. 3 青葉延太郎会長、交通文化賞受賞
- 11. 8 笠井線など、遠鉄浜松駅まで路線延長
- 11.10 内部監査規程制定
- 12.10 提案規程制定
- 12.27 スキーバス、初めて運行

### 昭和34年（1959）

- 1. 1 乗合自動車運賃改正（基準賃率3.55円）

## 一般および業界事項

- 3. 3 天竜川の掛塚橋（有料）開通
- 3.19 第2次鳩山内閣発足
- 7. 1 アルミ1円貨発行
- 8. 7 東京通信工業（株）（ソニー）、初のトランジスタラジオ発売
- 10.13 統一社会党発足
- 11.15 自由民主党結党
- 11.22 第3次鳩山内閣発足

- 4.16 日本道路公団発足
- 5. 1 浜松オートレース開設
- 5.23 百貨店法公布（6.16施行）
- 8.25 佐久間ダム完成
- 10. 1 5,000円札発行
- 11.19 東海道本線全線電化完成
- 12.18 わが国、国連に加盟
- 12.23 石橋湛山内閣発足

- 1.29 南極に昭和基地建設
- 2.25 第1次岸信介内閣発足
- 6. 1 NHK静岡放送局、テレビ放送開始
- 7.10 岸改造内閣発足
- 10. 4 ソ連、人工衛星スプートニク1号打ち上げ成功
- 10.26 静岡国体秋季大会開催（10.30まで）
- 12. 1 浜松で電話自動交換開始
- 12.11 100円硬貨発行

- 1.10 秋葉ダム竣工
- 1.31 アメリカ、人工衛星エスクプローラ打ち上げ成功
- 3. 9 日本道路公団、関門国道トンネル開通
- 3.31 道路整備緊急措置法公布
- 4.26 浜松城天守閣再建
- 5.20 伊東線に初のCTC装置採用
- 6.12 第2次岸内閣発足
- 11. 1 東海道本線、ビジネス特急「こだま」号運転（東京～大阪間6時間50分）
- 11. 3 袋井・天竜市制施行
- 11.27 皇太子殿下と正田美智子さん婚約発表
- 12. 1 1万円札発行
- 12.23 東京タワー完成

- 4.10 皇太子殿下ご成婚

## 当社関連事項

- 2.一 職務権限規程制定  
新型バス26両購入(初の空気バネバスを含む)
- 3. 8 ベースアップ1,000円で妥結
- 3.12 掛塚貸切営業所、笠井貸切営業所を開設
- 5.30 浜松営業所、田町から常盤町に移転
- 7.18 館山寺観光開発(株)、館山寺遊園地開園
- 7.21 旭町本社1階に観光案内所開設
- 9.12 浜松～豊橋間に快速バス運行開始
- 10.一 34年度分バス購入53両、ガソリン車一掃
- 11. 1 館山寺観光開発(株)、娯楽センター開業

## 昭和35年(1960)

- 2.20 浜松市内定期観光線のバス営業開始
- 3.24 貸切車6両増車認可(貸切車58両に)
- 3.27 遠鉄旧友会発足
- 4. 1 資本金3億1,500万円に増額
- 4.21 鷺津貸切営業所開設
- 6.20 担当常務制実施
- 8.一 遠鉄5カ年計画立案に着手
- 10. 1 第1号電気ポイント設置(新浜松駅)  
館山寺観光開発(株)、遠鉄観光開発(株)に社名変更
- 12.15 遠鉄観光開発(株)、館山寺ロープウェイ開通

## 昭和36年(1961)

- 1.11 遠州タクシー(株)取締役社長に鈴木俊雄就任
- 3.27 細江営業所竣工(地上3階地下1階)
- 4.16 遠州鉄道労働組合ストライキ実施
- 8.一 ライトバス(20人乗り)2両稼働開始
- 9.19 山梨貸切営業所、犬居貸切営業所開設
- 9.一 浜名湖興業(株)設立
- 10. 1 乗合自動車運行管理規程制定
- 10. 2 遠鉄観光汽船(株)設立
- 10.一 遠鉄浜松駅に観光サービスステーション完成
- 11. 1 元城寮完成(4階建、30室、128人収容)
- 11.15 岩水寺変電所竣工、小林変電所廃止
- 12. 1 資本金4億8,000万円に増額
- 12.一 バス80両購入、貸切バス76両に  
二俣電車線電車赤色に変更

## 昭和37年(1962)

- 2.16 全営業所にレジスター配置
- 3.20 鉄道線運賃改正(基本賃率3.50円)
- 4. 1 笠井営業所、雄踏営業所、袋井営業所開設  
定年55歳から56歳に1歳延長
- 4. 2 遠鉄不動産(株)設立

## 一般および業界事項

- 4.15 最低賃金法公布(7.10施行)
- 4.一 NHK浜松放送局テレビ放送開始
- 5.13 蜷塚遺跡、国の史跡に指定
- 6.18 岸改造内閣発足
- 9.26 伊勢湾台風来襲
- 11. 1 国民年金制度発足
- 11.17 運輸省、警察庁に対し、バスの優先通行権を申し入れ
- 12. 3 個人タクシー営業初めて認可
- 12.19 姫街道の松並木、浜松市の史跡に指定

- 5. 1 浜松市の人口、32万4,710人で県下一に
- 6.23 日米新安保条約発効
- 7.19 第1次池田勇人内閣発足
- 7.25 東海道幹線自動車国道建設法公布
- 8.11 テレビ受信契約数500万件突破
- 9.10 NHKと民間放送、カラーテレビ放送を開始
- 9.12 ドル為替自由化
- 10.12 社会党委員長浅沼稻次郎、日比谷公会堂で刺殺
- 10.31 伊豆スカイライン起工式(昭37.9.30一部開通)
- 11. 8 ケネディ、アメリカ大統領に当選(昭36.1.20就任)
- 12. 8 第2次池田内閣発足
- 12.20 道路交通法施行

- 4.12 ソ連、初の有人宇宙船ボストーク号の打ち上げ、回収に成功
- 5. 5 アメリカ、人間ロケット打ち上げに成功
- 5.27 県立三ヶ日青年の家落成
- 6.25 国連本部「世界経済概観」で日本の貯蓄率世界最高と発表
- 7. 1 浜松市民会館落成
- 7.18 池田改造内閣発足
- 8. 4 田子の浦港開港
- 9. 1 日赤、愛の献血運動開始
- 9.26 閣議、貿易自由化計画繰り上げを決定
- 11. 7 踏切改良促進法制定
- 12. 9 伊豆急行、伊東～下田間全線開通
- 12.20 通産省、172品目の自由化を21日から実施と発表

- 1.19 全国のワンマンバス35社、617両
- 2. 1 東京都が世界初の1,000万人都市
- 2. 2 日米間相互関税引き下げ交渉妥結調印
- 3. 1 テレビ受信契約数1,000万件突破
- 4.10 私鉄163組合、24時間ストライキ

## 当社関連事項

- 4.20 館山寺営業所開設
- 4.25 超大型バス、国道本線で稼働開始
- 5. 1 館山寺貸切営業所、雄踏貸切営業所開設、助信新工場竣工
- 5.一 笠井営業所完成(木造2階建)
- 6. 1 社歌制定
- 7. 1 週42時間労働制実施
- 12.24 三ヶ日タクシー(株)設立
- 12.28 乗合自動車運賃改正(基準賃率20キロまで4円)
- 12.一 助信工場、指定自動車整備事業の体制確立

## 昭和38年(1963)

- 2. 6 浜名湖観光自動車(株)設立(4.1開業)
- 3.10 浜松営業所竣工(鉄筋4階建)
- 3.29 助信工場、一級重整備工場に認定
- 4. 2 遠鉄健保会館開館
- 4. 3 第1号踏切交通信号機設置(馬込3号)
- 5. 1 社是制定  
奥山線、気賀口～奥山間営業廃止
- 6.30 遠鉄ボーイスカウト発団
- 7.一 従業員持株制度確立
- 8. 7 (株)浜松ボウリング設立(昭39.3.20開業)
- 10. 1 資本金7億2,000万円に増額  
浜松～静岡間の急行バス営業開始
- 12. 5 浜松観光営業所開設

## 昭和39年(1964)

- 1. 1 竜洋営業所開設
- 2.22 リクライニングシート付デラックスバス8両購入
- 3.20 浜松ボウリング開業
- 4.30 天竜営業所竣工(鉄筋4階建)
- 6. 1 竜洋営業所寮竣工(鉄筋3階建、44人収容)  
観光部発足、浜松観光営業所、遠鉄浜松駅2階に移転
- 7. 1 週40時間労働制実施
- 9. 5 (株)遠鉄自動車学校設立(昭40.5.1開校)
- 10. 6 奥引佐観光開発組合設立
- 11. 1 奥山線、遠鉄浜松～気賀口間全線営業廃止  
浜松北部出張所開設  
曳馬野線のバス営業開始
- 12.20 福田営業所、福田町中町から同町福田に移転

## 昭和40年(1965)

- 1. 1 遠鉄浜松駅ホーム(旧奥山線)内からバス発車
- 1.一 豊川初詣会員募集、1万2,500人参加(7日間)
- 2.20 浜松市内乗合自動車運賃改正(20円均一制)
- 2.24 遠鉄交通事業協同組合設立
- 3.20 鉄道自動車共通乗車券発売開始(20円区間)

## 一般および業界事項

- 5.10 新産業都市建設促進法公布(8.1施行)
- 7.18 池田改造内閣発足
- 7.22 富士登山者空前の記録(頂上へ1万8,000人)
- 8.20 浜松児童会館落成
- 8.30 戦後初の国産機YS11初飛行
- 9.29 政府、10月からの貿易自由化230品目(88%)決定
- 10.24 アメリカ、キューバ封鎖実施
- 12.11 国民宿舎館山寺荘落成

- 2. 5 日ソ貿易協定調印
- 4. 1 浜松市体育館落成
- 6.19 ソ連、ポストーク6号打ち上げ成功(初の女性宇宙飛行士)、帰還
- 7. 1 浜北市制施行
- 7.12 新産業都市、13都市を指定
- 7.15 名神高速道路、尼崎～栗東間開業
- 7.25 米、英、ソ3国部分的核実験停止条約に仮調印
- 7.一 中卒就職希望者激減(求人難時代始まる)
- 10.26 原子力研究所、初の原子力発電に成功
- 11. 1 新1,000円札発行(伊藤博文)
- 11.22 アメリカ大統領ケネディ暗殺
- 12. 9 第3次池田内閣発足

- 1.17 政府・公共料金ストップ令決定
- 2.29 日本平パークウェイ開通
- 3.23 日本鉄道建設公団発足
- 4. 1 わが国、IMF8条国に移行
- 4.28 わが国、OECDに正式加盟
- 5. 1 青空駐車禁止(浜松市、静岡市)
- 6. 1 ビール・酒類、25年ぶりに自由価格化
- 6.16 新潟地震発生
- 7.18 池田改造内閣発足
- 9.17 東京・浜松町～羽田間モノレール開通
- 10. 1 国鉄、東海道新幹線開業
- 10. 5 国鉄バス、名神高速線名古屋～神戸間開業
- 10.10 東京オリンピック大会開催(10.24まで)
- 11. 9 佐藤栄作内閣発足

- 1. 1 アラブ共同市場(アラブ連合、クウェート、イラク、シリア、ヨルダン)発足
- 2. 7 わが国初の双胴カーフェリー進水(清水)  
アメリカ、北ベトナムで爆撃開始
- 4. 9 経団連、増資再開の原則決定
- 4.28 私鉄179組合、24時間ストライキ

## 当社関連事項

- 3.21 第1号自動券売機(20円均一)設置(遠鉄浜松駅)
- 4. 1 遠州鉄道共済組合発足(共済会解散)
- 5.26 遠鉄観光開発(株)館山寺遠鉄ホテル開業
- 9.17 遠鉄不動産(株)、事務所を早馬町に移転
- 9.30 浜松観光営業所、助信町に移転
- 11.27 鉄道線運賃改正(基本賃率4.50円)、回数乗車券廃止

## 昭和41年(1966)

- 1.19 乗合自動車運賃改正(基準賃率5円)
- 3. 1 鉄道線、小口扱貨物廃止
- 4. 1 乗合自動車運送約款変更
- 5. 1 ワンマンバス運転開始(浅田循環線、助信線)
- 6.24 3両編成列車運転開始
- 8.20 浜松～東岡崎間(浜松岡崎線)のバス営業開始  
営業所管理路線の分担決定
- 9.20 乗合バス、運賃後払い方式を導入(浜松市内4循環線)
- 10. 1 国鉄二俣線、ディーゼル車乗入れ全面廃止
- 11.14 鈴木俊雄社長逝去
- 11.18 平野富士雄、第3代社長に就任

## 昭和42年(1967)

- 2. 1 乗合バス整理券方式、雄踏営業所、笠井営業所で採用
- 2.15 監督職登用資格試験内規制定
- 2.24 半田住宅団地正式名称「遠鉄旭ヶ丘団地」に決定
- 5.10 (株)遠鉄名店ビル設立(10.1開業)
- 7. 1 観光部廃止、観光バスセンター開設
- 8.25 三ヶ日出張所竣工(8.28移転)
- 10.12 トヨタオート浜松(株)設立
- 10.16 乗合バス全線、整理券方式採用
- 11. 1 定期観光バス「奥浜名湖めぐりAコース」の運転開始
- 11.11 浜松第2ボウル開業
- 12. 1 企画室、技術部を廃止し、総合企画室、不動産部を新設、運輸事業本部新設
- 12.22 遠州八幡～西鹿島間CTC完成、自動閉塞方式採用

## 昭和43年(1968)

- 1.16 鉄道最低運賃改正(大人20円、小人10円)
- 2. 1 一般貸切旅客自動車運送事業経営(愛知県への事業区域拡張)  
免許再申請  
週休2日制(週40時間労働制)一部導入(鉄道乗務員)
- 4. 1 竜洋営業所竣工(鉄筋3階建)  
奥引佐観光開発(株)設立(奥引佐観光開発組合の事業継承)
- 4.20 乗合バス30両購入(うち27両ワンマンカー)
- 6.25 列車無線開局
- 10. 1 管理監督者心得制定
- 11.20 経理部廃止、高架対策総合調査室新設

## 一般および業界事項

- 6. 3 佐藤改造内閣発足
- 7. 1 名神高速道路全線開通
- 9.24 国鉄、みどりの窓口開設(全国で235カ所)
- 10. 1 国勢調査実施(わが国人口9,827万人)
- 10.21 朝永振一郎、ノーベル物理学賞受賞
- 12.11 日韓条約案可決
- 12.15 アメリカ、初の宇宙ランデブーに成功

- 2. 3 ソ連、ルナ9号月面に軟着陸成功
- 2. 4 全日空機、東京湾に墜落
- 3.16 アメリカ、ジェミニ8号打ち上げ、初のドッキング成功
- 4.20 国鉄全線にATS装置完了
- 6.30 ビートルズ東京公演
- 8. 1 佐藤改造内閣発足
- 8. 3 静岡県、昭和40年の県民所得推計1人当たり23万6,000円と発表
- 12. 3 佐藤改造内閣発足
- 12.一 静岡県、昭和41年の県民平均寿命、男68.23歳、女73.45歳と発表

- 2.17 第2次佐藤内閣発足
- 4.24 有料道路の東伊豆道路開通
- 5.31 (財)日本民営鉄道協会設立(私鉄経営者協会解散)
- 6. 5 中東動乱勃発
- 6. 6 アラブ連合、スエズ運河閉鎖
- 6.17 中国、初の水爆実験成功
- 6.一 わが国、自動車保有台数1,000万台突破
- 7.31 わが国人口1億人突破  
交通安全対策緊急措置法制定
- 11. 8 国鉄、東海道新幹線「三島駅」設置決定
- 11.16 浩宮徳仁親王、浜名湖周辺一人でご旅行
- 12. 9 都電銀座線廃止
- 12.31 テレビ受信契約数2,000万件突破

- 3.30 浜名湖レークサイドウェイ開通式
- 4.24 東名高速道路、富士～静岡間開通
- 6.26 小笠原諸島、正式にわが国に復帰
- 7. 1 郵便番号制度実施
- 8. 1 静岡県人口300万人突破
- 8. 5 皇太子ご一家、奥浜名湖にご滞在(8.10まで)
- 8.18 飛騨川にバス2台転落
- 10.18 川端康成、ノーベル文学賞受賞
- 11. 1 静岡県内の自動車台数49万4,796台
- 11.30 佐藤改造内閣発足

## 当社関連事項

12. 1 浜名線、笠井線、ワンマンバス運転開始

## 一般および業界事項

12.10 3億円事件発生

12.31 GNP、アメリカに次いで自由世界第2位となる

### 昭和44年（1969）

- |                                    |   |
|------------------------------------|---|
| 1. 1 自動車乗務員、週休2日制実施                | 1.10 天竜、奥三河、国定公園に指定                                   |
| 2. 4 鉄道線運賃改正（基本賃率5.50円）            | 1.18 警視庁8,500人の機動隊を東京大学に導入                            |
| 3. 1 名古屋観光案内所開設                    | 3.11 金価格高騰  |
| 3.15 東名静岡浜松線のバス営業開始                | 4. 1 (社)日本乗合自動車協会、(社)日本バス協会と改称(3.27認可)                |
| 4.20 浜名湖周遊観光バス「浜名湖めぐりBコース」運転開始     | 5.26 東名高速道路全線開通                                       |
| 8. 1 労務部に厚生課新設<br>電算機稼働開始          | 6.10 東名ハイウェイバス開業                                      |
| 9. 1 横須賀線、磐福線、ワンマンバス運転開始           | 6.11 昭和43年度国民総生産51兆円（世界2位）、1人当たり国民所得<br>世界20位と経済企画庁発表 |
| 9. 2 一般貸切旅客自動車運送事業経営（愛知への事業区域拡張）免許 | 7.21 アメリカ、アポロ11号月面着陸、人類第一歩                            |
| 10. 5 「館山寺奥浜名湖遊覧Cコース」運転開始          | 10.27 浜松バイパス開通  |
| 12. 4 乗合自動車運賃改正（基準賃率6.20円）         | 11. 5 日ソ航空交渉調印  |
|                                    | 11.20 沖縄の1972年返還決定                                    |

### 昭和45年（1970）

- |  |  |
|--|--|
| 2.12 名古屋営業所開設                                  | 1.14 第3次佐藤内閣発足   |
| 2.15 気賀三ヶ日線（浜松～三ヶ日間）、ワンマンバス運転開始                | 2.11 わが国初の人工衛星ラムダ打ち上げ成功                                |
| 2.21 宇布見線、大人見線、ワンマンバス運転開始（ワンマン化率44.3%）         | 3. 1 路線バス優先通行が東京都目黒通り、玉川通りで実施                          |
| 3.15 万博輸送開始                                    | 3.14 日本万国博覧会開会式（一般公開は3.15～9.13）                        |
| 4. 1 資本金10億8,000万円に増額<br>(株)遠鉄ミサワホーム設立         | 3.20 地震予知連絡会、東海地方など7カ所を大地震発生の注意地区に指定                   |
| 7.24 館山寺線に冷房バス運転開始                             | 3.30 天城トンネル有料道路開通                                      |
| 7.30 浜松北部出張所竣工（鉄骨2階建）                          | 3.31 赤軍派、日航機よど号乗っ取り                                    |
| 8. 1 乗合バスにポデー広告採用                              | 4.24 中国、初の人工衛星打ち上げ成功                                   |
| 8.16 東名静岡浜松線、ワンマンバス運転開始                        | 7.15 警視庁、8月から銀座、新宿、池袋、浅草で日曜、祝日の自動車の<br>の通行禁止を決定（歩行者天国） |
| 9. 1 貸切バス会員募集を「遠鉄パンビツアー」と命名                    | 10. 2 山陽新幹線の六甲トンネル貫通                                   |
| 11.12 自動車学校前変電所竣工<br>遠鉄観光汽船(株)、フェリー（館山寺～寸座間）就航 | 11. 7 公害対策静岡県連絡会議結成                                    |
| 11.18 管理本部設置                                   | 11.15 沖縄で国政参加選挙投票実施                                    |
| 12.30 浜団地線、ワンマンバス運転開始                          | 12. 4 アメリカ、日本製テレビのダンピングを認定                             |

### 昭和46年（1971）

- |  |                                    |
|--|------------------------------------|
| 1. 1 浜名湖観光開発建設計画発表   | 1.13 鉄道建設審議会、東北・上越・成田の3新幹線建設を答申    |
| 2.21 曳馬野線、ワンマンバス運転開始（ワンマン化率63.2%）                          | 1.20 金谷バイパス開通                      |
| 4. 1 西鹿島駅の国鉄業務を受託<br>電車バス連絡定期券を発売開始                        | 2. 5 アメリカ、アポロ14号、月からカラーテレビ中継       |
| 5. 1 伊佐見線、館山寺線（伊佐見経由）、吉野線、ワンマンバス運<br>開始                    | 5.24 静岡県内自動車免許人口100万人突破            |
| 6.30 雄踏営業所、新築移転  | 6.17 沖縄返還協定調印式（宇宙中継により東京・ワシントンで挙行） |
| 7. 1 鉄道、初の記念乗車券発売（浜松市制60周年記念）<br>館山寺営業所、新築移転<br>佐久間貸切営業所廃止 | 7. 1 環境庁発足                         |
| 7.15 遠州浜団地に車庫新設  | 7. 3 東亜国内航空機、函館で墜落                 |
| 7.17 遠鉄観光開発(株)、遊園地を増設しパルパル営業開始                             | 7. 5 佐藤改造内閣発足                      |
|  | 7.30 全日空機、岩手県雫石上空で自衛隊機と衝突          |
|  | 8. 2 世界ボーイスカウトジャンボリー、朝霧高原で開催       |
|  | 8.16 アメリカ大統領ニクソン、ドル防衛緊急対策発表        |
|  | 8.28 円変動相場制に移行                     |

## 当社関連事項

- 7.23 遠鉄観光開発(株)、寸座ピラージュ開業
- 7.26 県下初の超デラックスバス(スーパーB7X)2両導入
- 8.26 鉄道線運賃改正  
(基本賃率7.50円、最低運賃大人30円、小人15円)
- 9. 1 浜松観光自動車(株)、浜名湖観光自動車(株)と合併
- 10.26 全営業所を邦人旅行斡旋業務取扱営業所として登録
- 12.10 観光バスセンター、新社屋で営業開始

## 昭和47年(1972)

- 2. 7 ヤマハ発動機(株)本社移転に伴い磐田市内線増強
- 2.11 一色線、ワンマンバス運転開始(ワンマン化率73.8%)
- 3. 1 不動産事業本部、自動車事業本部新設
- 4. 1 竜洋営業所、初のワンマン営業所
- 4.10 貴布祢変電所竣工、西ヶ崎変電所廃止
- 4.19 春野貸切営業所起工
- 4.21 豊橋瀬戸線路線廃止
- 7.16 定期観光バス「浜名湖めぐりB・Cコース」運転開始  
遠鉄ホテルエンバイアオープン
- 8.28 自動車部、初の名古屋陸運局長運転無事故表彰受賞  
(3.17～7.16)
- 9. 1 遠鉄ファミリークラブ発足
- 9.24 乗合自動車運賃改正(基準賃率8.60円)
- 10. 1 鉄道線10分ヘッドダイヤ実施、4両編成運転開始  
さぎの宮駅新設(遠州新村、さぎの宮(旧遠州共同)の両駅廃止)
- 11. 一 循環式自動両替器付運賃箱使用開始
- 12. 1 観光サービス部新設、事業課に遠鉄商事(株)広告部門移管、  
営業本部新設(自動車事業本部廃止)

## 昭和48年(1973)

- 1.25 遠鉄グループ名古屋総合案内所開設
- 2. 1 乗合自動車運賃改正(浜松市内均一区間40円)
- 3. 1 流通事業開設準備室設置
- 4. 1 資本金17億8,000万円に増額  
館山寺営業所、雄踏営業所、ワンマン営業所化(ワンマン化85.4%)  
鉄道線11分ヘッドダイヤ、各駅停車の実施  
ツアーレディ採用
- 6. 1 東名浜松名古屋線のバス営業開始
- 8. 1 石油部新設(遠鉄商事(株)石油部門移管)
- 9. 1 助信貸切営業所、浜松営業所に移転統合
- 9.29 鉄道線運賃改正(基本賃率10円、最低運賃大人40円、小人20円)
- 10. 1 浜名線(一部)、新所原線、浜名湖大橋線ワンマンバス運転開始  
(ワンマン化率91.1%)  
(株)遠鉄ストア設立
- 11. 1 経理部設置  
週休2日制完全実施
- 11. 8 (株)遠鉄ストア向平店(1号店)営業開始
- 11.22 石油危機突破対策委員会設置

## 一般および業界事項

- 10.25 中国、国連代表権回復
- 12.15 三島市で静岡県下初のノーカーデー実施
- 12.20 円切り上げ実施(1ドル=308円)
- 1. 1 湖西市制施行
- 2. 2 スクールゾーン設定を決定
- 2. 3 冬季オリンピック札幌大会開催
- 2.27 米中共同声明発表
- 2.28 自動車運賃改定の2年ローテーションシステム導入
- 3.15 山陽新幹線、新大阪～岡山間開通
- 5. 2 鉄道建設審議会、北海道、東北など4新幹線の建設開始を答申
- 5.15 沖縄の施政権返還(沖縄県発足)
- 5.25 東京証券取引所、旧ダウ平均株価史場初の3,500円台記録
- 6.27 阪急バス、デマンドバスを実用化
- 7. 7 田中角栄内閣発足
- 9.29 日中国交正常化調印
- 10.14 鉄道開業100周年記念
- 10.28 パンダ来日(11.5公開)
- 11. 6 北陸トンネルで列車火災
- 12. 6 運輸省、48年4月以降生産の新型車の排出ガス規制基準決定
- 12.12 南伊豆道路「マーガレットライン」開通
- 12.22 第2次田中内閣発足
- 1. 1 豊田町制施行
- 1.15 国立医科大学誘致問題、浜松に正式決定
- 1.23 ベトナム和平協定成立
- 3.31 列島改造をすすめる国土総合開発法改正案国会提出  
浜名湖大橋開通
- 4. 6 休日振り替え祝日法改正案成立
- 4.27 資本自由化100%実施を閣議決定
- 6.30 静岡県下で初めて光化学スモッグ発生
- 7.29 「こだま」16両化完了
- 10. 6 第4次中東戦争勃発(オイルショック始まる)
- 11. 6 石油ショックで洗剤、チリ紙、砂糖などが不足、買いだめ騒動発生
- 11.16 政府、石油緊急対策要綱を決定(消費節約)
- 11.25 田中改造内閣発足
- 12.19 静岡県、日用品の高騰発表  
(8月から11月でチリ紙211%、灯油122%)
- 12.27 49年度の不採算路線等補助金、総額23億9,000万余円に決定  
(対前年10億円増)

## 当社関連事項

### 昭和49年（1974）

- 1.30 コンクリート枕木化、コンクリート電柱化実施
- 2. 1 篠原車庫完成（木造2階建）
- 2. 4 石油危機に伴い業務効率化委員会設置
- 3. 4 貸切認可車両131両
- 3.20 CTC全線完成（遠州八幡～新浜松間工事完成）
- 4.11 賃金引き上げ2万8,500円で妥結
- 6.26 乗合自動車運賃改正（基準賃率13.40円）
- 7. 1 若草団地分譲開始、172区画  
遠鉄商事（株）、（株）遠鉄トラベルに社名変更
- 8. 1 西山団地分譲開始、224区画
- 8. 9 乗合自動車運賃改正（浜松市内均一50円）
- 9. 1 第1次複合化5駅無人化  
（遠州八幡、自動車学校前、積志、遠州小林、遠州岩水寺）  
浜松北部営業所、三方原営業所に改称
- 10.23 （有）浜松スペースサービス設立
- 12. 1 磐田営業所移転（磐田市岩井）
- 12.26 新居営業所を移転し、湖西営業所と改称

### 昭和50年（1975）

- 1. ー 社内報『えんてつ』季刊化
- 2. 6 鉄道線運賃改正（基本賃率10キロまで15円、10キロ以上12円、  
最低運賃大人50円、小人25円）
- 3.21 乗合バスワンマン化率100%達成
- 6. 1 自動車部門「サービス向上月間」実施
- 6.27 アメリカンファミリー生命保険会社と代理店契約締結
- 7. ー 沖縄海洋博でバンビツアーに航空機採用
- 9.10 乗合自動車運賃改正（基準賃率18円）
- 9.23 遠州興業（株）設立
- 11.14 乗合自動車運賃改正（浜松市内均一80円）
- 12.15 踏切警手全線廃止（馬込3号の廃止）

### 昭和51年（1976）

- 4. 1 鉄道全線貨物業務取扱廃止
- 5. 6 若葉台団地完成
- 6.28 青葉貞雄、第4代社長に就任  
総合開発事業部設置、鉄道部を営業本部に編入

### 昭和52年（1977）

- 1.21 鉄道運賃改正（基本賃率10キロまで18円、10キロ以上14円40銭）
- 4. 1 高架関連事業本部設置  
57歳定年制実施
- 5.30 販売促進委員会設置
- 8.14 浜北駅ビルオープン
- 9.28 従業員持株会発足
- 10. 7 乗合自動車運賃改正（基準賃率21円）

## 一般および業界事項

- 1.16 オイルショックの影響でネオンサインなど消灯措置
- 1.19 静岡県内消費者物価48年12月は前月対比で3.5%上昇と発表
- 1.21 静岡県下の雨なし記録71日でストップ
- 3.26 東名浜松西インターチェンジ開通
- 5. 9 伊豆半島沖地震発生
- 6. 7 浜松医科大学開校
- 6.26 国土庁発足
- 7.16 田中改造内閣発足
- 10. 8 佐藤元首相とアイルランド・マクブライド元外相、ノーベル平和賞  
受賞決定
- 11.11 田中改造内閣発足
- 11.18 フォード・アメリカ大統領来日（現職大統領として初めて）
- 12. 1 山陽本線ディーゼル化（本州からSL消える）
- 12. 9 三木武夫内閣発足

- 2. 1 地価公示価格初めて下落（国土庁発表）
- 3.10 山陽新幹線、岡山～博多間営業開始
- 3.13 静岡県警、交通事故死者多発警報を初めて発令
- 3.24 第2次不況対策を閣議決定（住宅融資促進等）
- 4.30 サイゴン陥落、ベトナム戦争終結
- 7.18 ミソ宇宙船、史上初のドッキング
- 7.19 沖縄海洋博覧会開催（昭51.1.18まで）
- 9.27 OPEC、石油10%値上げ決定
- 11. 1 浜松市内バス優先レーン、県下初の実施

- 2. 4 ロッキード事件表面化
- 6. ー 浜松駅前バスターミナル基本計画作成
- 7. 8 大井川鉄道、SL復活運転開始
- 12.29 福田赳夫内閣発足

- 1.24 昭和51年の国際収支、4年ぶりに黒字転換と発表
- 4. 1 地価公示価格、対前年15%上昇（国土庁発表）
- 5.20 オリエン特急行廃止
- 5.27 独禁法改正案成立（11.29施行）
- 7.14 国鉄リニアモーターカー走行テストに成功（世界初）
- 8.11 昇仙峡で静鉄バス転落
- 12. 6 政府、黒字減らしのため関税引き下げなど8項目決定

## 当社関連事項

- 11. 1 鉄道線日祭ダイヤ、フルシーズン運転に変更
- 11.15 ATS全線完成
- 12. 1 西鹿島駅バスターミナル完成
- 12.23 西鹿島電車検修車庫竣工

## 昭和53年(1978)

- 1.一 バンピツァー予約業務、オンライン方式採用
- 2.一 ロングボデーデラックス貸切バス(通称ジャンボ)30両購入
- 3. 1 人事部を総務部へ統合  
電車検修場、西ヶ崎から西鹿島に全面移転
- 6. 1 乗合自動車運賃改正(浜松市内均一暫定90円)
- 12. 1 乗合自動車運賃改正(浜松市内均一暫定解除100円)  
奥山線(奥山~自然休養村間)デマンドバス運行開始
- 12. 6 鉄道線、冷暖房車両運転開始

## 昭和54年(1979)

- 2. 1 鉄道線運賃改正(基本賃率10キロまで21円、10キロ以上16.80円)
- 4. 2 遠州ビルサービス(株)設立
- 4.13 西鹿島駅新装、自動列車発車時刻表示器設置
- 5.一 助信工場に小型自動車整備センター新築
- 6. 1 観光サービス部、東部センター設置
- 7.22 第1回電車教室開催
- 10.19 乗合自動車運賃改正(基準賃率23円)
- 12.21 鉄道線連絡定期乗車券発売開始(三線連絡、対国鉄、対市営)  
乗合自動車運賃改正(浜松市内均一廃止)

## 昭和55年(1980)

- 2.20 トヨタピスタ静岡(株)設立
- 3.一 バンピバック制度導入
- 4. 1 鉄道部事務所、西ヶ崎駅構内に移転
- 9. 1 本社事務所、板屋町401番地に仮移転
- 9. 4 (株)エンセイ設立
- 12.11 鉄道線高架化工事、遠鉄浜松駅周辺から着工

## 昭和56年(1981)

- 2. 4 新浜松駅、都市計画により仮駅舎で営業開始  
(営業キロ18.5km)  
鉄道線運賃改正(基本賃率10キロまで24円、10キロ以上19.20円)
- 4. 1 60歳定年制段階的導入
- 4.28 遠鉄観光開発(株)、ホテルコンコルド浜松開業
- 6.22 一般旅行業資格取得
- 6.27 高架事業部、鉄道部に統合
- 10. 9 乗合自動車運賃改正(基準賃率26円)
- 12.19 乗合自動車運賃改正(浜松市内一部)  
市営バス、当社バス乗り継ぎ定期券、通学回数券発売開始

## 一般および業界事項

- 12.15 わが国初の静止通信衛星打ち上げ「さくら」と命名

- 1.14 伊豆大島近海地震発生
- 3.17 乗合自動車運賃料金制度一部改正  
(バス離れを防ぐ弾力的な制度)
- 3.24 浜名バイパス開通
- 5.20 新東京国際空港開港
- 5.一 浜松市内にバス優先信号設置
- 7. 1 日本人平均寿命男72.69歳、女77.95歳(厚生省発表)
- 8.12 日中平和友好条約調印
- 10.26 東京外国為替市場で円高記録(1ドル180円を割る)
- 12. 7 大平正芳内閣発足

- 2. 9 静岡県内の戦後交通事故死傷者50万人突破
- 2.11 イラン革命、ホメイニ師全土制圧
- 6.26 日本人平均寿命男72.97歳、女78.33歳と発表
- 7.11 東名高速道路日本坂トンネル内で追突事故発生(全面開通9.9)
- 9.27 東証ダウ平均株価、史上初の6,539円を記録
- 10.15 東海道本線浜松駅付近の高架化工事完成開通
- 10.28 木曾御岳山、有史以来の初爆発
- 11. 8 第2次大平内閣発足
- 12. 3 自動車電話、東京都区内で営業開始

- 1.17 昭和54年の企業倒産件数、史上2番目の1万6,030件と発表
- 6.12 大平首相逝去
- 7.17 鈴木善幸内閣発足
- 12.12 日本車の生産台数、世界一
- 12.27 日本国有鉄道経営再建促進特別措置法公布

- 1.20 アメリカ大統領にレーガン就任
- 2. 1 浜松市内、バス専用レーン実施
- 2. 6 労働基準法施行規制一部改正の省令公布(労働時間の特例改正)
- 3.20 神戸ポートアイランド博覧会開催(9.15まで)
- 4.12 アメリカ宇宙連絡船1号機「コロンビア」打ち上げ成功

## 当社関連事項

### 昭和57年（1982）

- 1.11 1日1改善運動実施（事務効率化運動の一環）
- 3. 1 ファミリークーポン個札航空券取扱開始
- 3.一 キュービックススタイルのフルデッカーバス「スーパージャンボ」28両購入  
パンビツァー利用者に当社バス・電車乗車券サービスを実施（6.1全社的に実施）
- 11. 1 浜松バスターミナル開設  
浜松市営バスと共通の回数券発売

### 昭和58年（1983）

- 2. 3 鉄道線運賃改正（基本賃率10キロまで26.50円）、鉄道線回数券制度・4カ月定期券制度新設
- 3.20 定期観光バス「家康史跡めぐりD・Eコース」新設
- 4. 1 鉄道線12分ヘッドダイヤに改正し、40分運転（新浜松～西鹿島間）にスピードアップ  
米津線、浅田中田島線を浜松市営バスから移管（浜松市営バスからの路線移管開始）、小沢渡線（法枝経由）のバス営業開始
- 5. 1 総務部に「がん保険増販プロジェクトチーム」を新設
- 5.31 青葉社長、静岡県バス協会会長に就任
- 6. 1 「OA化推進プロジェクトチーム」を新設
- 10. 1 乗合自動車運賃改正（基準賃率27.80円、最低賃大人100円）
- 11. 1 創立40周年記念式典  
創立40周年記念乗車券発売
- 11. 8 デザインを一新した新造電車（1000形）1編成を購入
- 11.一 給与銀行振込開始
- 12. 1 『遠州鉄道40年史』を発刊

### 昭和59年（1984）

- 2.10 遠鉄健保センター施設廃止
- 3.21 浜松南営業所竣工（4.1より営業開始）
- 3.26 遠鉄ハイツ西ヶ崎E棟完成（18戸）
- 4. 1 福塚線を浜松市営バスから移管  
三ヶ日営業所を貸切営業所としてスタート  
フリー乗降バス運行開始（秋葉線、渋川線、奥山線）
- 4.一 財形制度スタート（財形貯蓄、財形年金貯蓄）
- 6. 1 整備課と助信工場を統合し、営業本部整備課とする。  
厚生一課・二課を保険営業課・保険業務課と改称する。
- 8.一 鉄道線の在来車両に白の帯と斜めのストライプを入れ始める
- 9. 1 中田島線・芳川線を浜松市営バスから移管
- 9.11 OA化推進プロジェクトチームと計算課を廃止し、遠鉄システムサービス（株）を設立、10.1より営業開始
- 10. 1 定期観光バスのコースを一新  
（浜名湖パノラマコースと奥浜名湖雅コースへ変更）
- 11. 6 通産省大規模小売店舗審議会で百貨店出店計画結審

## 一般および業界事項

- 4. 1 500円硬貨発行
- 6.23 東北新幹線、大宮～盛岡間開業（3時間17分）
- 6.26 ガン、死因のトップに（厚生省発表）
- 6.28 浜松市人口、50万人達成（全国で20番目）
- 11.15 上越新幹線、大宮～新潟間開業（1時間55分）
- 11.27 中曽根康弘内閣発足
- 1.27 青函トンネル（53.9km）、着工以来19年ぶりに貫通
- 3.14 OPEC、原油価格の引下げを決定（1バレル34ドルを29ドルへ。OPEC結成以来初の値下げ）
- 3.24 中国自動車道、全線開通
- 4. 1 大学卒初任給平均132,200円（全国調べ）
- 4. 2 浜松市立動物園がフラワーパーク横に完成
- 4.15 東京ディズニーランド開園
- 5.26 秋田県沖でM7.7の地震（日本海中部地震）、死者行方不明102人
- 6.26 第13回参議院議員選挙。旧全国区に初の比例代表制導入
- 8.13 金融機関、第2土曜日休業制実施
- 9. 1 大韓航空機、サハリン沖でソ連領空を侵犯、ソ連軍機にミサイルで撃墜される
- 10. 3 三宅島、21年ぶりに噴火
- 10.12 ロッキード事件丸紅ルート公判で田中角栄・元首相に懲役4年、追徴金5億円の判決
- 12.27 第2次中曽根内閣発足。新自由クラブと連立政権
- 1. 9 東証ダウ初の1万円台突破
- 3.18 江崎グリコ脅迫事件発生
- 6.30 日本人の平均寿命が世界一となる
- 7. 1 総務庁発足（総理府と行政管理局とを再編成）
- 7.28 第23回オリンピック・ロサンゼルス大会開催。ソ連など東欧諸国14カ国が不参加（8.12まで）
- 9. 1 警視庁、昭59.8.31現在の免許証保有者5,012万543人と発表
- 10. 1 健康保険法改正施行
- 10.31 ガンジー・インド首相暗殺される
- 11. 1 日本銀行、新紙幣1,000円・5,000円・1万円を発行  
第2次中曽根改造内閣発足
- 12.20 電電公社民営化法案成立

## 当社関連事項

### 昭和60年（1985）

- 2.26 遠鉄石油（株）を設立、4月1日より営業開始
- 3. 1 事業本部に「関連商品増販プロジェクトチーム」を新設
- 3.14 鉄道・バス乗務員の制服と女子事務掛のブラウスを一新
- 4. 1 上西線、さぎの宮線、早出蒲線、佐鳴湖線を浜松市営バスから移管  
中田島車庫新設  
ツアレディー廃止  
蒲小沢渡線、早出線、佐鳴湖線、袋井線を新設  
労働時間延長（年間休日104日より94日へ）
- 6.10 整備課、車検ラインシステム導入（小型車用）
- 6.28 業務組織改正  
（総合開発事業本部・事業本部廃止、百貨店準備室新設）
- 9. 4 浜松市に5,000万円を寄付（高架事業完成記念）
- 10. 1 乗合自動車運賃改正（基準賃率28.70円、最低運賃大人120円）
- 10.一 電車・バス共通の「フリー乗車券」を発売
- 12. 1 鉄道線高架開通  
業務組織改正（営業本部を運輸事業本部に改称、鉄道部と自動車部を統合し運輸部とする）

### 昭和61年（1986）

- 3.17 ロイヤルクイーン3両購入
- 3.25 遠鉄ハイツ西ヶ崎F棟完成（3階建、8室）
- 4. 1 西じゅんかん線、さなる台線、山の手線、萩丘線を浜松市営バスより移管  
西じゅんかん線（ひまわり）に、初のバスロケーションシステム導入  
富塚営業所を開設  
新貝車庫（浜松市新貝町）を新設
- 6.20 専務取締役石津薫、運輸大臣表彰を受賞
- 6.27 代表取締役会長に青葉貞雄、第5代社長に石津薫がそれぞれ就任  
業務組織改正（百貨店事業本部を新設し同本部内に百貨店事業部と業務部を設置、管理本部に人事部を新設し人事課と労務課が所属する）
- 9.13 宮竹不動産営業所を開設
- 10.24 遠鉄百貨店起工式  
磐田不動産営業所を開設
- 11. 6 取締役会長青葉貞雄、秋の叙勲で勲四等瑞宝章を受章
- 12. 1 住吉線、車庫線を浜松市営バスより移管  
（浜松市営バスからの路線移管完了）  
中田島住吉じゅんかん、鶴見富塚じゅんかんを新設

### 昭和62年（1987）

- 1.一 経営計画「チャレンジ90」が決定
- 2. 2 浜松不動産営業所を開設  
（株）遠鉄ミサワホームが遠鉄不動産（株）を吸収合併
- 3.23 賃貸マンション「遠鉄メゾン助信」が完成
- 4. 1 業務組織改正（運輸部を運輸事業部へ観光サービス部を観光サ

## 一般および業界事項

- 1.28 三重交通スキーバス、長野市笹平ダムに転落、大学生ら25人死亡
- 3. 5 シートベルト、ヘルメット着用義務づけの道路交通法の改正案閣議決定
- 3.10 ソ連チェルネンコ書記長死去、後任にゴルバチョフ就任
- 3.17 科学万国博覧会くつくば'85>開幕（9.16まで）
- 4. 1 日本電信電話（株）（NTT）と日本たばこ産業（株）の両社発足
- 6. 8 東洋一の大鳴門橋開通（全長1,629m）
- 8.12 日本航空ジャンボ機、群馬県御巣鷹山山中に墜落、乗客・乗員520人が死亡、乗客4人が奇跡的に助かる
- 9.22 先進国5カ国蔵相会議、以後、円高ドル安に動く（プラザ合意）
- 10. 2 関越自動車道、東京練馬～新潟長岡間全通（245km）

- 1.28 米スペースシャトル空中爆発、乗務員7人全員死亡
- 2.21 長寿世界一の泉重千代死去（120歳）
- 2.25 フィリピンのマルコス政権崩壊、アキノ大統領誕生
- 4. 1 男女雇用機会均等法施行
- 4.11 ハレー彗星、70年ぶりに接近
- 4.26 ソ連のチェルノブイリ原子力発電所で大事故発生
- 4.29 天皇陛下在位60年
- 5. 4 第12回先進国首脳会議、東京で開催
- 5. 8 英皇太子ご夫妻来日。日の丸ドレスのファッションなどでダイアナ妃に人気集中
- 7. 6 自民党、衆参同日選挙で圧勝。第3次中曽根内閣成立（7.22）
- 7.30 東北自動車道全線開通
- 9. 6 社会党委員長選挙で土井たか子が当選。初の女性党首が誕生
- 11. 1 日銀、公定歩合を3%に引き下げ（低金利時代）
- 11.15 伊豆大島の三原山、安永以来209年ぶり大噴火。1万の島民全員が船で脱出（11.21）。12.19～22日に帰島

- 2.23 日本銀行、公定歩合を2.5%に引き下げ史上最低となる
- 2.24 政府、エイズ対策大綱を決定
- 3.14 南極捕鯨の幕を閉じる
- 4. 1 国鉄が分割・民営化しJRとして発足
- 7. 1 東芝機械のココム事件、急展開

## 当社関連事項

- ービス事業部へ変更、不動産部を不動産事業部として、管理本部から分離
- (株)遠鉄百貨店設立
- 4. 4 天竜市代替バス運行開始(熊線、門原線、大白木線、佐久線の4路線)
- 6. 1 (株)遠鉄ミサワホームの商号を遠鉄不動産(株)とする  
遠州ビルサービス(株)の商号を(株)遠鉄総合ビルサービスとする
- 7. 一 乗合自動車の冷房化率100%達成
- 9. 6 「ホテル九重」オープン
- 10. 1 資本金を25億円に増資(株式総数4,800万株)  
都市新バスシステム完成
- 10.16 佐鳴台不動産営業所を開設
- 10.17 浜松秋まつり阿波おどり初参加
- 12. 1 業務組織改正  
(管理本部に経営企画室を新設)  
三方原営業所を新築移転(浜松市初生町1107-1)  
新浜松駅構内にエスカレーターを設置

## 昭和63年(1988)

- 1. 8 高台不動産営業所を開設
- 2. 一 観光サービス事業部、金融旅行商品「いいたび」発売開始
- 3. 1 退職年金規程制定
- 3.17 遠鉄ハイツ西ヶ崎G棟が完成(3階建、18戸)
- 3. 一 小型マイクロバス「エアロミディ」購入
- 4.12 観光サービス事業部、新バンビシステムが稼動
- 7. 1 遠鉄観光開発(株)が遠鉄不動産(株)を吸収合併  
(株)遠鉄自動車学校が(株)遠鉄磐田自動車学校を吸収合併
- 7. 一 電車、新造冷房車2両購入(モハ1003、クハ1503)
- 8. 1 遠鉄グループのスローガン「地域とともに歩むー遠鉄グループ」を制定
- 8. 8 遠鉄稲荷大明神の落成式
- 9. 1 (株)遠鉄百貨店が(株)遠鉄名店ビルを吸収合併
- 9.14 遠鉄百貨店オープン  
新浜松駅～遠鉄百貨店の連絡デッキが開通
- 9. 一 遠鉄グループファミリーカード誕生
- 10.30 「遠鉄磐田わかば台」第1期分譲建売住宅販売開始
- 11.21 石津社長、藍綬褒章を受章
- 12. 1 ゴルフ場建設プロジェクトを新設
- 12. 6 バンビネットシステム稼動開始
- 12.17 トヨタホーム浜松(株)設立

## 昭和64年・平成元年(1989)

- 1.31 フォルテ着工式
- 4. 1 消費税導入に伴う運賃改正  
鉄道線(基本賃率8キロまで28.15円、最低運賃大人110円、5.1%アップ)。定期観光バス(現行運賃・料金に3%加算)。  
乗合自動車(平均2.7%アップ)貸切バス運賃(現行に3%加算)  
遠鉄タクシー(株)の整備部門を当社整備課へ移管

## 一般および業界事項

- 7. 9 日本人の平均寿命は男75.23歳。女80.93歳で、男女そろって世界最高水準の長寿国となる
- 7.11 世界の人口が50億人を突破
- 8.11 日本の総人口1億1,798万人となる
- 8.30 カナダのベン・ジョンソン、陸上100m競争で9秒83の世界新記録を樹立
- 10.12 利根川進博士、ノーベル医学生理学賞を受賞
- 10.19 ニューヨーク株式、大恐慌時を上回る大暴落(ブラック・マンデー)
- 11. 6 竹下登内閣発足
- 11.18 日本航空、民営化

- 1.15 韓国捜査当局、大韓航空機事件は爆弾テロと発表。  
犯人は北朝鮮の工作員金賢姫と判明
- 1.29 大蔵省、前年の貿易黒字額は964億ドル(対前年比3.9%増)、  
経常収支は866億ドル(同1%増)とともに史上最高と発表
- 2.19 浜松市海老塚地区住民と山口組暴力団一力一家の裁判所勧告  
に基づく和解が成立。住民が暴力団を追放
- 3.13 JR津軽海峡線が開業、青函連絡船は80年の歴史を閉じる
- 3.18 後楽園・東京ドーム(ビッグエッグ)オープン
- 4.10 瀬戸大橋(本州四国連絡橋・児島～坂出ルート)開通・開業
- 5.25 日本電信電話(NTT)の経常利益は4,967億円で日本一となる
- 6.19 牛肉・オレンジ輸入自由化決定
- 6.23 東京のマンション、平均で1億円を突破(日本高層住宅協会の調査)
- 6.29 リクルート関連会社の非公開株譲渡問題が表面化
- 7.23 海上自衛隊潜水艦「なだしお」と大型釣り船「第一富士丸」が神奈川県横須賀港沖で衝突、釣り船は沈没し乗員・乗客30人死亡
- 7. 一 北陸自動車道、全線開通
- 8.20 イラン・イラク戦争停戦
- 9.17 第24回オリンピック大会が韓国のソウルで開幕
- 12.19 北海道・十勝岳、26年ぶりに噴火
- 12.23 「エイズ法案」が可決、成立
- 12.27 竹下登改造内閣が発足

- 1. 7 裕仁天皇陛下、午前6時33分十二指腸部腺癌のため崩御。明仁親王が即位。政府、新天皇の即位に伴い新しい元号を「平成」と制定
- 1. 8 平成元年スタート
- 1.20 米国第41代大統領にジョージ・ブッシュが就任
- 2. 4 金融機関、完全週休2日制を実施
- 3.28 株式売却益(キャピタルゲイン)課税開始

## 当社関連事項

- 6.1 リース事業準備室を新設
- 6.29 取締役副社長に鈴木敬彦、専務取締役で鳴田重郎が就任
- 7.24 (株)遠鉄百貨店友の会設立
- 11.1 経営企画本部を新設、リース事業準備室を廃止
- 11.6 (株)遠鉄百貨店保険部、「がん保険月間1,000口以上販売」を連続して100回達成
- 12.1 休日休暇数および勤務時間の変更(年間休日104日、1日の労働時間は7時間55分)
- 12.15 鉄道線にプリペイドカード「ETカード」が新登場

## 平成2年(1990)

- 1.8 (株)トヨタレンタリース浜松を設立(4.1営業開始)
- 1.24 乗合自動車運賃改正(基準賃率31円、最低運賃大人130円)
- 3.15 「ブライトタウン西伝寺」完成(108戸)
- 5.15 石津社長、交通安全功労者表彰を受賞
- 6.1 業務組織改正(広告課を観光サービス事業部より分離し、運輸事業本部長直轄とする)
- 6.12 取締役副社長鈴木敬彦、中部運輸局長表彰を受賞
- 8.1 旧盆期間中の乗合バスを日祝日運行とする、
- 10.12 石津社長、浜松商工会議所会頭に就任
- 10.16 掛川不動産営業所を開設
- 11.10 本社事務所を移転(浜松市旭町12-1フォルテ9~12階)フォルテ1階に不動産情報プラザを開設
- 11.14 フォルテ(当社と浜松都市開発(株)の共同ビル)オープン
- 12.1 芝本駅の交換駅完成(新浜松~西鹿島間の所要時分を36分から32分に短縮)
- 12.14 分譲住宅「ひばり野」団地を販売開始

## 平成3年(1991)

- 3.22 「ブライトタウン西山」完成(6階建、36戸)
- 4.1 新5カ年経営計画「ブライト21」スタート
- 4.12 (株)遠鉄自動車学校、遠鉄スポーツクラブ「エスポ」営業開始
- 5.7 鴨江不動産営業所を開設(佐鳴台不動産営業所の移転)
- 6.1 業務組織改正(総務部を社長室に変更し、秘書課と総務課を統合)
- 7.30 がん保険120カ月連続サウンズディア賞を受賞
- 10.1 乗合バスに新型運賃箱を県下で初めて導入
- 12.3 「ブライトタウン浅田」完成(12階建、33戸)

## 一般および業界事項

- 4.1 消費税(3%)スタート
- 6.2 竹下内閣総辞職、宇野宗佑政権が発足
- 6.4 北京・天安門広場で戒厳部隊が武力制圧、死者2,000人に達する
- 8.9 海部俊樹内閣発足
- 9.29 横綱・千代の富士(34歳、967勝の通算勝ち星史上最多記録を達成)国民栄誉賞を受賞
- 11.10 ベルリンの壁、28年ぶりに崩れる
- 11.13 わが国初の生体部分肝移植手術が島根医科大学付属病院で行われる
- 12.2 米ブッシュ大統領とソ連ゴルバチョフ議長の首脳会談がマルタ島で行われ、冷戦の時代の終わりを確認

- 1.15 新成人は188万人(男性96万人、女性92万人)
- 2.28 第2次海部内閣発足
- 3.20 日本銀行、公定歩合を1.0%引き上げ、年5.25%、即日実施
- 3.22 “トリプル安”加速。円相場1ドル=155円台の円安、東京証券取引所第一部の平均株価3万円割り、債券相場も急落
- 3.29 日本の総人口は1億2,325万5,000人
- 6.10 南米ペルー大統領選挙の決選投票の結果、日系人のアルベルト・フジモリが当選
- 6.29 天皇家の次男・礼宮殿下と川嶋紀子さんが結婚
- 7.1 東西両ドイツが通貨統合、10.3国家統一
- 8.31 日本銀行、公定歩合を0.75%引き上げて年率6.0%に決定
- 10.15 ソ連ゴルバチョフ大統領、1990年度ノーベル平和賞を受賞
- 12.2 日本人初の宇宙飛行、東京放送の秋山豊寛、ソ連ソユーズTM11号で宇宙へ
- 12.29 第2次海部改造内閣が発足

- 1.17 湾岸戦争に突入。米軍主力の多国籍軍はイラクとクウェートの戦略拠点に大規模な夜間爆撃を開始
- 2.9 関西電力美浜発電所で冷却水漏れ。わが国初の原発事故
- 2.28 湾岸戦争終結
- 3.9 東京・新宿庁舎が完成
- 4.1 農産物市場開放(牛肉・オレンジ自由化)
- 6.3 雲仙・普賢岳で大規模な火砕流が発生、40人死亡
- 6.25 東北・上越新幹線、上野~東京間3.6kmが開業
- 7.1 日本銀行、公定歩合を0.5%引き下げて年率5.5%に決定
- 8.24 ソ連共産党解体、74年の社会主義支配に幕
- 11.5 宮沢喜一内閣成立
- 12.21 ソ連邦消滅、69年の歴史に幕。エリツィン大統領率いるロシア共和国は「ロシア連邦」と改名
- 12.30 日本銀行、公定歩合を0.5%引き下げて年率4.5%に決定

## 当社関連事項

### 平成4年（1992）

- 2. 1 乗合自動車運賃改正（基準貸率32.50円、最低運賃大人140円）
- 2.20 電車・バス共通の「ETカード」を発売
- 3. 1 女子事務者の制服を15年ぶりに一新
- 3.14 乗合バスに「土曜日ダイヤ」を導入
- 4. 1 新職種「ツアーエスコート」誕生  
ひまわり休暇（休日2日増）導入
- 6.26 業務組織改正  
（経営企画本部と管理本部を統合し、管理本部とする）
- 10. 1 遠鉄ホテルエンバイア、グランドオープン
- 11. 1 ゴルフ場建設プロジェクトを廃止
- 11.26 収支改善緊急対策を要請  
（業務改善、相互協力による時間外労働の削減、備消耗品費・会議費・交通費・水道光熱費の節約）

### 平成5年（1993）

- 1. 1 業務組織改正  
（観光サービス事業部、管理精算課を観光業務課に名称変更）
- 1.一 事務部門にフレックスタイム制を導入
- 2. 3 遠州鉄道自動車整備センターが完成
- 3. 6 最高級貸切バス「グレイスサルーン」を4両購入
- 3.10 小松変電所を新設
- 3.12 雄踏営業所が新築オープン
- 4. 1 遠鉄グループ21社統一のシンボルマークを制定  
鉄道線の4両編成運転の増発開始  
（朝のラッシュ時に3本増発）
- 6. 1 業務組織改正（運輸事業本部に「整備事業部」を新設）
- 6.30 トヨタビスタ静岡（株）の経営権をトヨタ自動車（株）に譲渡
- 7.21 名古屋営業所が新装オープン
- 7.24 鉄道線新車2両購入、営業運転開始
- 8. 5 創立50周年フェアを開催（館山寺会場）（8.7まで）
- 8.21 創立50周年フェアを開催（フォルテ会場）（8.23まで）
- 10. 1 資本金を32億円に増資（発行株式総数6,000万株）
- 11. 1 創立50周年記念式典
- 12. 1 業務組織改正
  - ①「経営企画部」を廃止し、「企画課」は「経営企画課」に名称変更し社長室に移設
  - ②運輸事業部「営業課」と「計画課」の名称を交換
  - ③運輸事業部「教習課」を「管理課」に統合
  - ④観光サービス事業部「仕入開発課」を「観光企画課」に統合
  - ⑤不動産事業本部に「管財部」を新設、「管財課」と「管繕課」を設置
  - ⑥不動産事業部「商品企画課」を「企画販売課」に名称変更

## 一般および業界事項

- 2. 8 アルベールビル冬季オリンピック開催（2.23まで）
- 3. 1 暴力団対策法施行
- 3.14 東海道新幹線に「のぞみ」登場
- 3.27 大手私鉄、11年ぶりに本格ストに突入
- 3.31 日本の総人口は1億2,358万人  
JR九州、西日本、東海の3労組スト突入
- 4. 1 日本銀行、公定歩合を0.75%引き下げ年3.75%に  
牛肉・オレンジ輸入自由化
- 4.14 バブル崩壊により昨年度の倒産は史上最悪
- 5. 1 国家公務員、完全週休2日制実施
- 5.22 日本新党結成
- 6.15 PKO協力法案成立
- 7. 1 山形新幹線開業
- 7.25 バルセロナオリンピック開幕（8.9まで）
- 7.27 日本銀行、公定歩合を0.5%引き下げ年3.25%に
- 9.12 国公立の幼稚園、小・中・高校など「学校週5日制」がスタート  
毛利衛さん、スペースシャトル・エンデバーで宇宙に飛び立ち、9.20帰還
- 10.14 金丸信元自民党副総裁、佐川献金疑惑で議員辞職

- 1. 1 欧州共同体（EC）統合
- 1.20 米国の第42代大統領にビル・クリントン（46歳）が就任
- 2. 4 日本銀行、公定歩合を0.75%引き下げ年2.5%に
- 2.26 ニューヨークの世界貿易センタービルで爆弾テロ
- 3. 6 金丸信前自民党副総裁、脱税容疑で逮捕
- 3.12 北朝鮮（朝鮮民主主義人民共和国）核拡散防止条約を脱退
- 3.18 東海道新幹線「のぞみ」山陽新幹線乗り入れ
- 4.13 大蔵省、92年度貿易黒字は前年度比26%増の1,113億ドルと過去最高を記録したと発表
- 5.15 日本プロサッカーリーグ（Jリーグ）開幕
- 6. 9 皇太子殿下と小和田雅子さんの結婚の儀挙行
- 6.21 新党さきがけ結成
- 6.23 新生党結成
- 7.12 北海道南西沖地震 死者・行方不明239人
- 8. 6 土井たか子元社会党委員長、初の女性衆議院議長に
- 8. 9 細川護熙連立内閣発足、38年間の自民党政権に幕
- 8.16 円相場、1ドル＝101.13円の戦後最高
- 8.26 東京で東日本最大の吊り橋レインボーブリッジ開通
- 9. 3 テクノポリス都田開発事業完工
- 9.21 日本銀行、公定歩合を0.75%引き下げ年1.75%に
- 9.30 冷夏でコメ緊急輸入を決定
- 12.14 コメ部分自由化決定
- 一.一 ゼネコン汚職相次ぐ

## 当社関連事項

- ⑦不動産事業部「開発課」を「企画販売課」に統合  
12.20 (株)遠鉄百貨店保険部、がん保険150ヶ月連続1,000口販売表彰式

## 平成6年(1994)

- |   |                                    |
|---|------------------------------------|
| 2.27 「ジュピロエクスプレス」運行開始   | 5.14 浜松商工会議所創立100周年記念・新会館落成記念式典を挙行 |
| 3. 1 遠鉄仕入センター開設(仕入・手配部門の一本化)  | 1.29 政治改革関連法案を可決、小選挙区比例代表並立制に      |
| 3.23 遠鉄パンピツアー参加者累計500万人達成   | 2.12 冬季リレハンメルオリンピック開幕              |
| 3.24 「プライティ助信」(6階建て、全92室)完成   | 4.26 中華航空機が名古屋空港で墜落炎上 死者264人       |
| 4. 1 東名静岡浜松線休止  | 4.28 羽田孜連立内閣発足                     |
| 4.22 小池町分譲マンション着工   | 5.15 浜松シティエフエム放送開始                 |
| 4.27 袋井春岡住宅団地、造成工事着工  | 6.22 製造物責任(PL)法成立                  |
| 6.15 遠鉄スポーツクラブ・エスポⅡオープン   | 6.27 長野・松本サリン事件、7人死亡               |
| 6.29 取締役会長に石津薫、取締役社長に鈴木敬彦、常務取締役に竹内善一郎、山崎勝康、取締役に森島久男、松山直次、監査役に村松良がそれぞれ就任 | 6.30 村山富市連立内閣発足                    |
| 6.29 監査役制度の定款変更   | 7. 8 向井千秋さん、日本人女性として初めてスペースシャトルに搭乗 |
| 7. 1 回数券を廃止し、ETカードへ本格移行(通学回数券を除く)                                       | 8.一 記録的猛暑で各地で深刻な水不足に(浜松38.2度を記録)   |
| 7~8 納涼ビール電車を運行  | 9. 4 関西国際空港開港                      |
| 8. 1 「遠州鉄道鉄道線高架化促進期同盟会」発足   | 10. 7 浜松市にアクトシティがオープン              |
| 9. 1 「グレイスサルーンⅡ」他新型観光バス35両導入  | 10.13 ノーベル文学賞に大江健三郎氏               |
| 9.15 不動産情報誌「遠鉄の住まいるだより」発刊   | 12.10 新進党結成                        |
| 9.23 早出分譲住宅6区画販売会開催、即日完売  |                                    |
| 10. 1 「IUP作戦」第1期開始<br>浜松市内不動産営業所、日曜祝日営業を開始                              |                                    |
| 10.11 ETカード・アクトタワー展望回廊入場カードセット券販売                                       |                                    |
| 10.15 分譲マンション「エムズ小池」販売開始  |                                    |
| 10.18 袋井春岡住宅団地、建設大臣より優良計画開発事業として認定                                      |                                    |
| 10.一 奥山線廃止30周年記念ETカード・ビデオ販売、写真展・座談会の開催                                  |                                    |
| 11.23 「ビューティータウン掛川」第1次分譲開始  |                                    |
| 11.24 「エムズ鴨江」マンション着工  |                                    |
| 12.26 「交通安全教室列車」運転  |                                    |
| 12.29 鉄道線、新造車両導入。全車両に冷房完備   |                                    |
| 12.一 分譲住宅のネーミングを「プライテージ」に決定   |                                    |
| 一.一 「えんてつバス&ウォーク」を実施  |                                    |

## 平成7年(1995)

- |  |  |
|--|--|
| 2. 1 「エムズ鴨江」第1期分譲開始<br>(2月25日モデルルームオープン)   | 5.17 阪神・淡路大震災 死者6,433人   |
| 2. 2 阪神大震災、解体作業班を無償バス輸送  | 3.20 地下鉄サリン事件 12人死亡、5,500人重軽症  |
| 2.28 袋井営業所廃止(磐田営業所に統合)<br>富塚営業所廃止(浜松営業所に統合)  | 4. 1 都市型ケーブルテレビ局「テレビはままつ」が本放送開始<br>天竜川以西3市5町の14農協合併「JAとびあ浜松」発足、預金高で全国1位、組合員数2位 |
| 3. 1 業務組織改正(運輸事業本部に高架対策部新設)<br>「IUP作戦」全社運動として展開<br>袋井観光営業所新設<br>トヨタオート浜松と遠州ホーム(旧トヨタホーム浜松)が合併 | 4. 8 浜松市楽器博物館開館  |
| 3. 8 乗合バス運賃改定(賃率35円50銭、最低運賃150円)   | 4. 9 東京都知事に青島幸男氏、大阪府知事に横山ノック氏が当選   |
|  | 6.21 函館行き全日空機ハイジャック22日に犯人逮捕  |
|  | 9. 4 沖縄県で米兵3人による少女暴行事件   |
|  | 9. 6 坂本堤弁護士一家3人遺体発見  |

## 一般および業界事項

## 当社関連事項

- 3.11 わかば台団地・磐田水堀団地「ブライテージ」販売開始
- 4-1 オフセットシートを採用した乗合バス31両導入
- 5.10 健康保険組合直営保養所「遠鉄弁天荘」オープン
- 5-1 雨天時専用ライナー「レイニーバス」運行開始
- 6.1 業務組織改正
  - ①管財部の「営繕課」を「建設課」に名称変更
  - ②不動産事業部に「開発プロジェクト」を新設
- 6.16 「777 招福きっぷ」販売(2日で完売)
- 9.30 宮竹不動産営業所廃止
- 10.1 遠鉄名店ビルの名称を「遠鉄田町ビル」に変更
- 10.2 「遠鉄プラザ袋井」オープン
- 10.16 鈴木社長、運輸大臣表彰
- 11.1 ホテルコンコルド浜松、チャペルオープン
- 11.9 石津会長、勲四等旭日小綬章受章
- 12.1 業務組織改正
  - ①管理本部に「OA推進プロジェクト」新設
  - ②観光企画課とバンビ課を「バンビ課」に統合
  - ③総務課と秘書課を「総務課」に統合乗合バスダイヤ改正  
(浜松駅にゆとり時間を設定し定時性を確保)  
鉄道線、夕方ラッシュ時の4両編成運転開始

## 一般および業界事項

- 9.19 パ・リーグでオリックスが優勝、「がんばろう神戸」展開
- 11.1 東京臨海副都心と都心部を結ぶ新交通システムゆりかもめ開業
- 11.9 ドジャースの野茂英雄投手が大リーグで新人王に
- 12.8 高速増殖炉「もんじゅ」でナトリウム漏れ事故
- 12.19 住専処理に6,850億円投入を閣議決定

## 平成8年(1996)

- 1.21 浜松東不動産営業所オープン
- 2.1 中遠タクシーと南遠タクシーが合併、南遠タクシーが解散
- 2.6 「観光バス旅行」改善フォーラム開催
- 2.13 「浜松市和地土地区画整理組合」設立総会開催  
(スズキ不動産、大協土地と3社で事業参加)
- 3.15 「エムズ鴨江」竣工式
- 4.1 遠鉄グループ新5ヵ年経営計画「アクティブ21」スタート  
「ニュー浜松観光バス」設立(資本金3,000万円、取締役社長大久保房夫、4.11営業開始)  
ETカード9000発売開始  
第一通り駅と遠州病院前駅にエスカレーター設置
- 4-1 低公害乗合バス「アイドリングストップバス」導入  
(このバスを含め新車31両導入)  
中二階貸切バス「スーパービュー48」「スーパービュー53」を導入、  
中型車「エクセルワイドⅡ」小型車「ブチワイド」導入
- 5.29 石津会長夫妻、春の園遊会出席
- 6.18 高級賃貸マンション「ブライティ広沢」起工
- 6.27 取締役にも古橋佑介、監査役に沖田晃がそれぞれ就任
- 7.10 「和地土地区画整理事業」整地工事着工
- 7.24 バスターミナル案内所新装オープン
- 8.1 「888きっぷ」販売
- 8.8 (株)遠鉄百貨店保険部、がん保険180ヶ月連続1,000口販売表彰式
- 9.2 乗合バス定時性確保のため、「お客様時分」を採用
- 1.11 第1次橋本竜太郎内閣発足
- 1.19 社会党が社会民主党に
- 2.10 豊浜トンネル岩盤崩落事故 死者20人
- 4.1 東京三菱銀行発足  
浜松市、中核市に移行
- 5.31 サッカーの2002年ワールドカップ、日韓共同開催決定
- 6.1 コメの販売が自由化
- 6.13 ガルーダインドネシア航空機、福岡空港で離陸に失敗  
死者3人、けが人113人
- 7.13 大阪府堺市で病原性大腸菌「O-157」大量感染
- 7.19 アトランタオリンピック開幕(8.4まで)
- 8.4 県内在住の外国人、国勢調査で半数はブラジル人
- 8.29 薬害エイズ事件で安部英前帝京大学副学長逮捕
- 9.17 野茂英雄投手がノーヒット・ノーラン達成
- 9.20 2004年の国際園芸博、浜松市庄内町に決まる
- 9.28 民主党結成
- 10.1 都田町に国内最大規模のフルーツパーク開園
- 10.17 オウム真理教富士山総本部を破産管財人に明け渡し、県内撤退へ
- 12.17 ペルー日本大使公邸占拠事件

## 当社関連事項

- 乗合バスダイヤ改正(定時性の確保を目指し、「季節ダイヤ」の概念導入)
- 9.18 組合結成50周年記念レセプション開催
10. 1 バスガイド制服を6年ぶりに一新  
乗合バス、フルーツパークオープンに伴い乗り入れを開始、入場料との「セット券」を販売  
フォルテ11階に電算室を設置
10. 3 「エムズ鴨江」優良団地表彰受賞
12. 1 業務組織改正  
①社長室と経理部を統合し、「総務部」を新設  
②経営企画課を「総務課」に統合
- 12.17 鉄道線、新造車両2両導入  
(1000系、「駅名表示器」「見えるラジオ」搭載)

## 一般および業界事項

### 平成9年(1997)

- 1.10 館山寺営業所移転・新築オープン
2. 1 高級賃貸マンション「ブライティ広沢」入居開始
- 2.一 「袋井はるおか」分譲地の第一工区竣工、開発区域の地名も「可睡の杜」へ変更
- 3.21 八幡駅シリコン整流器発電所が「平成8年度浜松市都市景観賞」受賞
- 3.31 竜洋営業所を廃止、福田営業所所轄の「掛塚車庫」に変更
- 3.一 「エムズ佐鳴台」竣工
4. 1 業務組織改正  
①運輸事業部に「活性化推進課」新設  
②計画課を「営業課」に統合  
③バスターミナルを営業課の所管に変更  
④観光営業課を「貸切営業一課」と「貸切営業二課」に分割  
⑤観光業務課を廃止  
新浜松駅に女性駅員2名採用  
鉄道線、消費税率の改定に伴い8年ぶりに運賃改定  
鉄道員の制服を一新(6.1より夏服デザインも変更)  
乗合バスダイヤ改正  
①モーニングダイレクト増強  
②ホームダイレクトの新設  
③レイニーダイレクトの新設  
④座席指定のモーニングダイレクト運行
- 5.22 (株)遠鉄百貨店保険部、全国QC大会で6年連続優勝
6. 1 業務組織改正  
①運輸事業本部に「副本部長」設置  
②高架対策部、運輸事業部、整備事業部の3部を「運輸事業部」に統合
6. 7 新規分譲マンション「ブライタウン住吉」登録申込開始
- 6.27 常勤監査役に野田敏司、監査役に渡辺庸一がそれぞれ就任
7. 1 遠鉄百貨店の保険事業を遠州鉄道へ移管し、営業開始  
(事務所をフォルテ9階に移設)  
業務組織改正
1. 2 ロシアのタンカー・ナホトカ号が日本海に沈没、重油流出
- 1.29 友部達夫議員、オレンジ共済組合の巨額詐欺事件で逮捕
- 3.22 秋田新幹線「こまち」開業  
超高速列車「のぞみ」運転開始
4. 1 消費税が3%から5%に
4. 3 浜松市フラワーパーク有料入園者1,500万人を突破
- 4.22 ペルー日本大使公邸の人質、127日目に解放
- 4.25 日産生命に業務停止命令
- 6.28 神戸小学生殺傷事件、中学3年生を逮捕
7. 1 香港、中国に返還
- 8.31 ダイアナ元英皇太子妃、パリで交通事故死
- 9.18 ヤオハンジャパンが会社更生法申請
10. 1 長野新幹線開業
- 10.16 臓器移植法施行
11. 7 浜松市と磐田市を結ぶ「かささぎ大橋」が開通
- 11.16 ワールドカップフランス大会に日本初出場決定
- 11.17 北海道拓殖銀行破綻
- 11.24 山一証券自主廃業
12. 1 京都で地球温暖化防止会議開催(12.11) 京都議定書採択
- 12.18 東京湾アクアライン開通 全長15.1km

## 当社関連事項

- ①不動産事業本部を「開発事業本部」に名称変更
- ②開発事業本部に「保険部」を新設
- 遠州興業、「遠鉄保険サービス」に商号変更
- 7.14 浜松営業所廃止
- 7.19 夏休み期間小児運賃割引サービス開始  
(電車60円バス50円)  
ホテル九重に露天風呂オープン  
浜名湖バルバル第1期リニューアルオープン  
(センターハウス・メガコースター四次元等)
- 7- 11年ぶりに定期券発行システムを更新
- 9. 1 「999記念ETカード」発売
- 9.15 鉄道線、「寿列車」運行
- 10. 1 業務組織改正(総務部に「経営企画課」新設)  
豊田町営バス「ユーバス」運行開始、遠州鉄道が委託運行
- 10. 8 (株)遠鉄百貨店、開店9周年を記念し、チョコQ「遠鉄バス」を発売
- 10.10 「可睡の杜」現地販売プラザオープン
- 10.18 浜松営業所跡地北側に分譲マンション総合販売センター「ブライトタウンギャラリー」新設
- 11.13 鈴木社長、藍綬褒章受章、褒章伝達式に出席
- 11.15 「可睡の杜」、第1期販売受付開始
- 11.22 超低床ノンステップバス1両を初導入、定期ダイヤ運行開始
- 12.25 浜松市、全国で最初の「オムニバスタウン構想」モデル都市に指定

## 平成10年(1998)

- 2. 2 乗合バスダイヤ改正(土曜日と日祝の表示を統合)
- 3. 1 等級及び職名の変更  
(現場従業員をより高く評価する制度へ移行)  
浜北営業所を移転新築オープン、浜松東営業所に名称変更
- 3.17 がん保険200ヶ月連続1,000口販売表彰式
- 3.24 バスフェスティバル開催  
サンリオキャラクター「マイメロディETカード」発売
- 3.25 磐田駅前総合案内所新設
- 3- 新浜松駅ホーム屋根延長工事完了  
「ブライトタウン住吉」完成
- 4. 1 新賃金・人事制度スタート  
遠鉄グループホームページ開設  
福田町営バス「エコバス(しおさい号)」運行開始、遠州鉄道が  
受託運行  
天竜市自主運行バス運行開始、遠州鉄道が受託運行
- 4.18 鈴木社長夫妻、内閣総理大臣主催の「桜を見る会」に出席
- 4- 遠鉄グループCO<sub>2</sub>削減推進運動開始
- 5. 1 磐田市で新磐田市民病院行きの自主運行バススタート  
「(株)ホテルコンコルド浜松」設立、(資本金1億円・取締役社長  
服部宗爾)7.1に遠鉄観光開発より分離独立・営業開始
- 5.15 遠鉄田町ビル起工式
- 6. 1 業務組織改正  
①OA推進プロジェクト廃止

## 一般および業界事項

- 2. 2 郵便番号7桁実施
- 2. 7 長野冬季オリンピック(2.22まで)日本金メダル5個獲得
- 3.25 AWACS(早期警戒管制機)が浜松基地に配備
- 4. 1 金融ビッグバン幕開け
- 4. 5 明石海峡大橋開通
- 4.24 秋野不矩美術館開館(天竜市)
- 5.27 大関若乃花が横綱に昇進、史上初の兄弟横綱誕生
- 5- インド、パキスタン核実験
- 6.10 ワールドカップフランス大会に日本初出場(7.12まで)
- 7.12 第18回参議院選挙、自民党が敗北、橋本首相退陣
- 7.25 和歌山カレー毒物混入事件 4人死亡
- 7.30 小淵恵三内閣発足
- 8. 7 米大使館同時爆発テロ
- 8.27 新居町で日本最古とみられる元和元年の関所手形を発見
- 8.31 北朝鮮の弾道ミサイル「テポドン」、三陸沖に着弾
- 10.30 JR東静岡駅が開業
- 12.16 米英軍、イラク空襲。国連査察拒否に対抗
- 一- 静岡空港起工

## 当社関連事項

- ②広告課を運輸事業部管轄へ変更
- ③貸切営業1課と貸切営業2課を統合し「貸切営業課」を設置
- ④バンビ課を「バンビ企画課」と「バンビ営業課」に分割
- 6.26 取締役役に竹山英夫、関利彦、山口宏規が就任
- 7. 1 「鉄道・乗合バス」全線で運賃値下げ  
(全国で初めて最低運賃を100円に改定)
- 7. 4 浜名湖パルパル第2期リニューアルオープン  
(ドンブラザーコ・ヒドラ伝説・カーニバルゲーム等)
- 8.12 「アイドリングストップ」時に車内に音楽を流すサービス開始
- 8.18 トヨタオート浜松、「ネットヨタ浜松」に社名変更
- 9.22 業務組織改正
  - ①「経営企画本部」を新設して、「経営企画部」を設置、「経営企画課」を総務部より移管
  - ②運輸事業本部副本部長を廃止
  - ③管財部を「建設部」に名称変更し、建設課を「住宅建設課」に名称変更
  - ④開発プロジェクトを廃止し、「住宅課」を新設
- 常務取締役役に青葉之宏が就任
- 10. 1 保険部、首都圏営業所開設
- 10. 3 第1回オムニバスタウン作品展開催  
記念ETカード「トリプル10」販売(限定2,000枚)
- 10.18 バンビツアー、「DMカタログ」発送開始
- 10.31 遠州鉄道創立55周年記念イベント「えんてつグループGo! Go! サンクスデー」開催(11.3まで)
- 11. 1 バスフェスティバル開催
- 11. 7 「ブライトスクエア新居」第1期販売会開催、即日完売
- 11.28 注文住宅「現場見学会」開催(11.29まで)
- 12.- アイドリングストップ全車両にて実施開始
- 12.- 「ブライトタウン八幡」完成
- 12.- 「ブライトスクエア富塚」第1期完成

## 平成11年(1999)

- 2. 1 乗合バス運賃改定
  - ①中長距離区間を値下げ
  - ②ワイドフリー定期券を新設
- 3. 1 細江営業所新築オープン
- 3.15 浜松市、かじ町通りにて「トランジットモール」試行(3.28まで)  
「公共車両優先システム」実施開始
- 3.20 ホテルエンバイア「空中露天風呂」オープン  
浜名湖パルパル第3期リニューアルオープン(キッズランド)
- 3.23 環境セミナー開催
- 3.31 名古屋営業所廃止
- 3.- 「地域振興券」取扱開始
- 4. 1 業務組織改正(「観光特販プロジェクト」設置)  
「お買物ETカード」スタート  
3列シートバス「サンレッツ」県内初導入
- 4. 5 新型電車2000形(2両1編成)営業運転開始
- 5. 1 欧州単一通貨ユーロが誕生
- 5.- 個人消費の拡大と地域振興を狙った商品券「地域振興券」の交付開始
- 5.28 初の脳死判定による心臓・肝臓移植
- 5.13 東静岡新都市拠点に「グランシップ」がオープン
- 5.24 NATO軍、ユーゴスラビア空爆
- 6. 1 改正男女雇用均等法施行
- 6. 5 東名高速道路磐田インターチェンジ開通
- 6.24 ガイドライン関連法が成立
- 6.27 山陽新幹線でトンネル壁落下
- 7.23 羽田発千歳行き全日空機ハイジャック、機長刺され死亡
- 8. 9 国旗・国歌法が成立
- 8.12 通信傍受法が成立
- 8.14 神奈川県山北町でキャンプ中、13人が流され死亡
- 8.17 トルコ北西部で強い地震 死者1万7,000人以上

## 一般および業界事項

## 当社関連事項

- 4.24 「かんざんじロープウェイ」38年ぶりリニューアル
- 5.31 開発事業本部、遠鉄田町ビルへ移転
- 6. 1 「遠鉄田町ビル」オープン  
業務組織改正  
(整備営業課を「整備課」に統合)
- 6.26 青葉貞雄顧問逝去
- 7. 1 業務組織改正  
(活性化推進課を「営業課」に統合)  
「フリー降車」サービス開始
- 7.21 業務組織改正  
(経営企画本部を廃止、経営企画課を総務部に編入)  
21番目の新会社「遠鉄アシスト」設立  
(資本金1,000万円、取締役社長関利彦)
- 7.24 「浜名湖オルゴールミュージアム」オープン
- 8.- 「ブライトタウン植松」完成  
年間収入保険料80億円達成
- 10. 1 保険部、損害保険商品販売開始
- 10.20 乗合バス、上限運賃設定(630円)
- 10.27 第3セクター会社「なゆた浜北」設立
- 11.20 「ブライトタウン入野」販売開始(モデルルームオープン)
- 11.27 注文住宅「天竜美林の家・新和風住宅完成見学会」開催(11.28まで)
- 12. 1 業務組織改正
  - ①観光サービス事業部を「運輸事業部」に統合
  - ②観光特販プロジェクト廃止
  - ③バンビ企画課とバンビ営業課を統合し、「バンビ課」を設置
- 12.11 第2回オムニバス作品募集表彰式、バスフェスティバル開催
- 一.- 古紙100%コピー用紙へ全面移行

## 平成12年(2000)

- 2.12 バンピツアー、30周年記念企画「新しい旅シリーズ」発売
- 3.13 「第2回エコドライブコンテスト」運輸大臣賞受賞、表彰式
- 3.25 「ブライトタウン袋井」モデルルームオープン  
(5.20第2期販売)
- 3.31 ポイント制退職金制度導入
- 4. 1 バンピツアー、一部のコースを除き全席禁煙  
バンピパック、新制度導入  
(15人~40人までツアー料金と同料金)  
業務組織改正  
(不動産事業部に「マンション販売課」新設)
- 4. 3 豊岡コミュニティバス(ごんバス)の受託運行開始
- 5. 6 掛川不動産営業所移転
- 6.29 常務取締役役に竹山英夫、取締役役に杉山治一、内山芳実、野田敏司、  
常勤監査役に伴和正がそれぞれ就任  
業務組織改正  
(管理本部長を廃止)
- 9. 9 「ブライトタウン曳馬」モデルルームオープン、販売開始
- 9.10 シルバーワイドフリー定期券発売開始

## 一般および業界事項

- 9.21 台湾で大地震 死者2,000人以上
- 9.30 東海村の民間ウラン加工施設「JCO」で国内初の臨界事故
- 10. 5 自自公連立で小淵再改造内閣成立
- 10.12 パキスタンで軍事クーデター、ムシャラフ陸軍参謀長が政権奪取
- 10.20 インドネシアに新政権、ワヒド大統領就任  
東ティモールがインドネシアから独立
- 10.25 キルギスで拉致された邦人4人、無事解放
- 10.26 天竜市出身の日本画家・秋野不矩が文化勲章受章
- 12. 4 山形新幹線(山形-新庄間)開業
- 12.10 神奈川県警で組織ぐるみの不祥事隠し、元本部長ら5人起訴
- 12.11 Jリーグチャンピオンシップで県勢対決、ジュビロ磐田が清水エ  
スパルスを下し王座に
- 12.20 マカオ、中国に返還

- 1.10 「国民の祝日に関する法律」の改正
- 1.28 新潟で行方不明になっていた少女、9年ぶりに見つかる
- 3. 8 東京・営団地下鉄日比谷線で脱線事故 乗客5人死亡
- 3.26 ロシア大統領選でプーチン当選、5.7第2代大統領に就任
- 3.31 北海道の有珠山が噴火
- 4. 1 介護保険制度スタート  
チャイルドシート義務化
- 4. 2 小淵首相、脳梗塞で緊急入院
- 4. 5 森喜朗連立内閣発足
- 4.13 静岡文化芸術大学開校
- 5. 3 佐賀の17歳少年バスジャック事件
- 5.14 小淵前総理逝去
- 6.13 初の南北朝鮮首脳会談
- 6.16 皇太后さま、ご逝去 97歳
- 6.29 雪印乳業製品で集団食中毒事件、食品異物混入事件も続発
- 7.12 大手百貨店「そごう」が倒産 千代田、協栄など生命保険会社  
も破綻
- 7.19 二千年札発行

## 当社関連事項

- 9.15 「浜松西ファイブガーデンズ」オープン
- 10. 1 業務組織改正  
(運輸事業部に「活性推進課」「整備営業課」新設)
- 10.14 西鹿島駅、「中部の駅100選」に入選
- 10.19 常務取締役山崎勝康、中部運輸局長表彰を受賞
- 10.20 「インターネットバスロケーションシステム」サービス開始
- 10.一 中扉付新型貸切バス「スーパービューDD」導入
- 11. 3 第3回オムニバス作品募集展示会開催  
「ブライトタウン新津」販売開始
- 12. 1 業務組織改正  
①住宅建設課を「住宅建設一課」に名称変更  
②管財課を「管財課」「住宅建設二課」に分割
- 12. 9 「ブライトタウン掛川」モデルルーム完成、第1期14戸販売開始
- 12.12 福田営業所リニューアルオープン

## 平成13年(2001)

- 2.21 新会社「遠鉄山の家」設立  
(資本金2,000万円・取締役社長内山芳実)4.1営業開始
- 3.20 無料バスにて「パークアンドライド」試験実施
- 4. 1 遠鉄グループ5ヵ年経営計画「プロ21」スタート  
バス専用レンタ方(17:00~19:00)実施開始  
公共車両優先システムの運用時間の拡大、交通公害低減システムの導入  
モニターによる「パークアンドライド」試験実施(6.30まで)
- 4. 2 乗合バス運賃改定「10~18Km」区間の運賃値下げを実施
- 4. 7 「ブライトタウン高町」インフォメーションセンターオープン  
(第1期販売は6.9)
- 4.28 「ブライトタウン弁天島」モデルルームオープン  
(第1期販売は5月下旬)
- 5. 7 遠鉄ストア湖西店内に「湖西不動産営業所」新設
- 6. 1 業務組織改正  
(保険部に次長を設置)
- 6.一 がん保険240ヶ月連続1,000口販売世界記録達成  
(7.3達成記念パーティ開催)
- 7. 1 「なゆた浜北」グランドオープン  
「スポーツプラザ袋井」系列化
- 7.14 しずおか国際園芸博覧会開幕1000日前記念でPRラッピングバス・タクシー運行開始
- 8. 1 スポーツプラザ袋井の施設名を「遠鉄スポーツクラブ・エスポ袋井」に名称変更
- 8.一 リフト付貸切バス「スーパービューwith」導入
- 10.14 浜松市循環まちバス「浜松まちなかループ」実験運行開始  
(遠州鉄道で受託運行、12.24まで)
- 11. 4 「第1回バンビツアー写真コンクール」表彰式
- 11.23 第4回オムニバス作品募集展示会開催

## 一般および業界事項

- 7.21 沖縄サミット(7.23まで)
- 7.25 超音速旅客機コンコルド墜落 死者114人
- 8.12 ロシアの新鋭原子力潜水艦沈没、118人死亡
- 8.18 三宅島で大規模噴火、9.2全島民が島外へ脱出・避難
- 9.11 東海地方に豪雨、愛知県で死者9人
- 9.15 シドニーオリンピック(10.1まで)女子マラソンで高橋尚子選手が金メダル
- 10. 6 鳥取県西部地震(M7.3)、境港市などで震度6強を記録、重軽傷135人
- 10.10 ノーベル化学賞に白川英樹筑波大学名誉教授  
導電性の高分子の発見と開発
- 11. 5 宮城県上高森遺跡の旧石器発掘ねつ造発覚
- 11. 7 米大統領選挙投票、共和党のジョージ・ブッシュ候補が僅差で勝利
- 11.21 ザザシティ浜松西館オープン
- 12. 1 BSデジタル放送がスタート
- 12.31 東京・世田谷で一家4人惨殺事件

- 1. 6 省庁再編
- 1.20 ジョージ・ブッシュ氏がアメリカ大統領に就任
- 2. 9 実習船「えひめ丸」沈没事故
- 3.12 ユネスコ、アフガニスタンのイスラム原理主義タリバンによる石仏破壊を確認
- 4. 3 静岡県中部で地震(M5.3)、静岡市で震度5強
- 4.26 小泉純一郎内閣発足
- 5. 8 青森県弘前市で武富士強盗殺人放火事件
- 5.11 ハンセン病訴訟、熊本地裁で原告側が全面勝訴
- 6. 8 大阪・池田小学校児童殺傷事件 児童8人死亡
- 6.15 ハンセン病補償法成立
- 7.21 兵庫県明石市の花火大会で圧死事故、11人死亡
- 8.31 都市対抗野球で河合楽器が初優勝
- 9. 1 歌舞伎ビル火災 44人死亡
- 9.10 国内初、狂牛病の疑いのある牛一頭を確認
- 9.11 米国同時多発テロ
- 10. 7 アフガニスタンへの空爆始まる
- 10.10 ノーベル化学賞に野依良治名古屋大学教授
- 11. 7 浜岡原発で配管破断事故と水漏れ事故
- 11.14 浜松市の老舗百貨店「松菱」が倒産
- 11.20 イチロー外野手、ア・リーグの最優秀選手(MVP)に
- 11.22 ザザシティ浜松中央館オープン
- 12. 1 皇太子ご夫妻に敬宮愛子さま誕生
- 12.22 奄美大島沖で北朝鮮工作船と思われる不審船沈没

## 当社関連事項

11.28 第1回「遠鉄ブライトモニター会議」開催

### 平成14年(2002)

- 1.26 (株)遠鉄百貨店、「お帰りきっぷ」サービス開始
- 2.23 「ブライトタウン磐田」モデルルームオープン
- 3.1 鉄道、バスにて非接触ICカード「EG1カード」試験運行開始
- 3.17 第1回「バンビ写真入門講座」開催、80余名が参加
- 3.31 健康保険組合直営保養所「遠鉄弁天荘」廃止
- 4.1 「通学ウィークデー定期券」発売開始
- 4.13 提案住宅「ブライトS」を新発表、モデルハウス完成見学会開催(4.14まで)
- 4.25 乗合バスの車体全体に広告を描く「ラッピングバス」運行開始
- 5.11 浜松市循環まちバス本格運行開始(5.29愛称「く・る・る」に決定、反時計まわりは6.1から運行開始)
- 6.7 バンビツアー専用車両「THEATER」2両導入
- 6.11 電気ハイブリッドバス導入
- 6.27 専務取締役役に竹内善一郎、山崎勝康、取締役役に堀田隆壽がそれぞれ就任  
業務組織改正
  - ①管理本部を設置
  - ②開発事業本部を「不動産事業本部」と「保険事業本部」に分割
  - ③建設部を廃止、管財課と建設課を不動産事業部に設置定款変更
  - ①額面株式の廃止、単元株制度の創設、株主総会の決議要件の変更等
  - ②会社関係書類の電磁化等
- 6.1 「ブライトタウン上島」販売開始
- 7.1 遠鉄アシスト(株)、遠鉄総合ビルサービスより建物管理部門、清掃部門を移管、本社をフォルテ5階へ移転  
(株)遠鉄総合ビルサービス、「遠鉄建設」に商号変更し、総合建設業として新スタート
- 7.7 鈴木社長、AFLAC世界一周総会へ招待(7.19まで)
- 7.8 ホテルエンバイアに「カナディアンリゾートダイダラボッチの湯」新バイキングレストラン「ルピナス」オープン  
浜名湖パルパルにガラス&アクセサリーおしゃれ工房「ルーベラ」オープン
- 7.27 「ブライトタウン湖西」モデルルームオープン
- 8.1 浜名湖花博PR用ラッピング電車、定期観光ラッピングバス運行開始
- 10.1 スポーツプラザ袋井、遠鉄自動車学校に合併  
業務組織改正  
(保険部の「営業グループ」を廃止、「医療保険グループ」「生命保険グループ」「損害保険グループ」を設置)  
浜名湖花博第1期前売入場券販売開始  
北遠本線運行開始
- 10.14 岩水寺駅、「中部の駅100選」に入選
- 10.15 ファイブガーデンズへ路線バス乗り入れ開始

## 一般および業界事項

- 1.1 ユーロ紙幣と硬貨、流通開始
- 1.23 雪印食品牛肉偽装事件発覚
- 1.29 NGO問題で田中真紀子外相、野上義二外務次官更迭
- 2.8 冬季ソルトレークオリンピック開幕(2.24まで)
- 3.8 中部銀行が経営破綻 預金流出が引き金
- 3.20 静清合併協が合併決定、15年4月に新「静岡市」誕生へ
- 4.1 ペイオフ解禁
- 5.8 中国瀋陽日本総領事館事件
- 5.20 サッカーW杯日本代表、磐田で合宿
- 5.31 日韓共催2002ワールドカップ(6.30まで)
- 6.11 エコパでW杯第1戦ドイツ対カメルーン戦
- 6.14 W杯日本代表、決勝トーナメント進出 18日、トルコに敗れベスト8ならず
- 6.19 鈴木宗男議員、あっせん収賄容疑で逮捕
- 7.30 日本ハム牛肉偽装事件発覚
- 8.9 田中真紀子元外相、公設秘書給与流用疑惑で議員辞職
- 9.17 日朝首脳会談
- 10.8 ノーベル物理学賞に小柴昌俊東大名誉教授 素粒子ニュートリノ観測
- 10.9 ノーベル化学賞に田中耕一氏(島津製作所エンジニア)たんぱく質測定に新手法
- 10.12 パリ島で爆弾テロ 日本人2人を含む190人以上死亡
- 10.15 北朝鮮拉致生存者5人が帰国 家族と再会
- 10.23 モスクワ劇場占拠事件
- 11.21 高円宮さま急逝 47歳
- 12.1 東北新幹線(盛岡-八戸間)開業
- 12.26 保守新党結成

## 当社関連事項

- 11.10 第5回オムニバス作品募集展示会開催
- 11.28 オムニバスサミットin浜松開催(11.29まで)
- 12. 1 業務組織改正  
(不動産事業部に「設計課」新設)

## 平成15年(2003)

- 2.28 保険部、遠鉄ストア富塚店内に「サービスショップ富塚」オープン
- 6.12 浜松東不動産営業所移転オープン
- 6.27 取締役役に伴和正、常勤監査役に中野東亜治、監査役に岡野伸保がそれぞれ就任  
業務組織改正
  - ①保険事業本部を管理本部に統合し、管理本部長の下に保険担当副本部長を設置
  - ②保険部を保険業務部、生命保険営業部、損害保険営業部、保険営業所に分割
  - ③不動産事業部を不動産事業部と住宅事業部に分割
  - ④保険業務部に保険業務グループを設置
  - ⑤生命保険営業部に医療保険グループと生命保険グループを設置
  - ⑥損害保険営業部に損害保険グループを設置
  - ⑦不動産事業部に管財課、マンション課、不動産営業課、不動産営業所を設置
  - ⑧住宅事業部に設計課、建設課、分譲住宅課、及び注文住宅課を設置
- 7.一 保険グループ、年間収入保険料100億円達成
- 8.一 「ブライトタウン上島」高層棟完成
- 10. 1 遠鉄保険サービスを吸収合併  
業務組織改正  
(生命保険営業部に保険営業所を設置)
- 10.15 専務取締役竹内善一郎、中部運輸局長表彰を受賞
- 10.31 創立60周年感謝祭を浜名湖パルパルで実施(11.3まで)

## 一般および業界事項

- 1.14 松井秀喜外野手、米大リーグのニューヨーク・ヤンキースと入団契約し記者会見
- 1.20 横綱・貴乃花が引退
- 2. 1 米スペースシャトル「コロンビア」空中分解
- 2.18 韓国・大邱の地下鉄で火災
- 3.19 米英軍、イラクと開戦 首都をミサイル攻撃
- 3.23 「千と千尋」が米アカデミー賞受賞
- 4. 1 日本郵政公社発足 総裁「5月中に利益目標公表する」
- 4. 2 WHO、広東・香港への渡航延期を勧告  
アジアを中心に流行している原因不明の肺炎(重症急性呼吸器症候群=SARS)  
多くの企業が香港や広東省への出張を禁止  
旅行会社は同方面へのツアー中止などの検討に入った
- 4. 9 イラク、フセイン政権、事実上崩壊
- 5.16 りそな銀行、実質国有化へ
- 6.12 浜松市人口60万人突破
- 7.18 長崎県諫早市でJR九州の長崎線特急かもめが脱線、乗客ら33人が重軽傷  
土手斜面から落ちた重さ約130キロの石をはねた衝撃で脱線
- 7.20 えちぜん鉄道が営業開始  
運行停止していた京福電鉄の福井県内2路線を引き継ぐ
- 7.26 宮城県北部を震源に震度6の地震
- 8.25 住民基本台帳ネットワークが本格稼働
- 8.27 火星が大接近 6万年ぶり
- 9.22 小泉第2次内閣発足
- 10. 1 東海道新幹線品川駅開業

## あ と が き

創立60周年を記念して社史を刊行することが平成14年10月に決定され、その編纂を凸版印刷(株)の協力を得て、総務部総務課が担当することとなりました。当社の代表的な社史として「40年史」、「50年史」が既に刊行されていることから、創立前史から創立以降の50年間の歴史については大幅にダイジェスト化し、平成6年以降の10年を主眼とする基本方針でのスタートとなりました。

また、編纂決定当初、決まっていなかった本文の構成につきましては、基礎年表作成段階で様々な議論となり、「40年史」や「50年史」の構成を踏襲し時系列とする案もありましたが、最終的には遠鉄グループの10年を事業毎に記載する構成といたしました。これはこの10年間で社会的にも連結経営への意識が強まる中、当社が特にグループ経営に力を注いできたことにスポットをあて、多部門にわたる事業をわかりやすくまとめ、親しみやすい社史としたいという意図により決定されたものであり、本誌を大きく特徴づけるものであります。

このグループの最近10年間の歴史を事業毎に綴るという方針の元に、平成15年4月から6月にかけての3ヶ月間、当社各事業部並びにグループ各社にお願いをして、本文作成のための取材にご協力をいただきました。取材は凸版印刷(株)専属ライターの南部正俊氏にお世話になり進められましたが、中には5時間にも及ぶ取材となった会社もあり、急激に変化する企業環境下において、業績向上に向けての様々な諸施策や担当社員の苦労話など、取材内容は今回の社史編纂における貴重な財産となりました。取材にてお伺いした、グループ成長の基盤となる社員の創意工夫や日々たゆまない努力が、本誌に網羅されているかといえ、頂いた写真や資料の掲載とあわせて、行き届かなかった点が多々あると存じますが、ご寛容の上ご高覧いただければ幸いです。

末尾ながら、「遠州鉄道最近10年史」編纂に当たり、ご協力をいただいた社内及び関係会社の皆様はもちろんのこと、ご指導、ご協力いただいた社外の皆様、また、側面から支援して下さった方々に対しまして、心より御礼申し上げます。

遠 州 鉄 道 (株)

内 山 芳 実

太 田 勝 之

寺 井 昭 敏

丸 山 晃 司

中 野 亮 太

写真提供：中日新聞社

創立60周年記念誌

# 遠州鉄道 最近10年史

平成15年10月23日印刷

平成15年11月 1日発行

編 集 遠州鉄道総務部総務課

発 行 遠州鉄道株式会社  
静岡県浜松市旭町12-1  
TEL 053(454)2211

制作協力 トッパンアイデアセンター名古屋

印刷製本 凸版印刷株式会社中部事業部  
名古屋市西区野南町19



